

京田辺市
地域福祉計画策定のための
結果報告書



令和 7 年 12 月

京田辺市

目次

I. アンケート調査の概要	1
I-1. 市民調査	1
1 調査の目的	1
2 調査概要	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
I-2. 関係団体、区・自治会長、民生委員・児童委員調査	2
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 回収結果	2
4 報告書の見方	2
II. アンケート調査結果	3
II-1. 市民調査	3
1 あなたご自身のことについておうかがいします。	4
2 あなたのお住まいと地域についておうかがいします。	7
3 あなたの日常の困りごとについておうかがいします。	22
4 あなたの地域活動についておうかがいします。	39
5 地域福祉にかかわる機関や団体についておうかがいします。	48
6 地域福祉に関連する制度についておうかがいします。	51
II-2. 関係団体、区・自治会長、民生委員・児童委員調査	63

I. アンケート調査の概要

I-1. 市民調査

1 調査の目的

本調査は、市民の皆様の福祉に対する意識や地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、「第5期京田辺市地域福祉計画」を策定する基礎資料として活用するために実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：京田辺市全域
- 調査対象者：市内にお住まいの18歳以上の3,000人を無作為に抽出
- 調査期間：令和7年9月23日（火）～10月8日（水）
- 調査方法：調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
3,000件	1,509件	50.3%

4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

I-2. 関係団体、区・自治会長、民生委員・児童委員調査

1 調査の目的

本調査は、関係団体、区・自治会長、民生委員・児童委員の皆様の福祉に対するお考えやご意見などをお聞きし、「第5期京田辺市地域福祉計画」を策定する基礎資料として活用するために実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：京田辺市全域
- 調査対象者：障がい者支援団体、高齢者支援団体、子育て支援団体、ボランティアグループ等
区・自治会長調査：各区・自治会長、各民生委員・児童委員
- 調査期間：令和7年9月23日（火）～10月8日（水）
- 調査方法：調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3 回収結果

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
関係団体調査	278件	196件	70.5%

4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

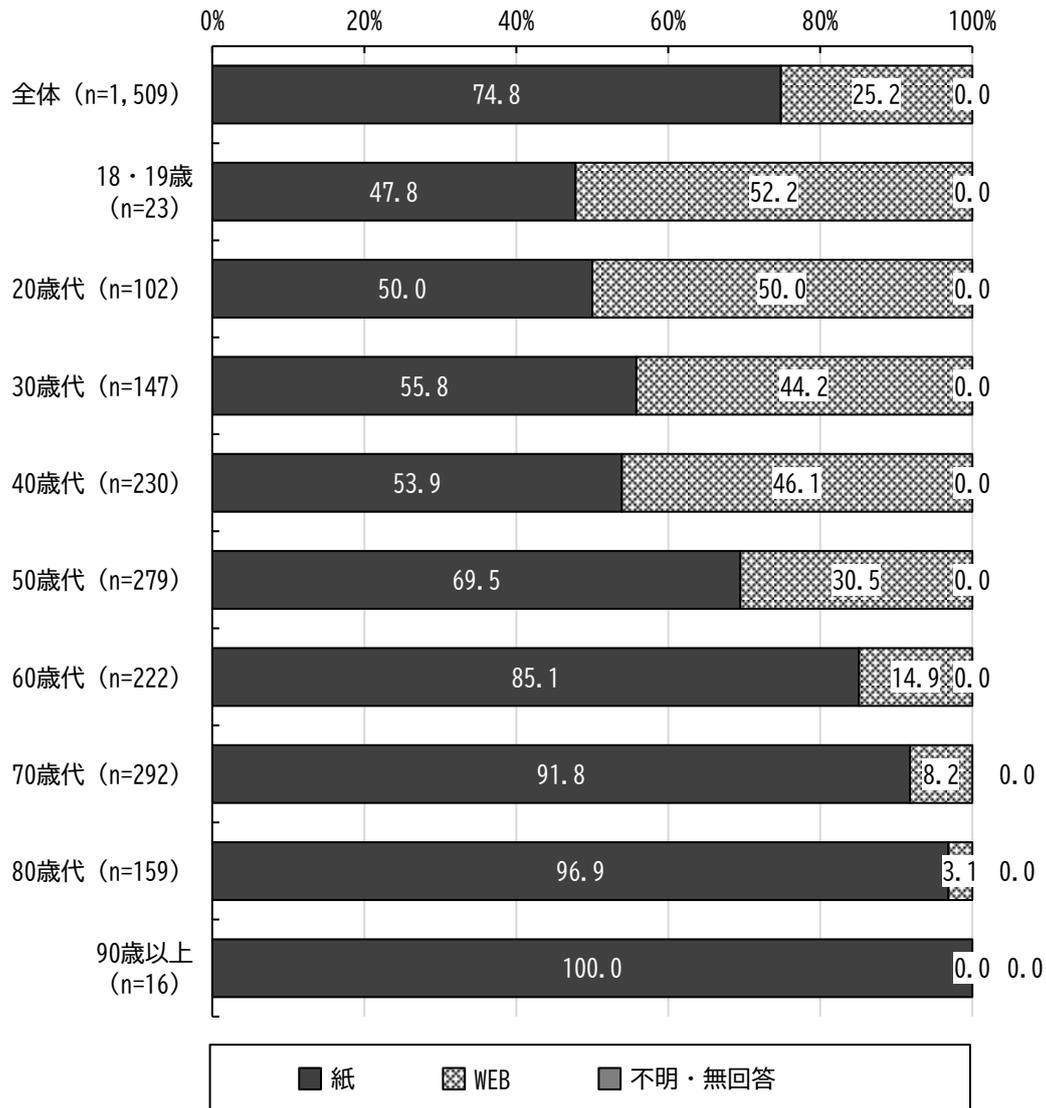
II. アンケート調査結果

II-1. 市民調査

回答方法

回答方法についてみると、「紙」が74.8%と最も高く、次いで「WEB」が25.2%となっています。

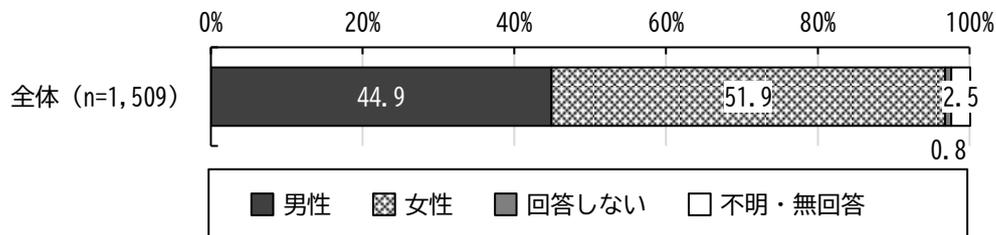
年代別にみると、18・19歳では「WEB」、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代、80歳代、90歳以上では「紙」がそれぞれ最も高くなっています。20歳代では「紙」と「WEB」が同じ割合となっています。



1 あなたご自身のことについておうかがいします。

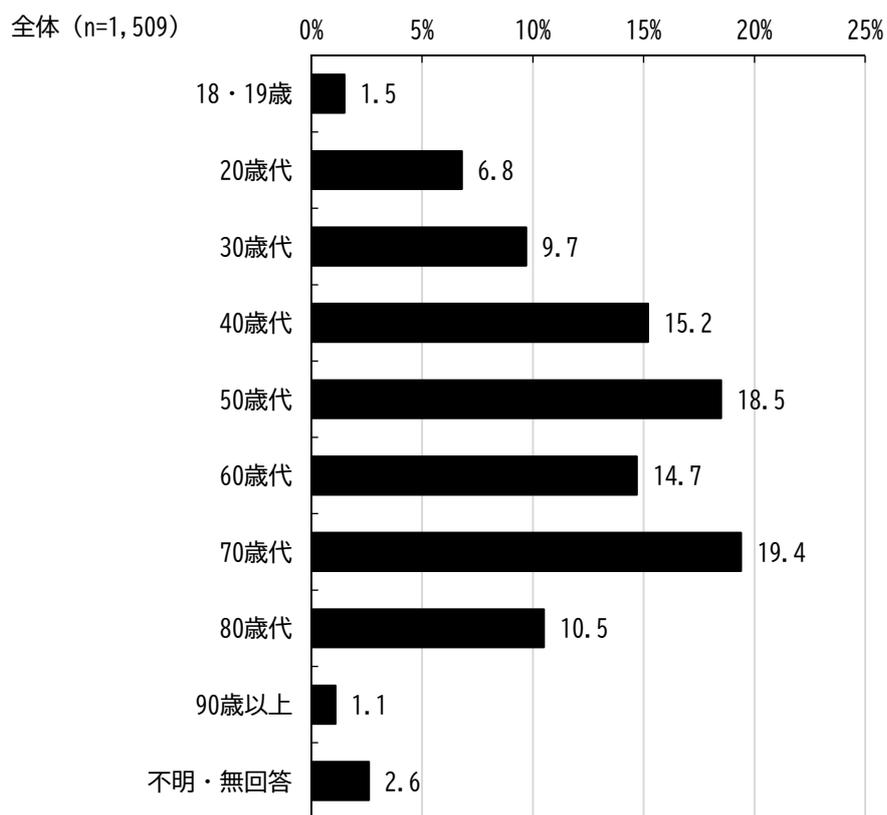
Q1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

性別についてみると、「女性」が51.9%と最も高く、次いで「男性」が44.9%、「回答しない」が0.8%となっています。



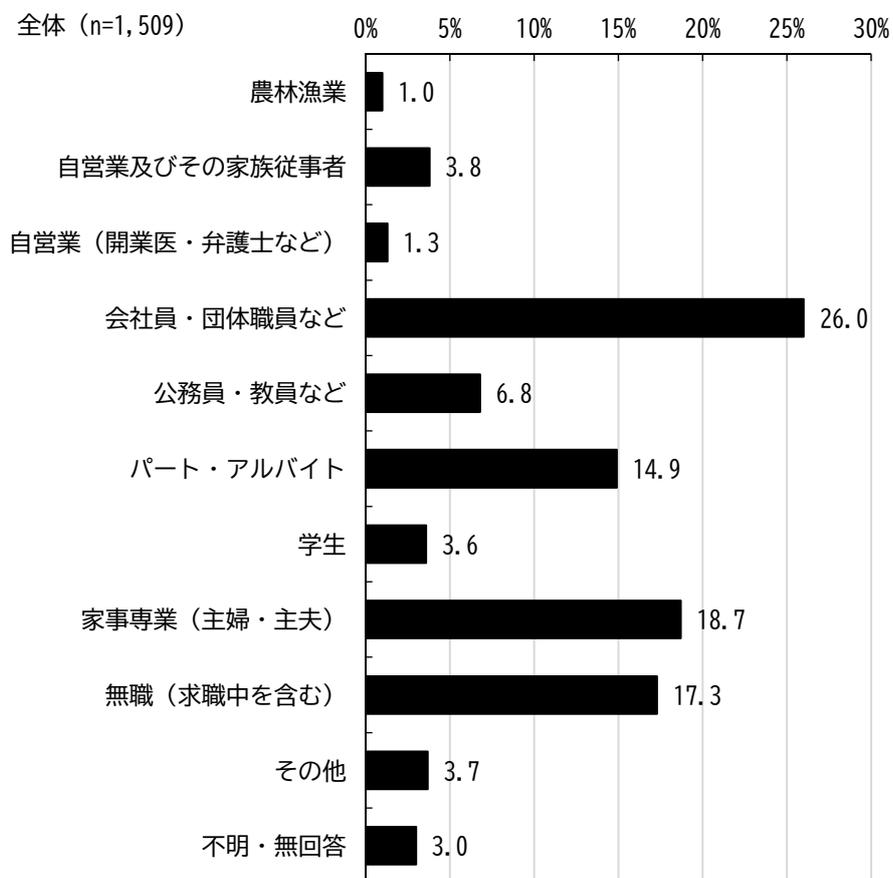
Q2 あなたの年齢は何歳ですか。(1つに○)

年齢についてみると、「70歳代」が19.4%と最も高く、次いで「50歳代」が18.5%、「40歳代」が15.2%となっています。



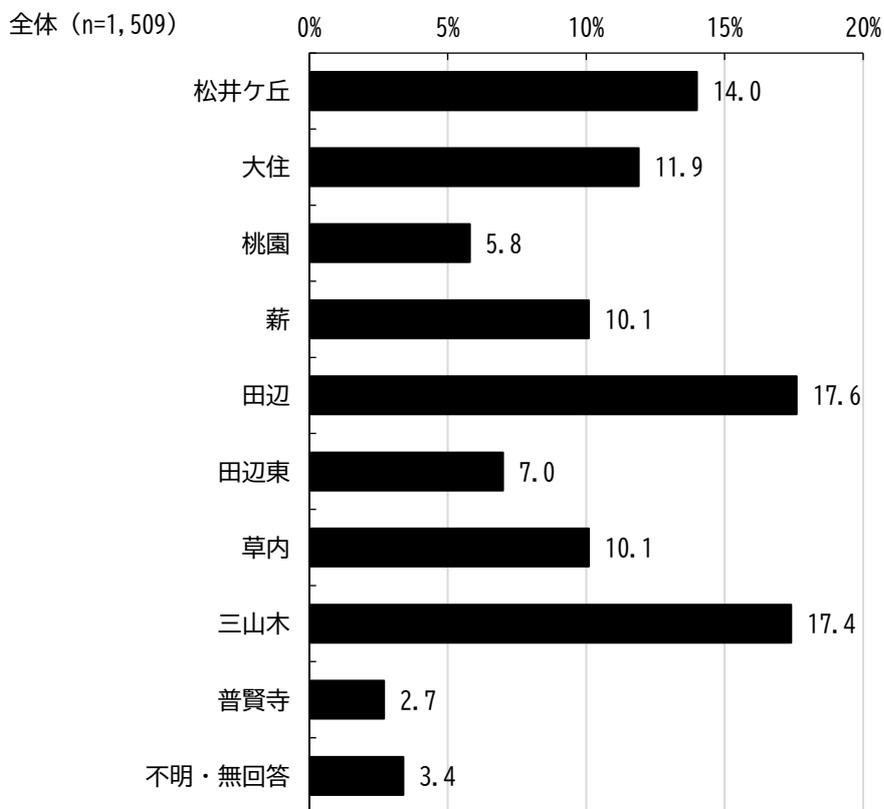
Q3 あなたの主な職業は何ですか。(1つに○)

主な職業についてみると、「会社員・団体職員など」が26.0%と最も高く、次いで「家事専業（主婦・主夫）」が18.7%、「無職（求職中を含む）」が17.3%となっています。



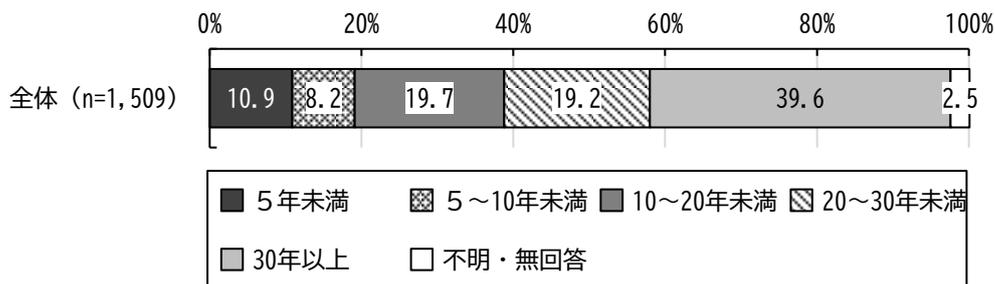
Q4 あなたのお住まいの小学校区はどこですか。(1つに○)

お住まいの小学校区についてみると、「田辺」が17.6%と最も高く、次いで「三山木」が17.4%、「松井ヶ丘」が14.0%となっています。



Q5 あなたが京田辺市にお住まいになられて何年になりますか。(1つに○)

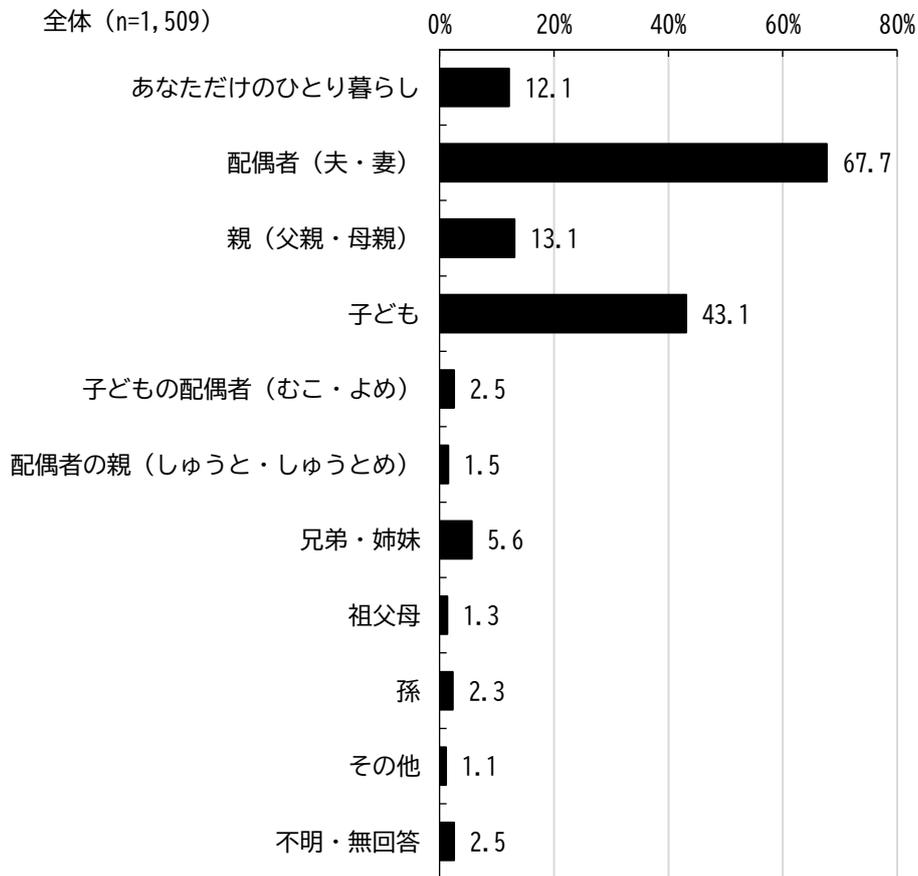
京田辺市にお住まいになられた年数についてみると、「30年以上」が39.6%と最も高く、次いで「10～20年未満」が19.7%、「20～30年未満」が19.2%となっています。



2 あなたのお住まいと地域についておうかがいします。

Q6 あなたと一緒に住まいの方は、次のうちどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に住まいの方についてみると、全体では「配偶者(夫・妻)」が67.7%と最も高く、次いで「子ども」が43.1%、「親(父親・母親)」が13.1%となっています。



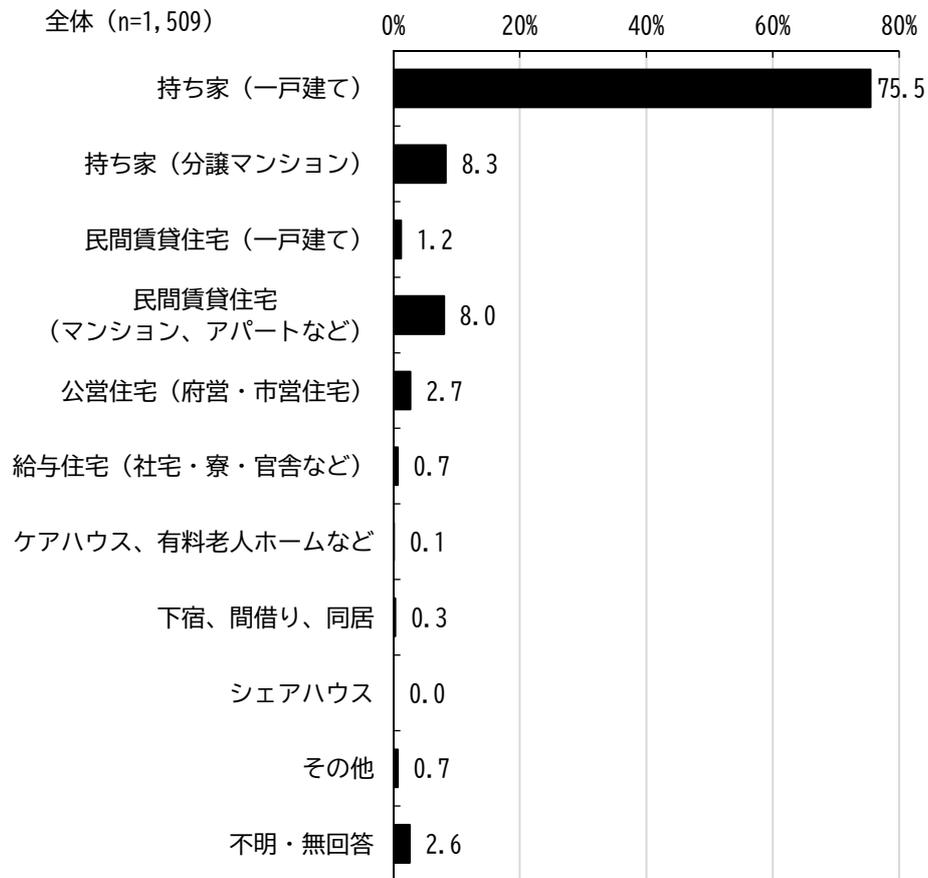
年代別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代]では「親(父親・母親)」、[30歳代][40歳代][50歳代][60歳代][70歳代][80歳代]では「配偶者(夫・妻)」がそれぞれ最も高く、[90歳以上]では「あなただけのひとり暮らし」「子どもの配偶者(むこ・よめ)」がともに高くなっています。

	あなただけのひとり暮らし	配偶者(夫・妻)	親(父親・母親)	子ども	子どもの配偶者(むこ・よめ)	配偶者の親(しゅうと・しゅうとめ)	兄弟・姉妹	祖父母	孫	その他	不明・無回答
18・19歳(n=23)	4.3	0.0	95.7	0.0	0.0	0.0	65.2	8.7	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=102)	18.6	16.7	62.7	4.9	0.0	0.0	31.4	11.8	0.0	2.9	0.0
30歳代(n=147)	7.5	79.6	12.2	71.4	1.4	1.4	4.1	1.4	0.7	1.4	0.0
40歳代(n=230)	4.3	80.0	13.0	72.6	0.4	0.9	3.5	0.4	0.0	1.3	0.0
50歳代(n=279)	8.6	74.9	16.5	62.0	0.7	3.6	2.2	0.0	0.4	0.4	0.0
60歳代(n=222)	11.3	80.2	5.9	28.4	2.3	3.2	4.1	0.5	1.8	0.5	0.0
70歳代(n=292)	17.1	73.6	1.4	27.4	3.8	0.7	2.1	0.0	5.5	1.4	0.3
80歳代(n=159)	23.3	60.4	0.0	33.3	6.9	0.0	1.3	0.0	7.5	1.9	0.0
90歳以上(n=16)	31.3	25.0	6.3	18.8	31.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3

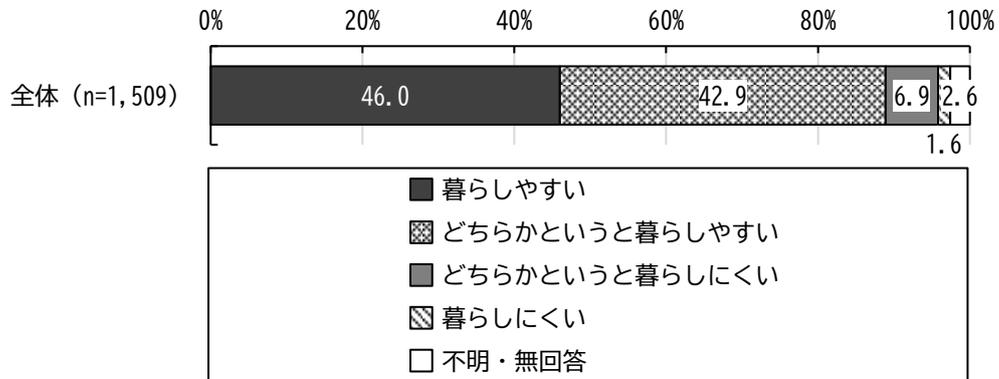
Q7 あなたのお住まいの形態は、次のうちどれですか。(1つに○)

お住まいの形態についてみると、「持ち家（一戸建て）」が75.5%と最も高く、次いで「持ち家（分譲マンション）」が8.3%、「民間賃貸住宅（マンション、アパートなど）」が8.0%となっています。



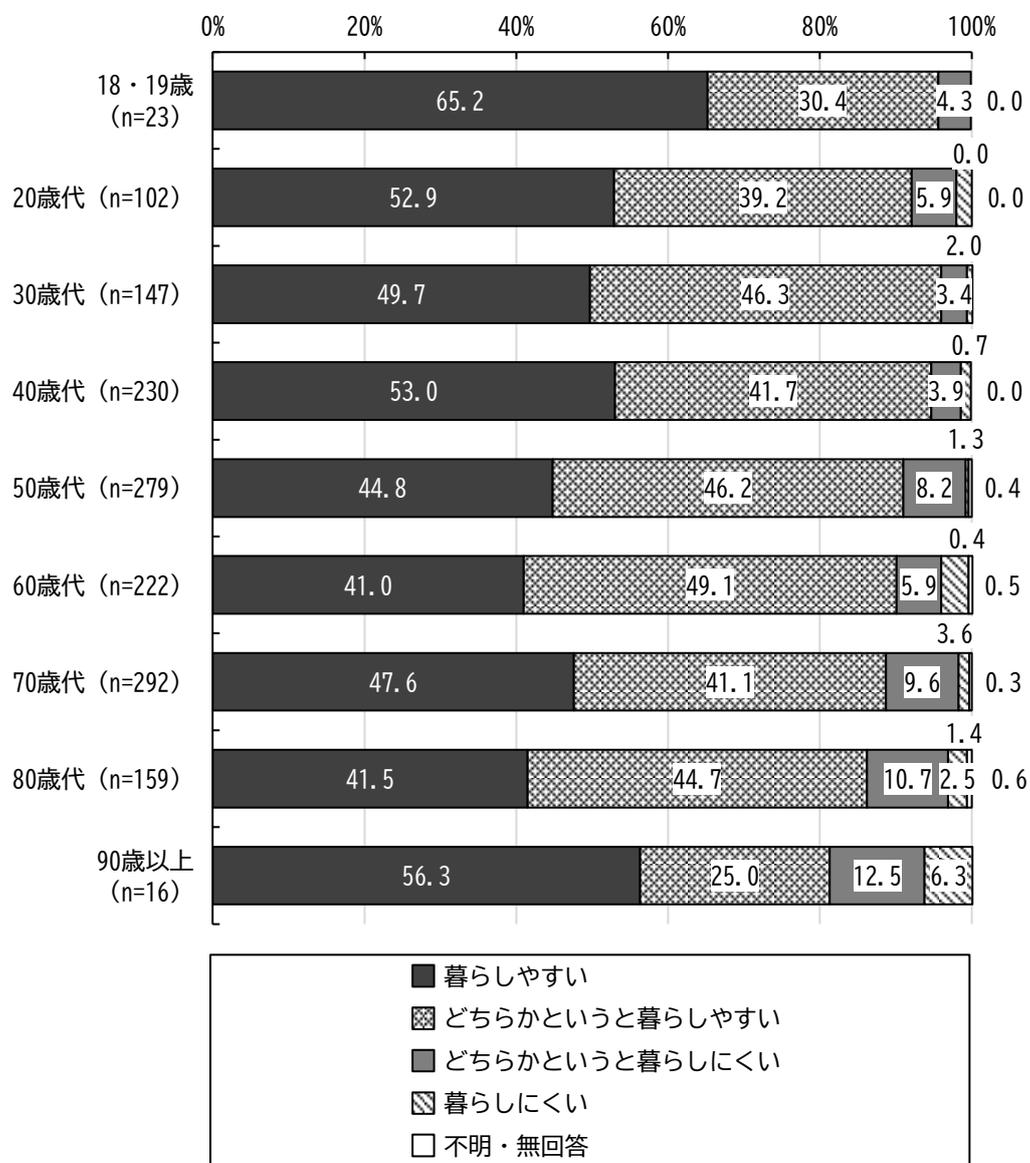
Q8 あなたは、お住まいの地域に暮らしやすさを感じていますか。(1つに○)

お住まいの地域の暮らしやすさについてみると、全体では「暮らしやすい」が46.0%と最も高く、次いで「どちらかという暮らしやすい」が42.9%、「どちらかという暮らしにくい」が6.9%となっています。



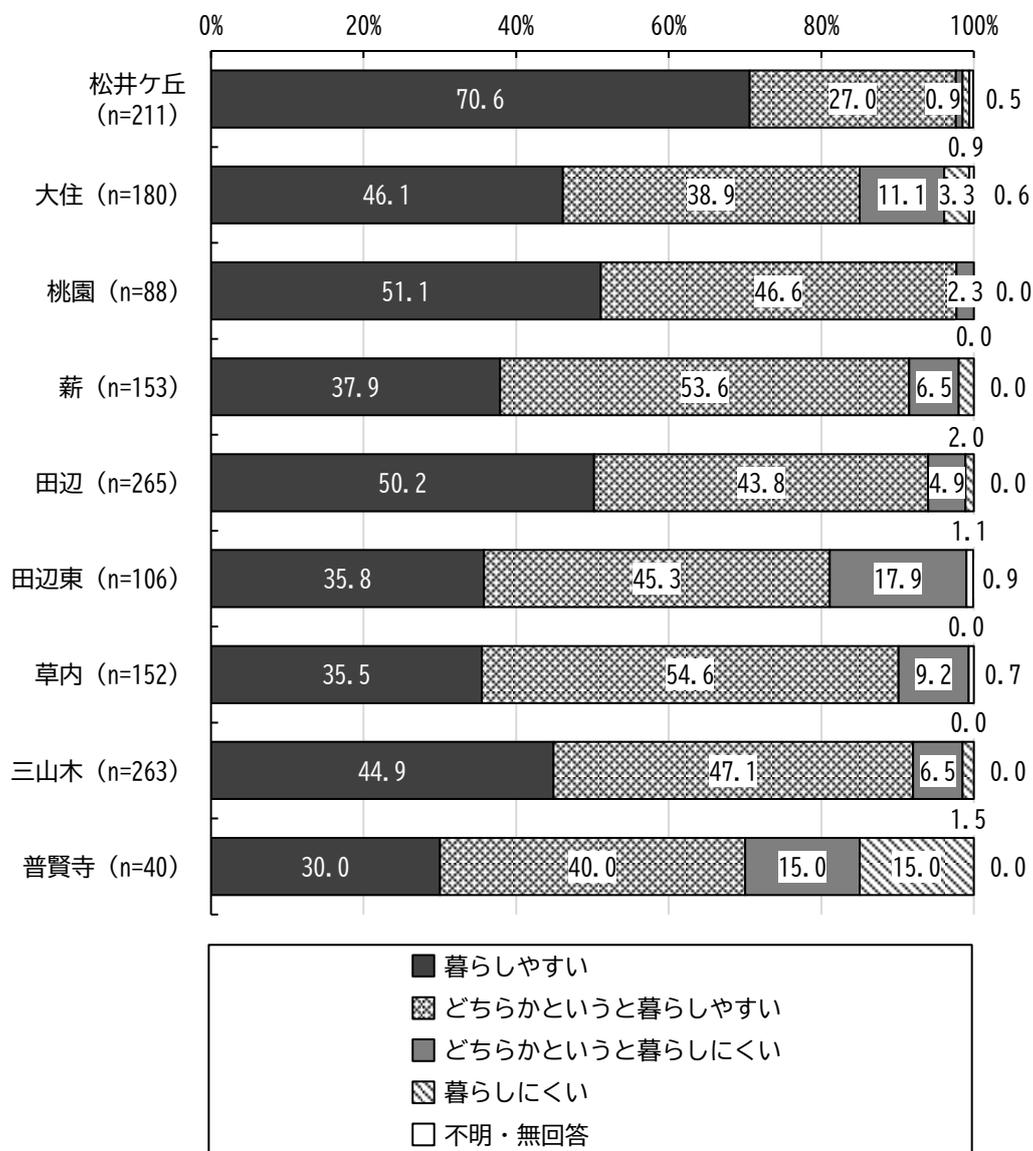
年代別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代][70歳代][90歳以上]では「暮らしやすい」、[50歳代][60歳代][80歳代]では「どちらかという暮らしやすい」がそれぞれ最も高くなっています。



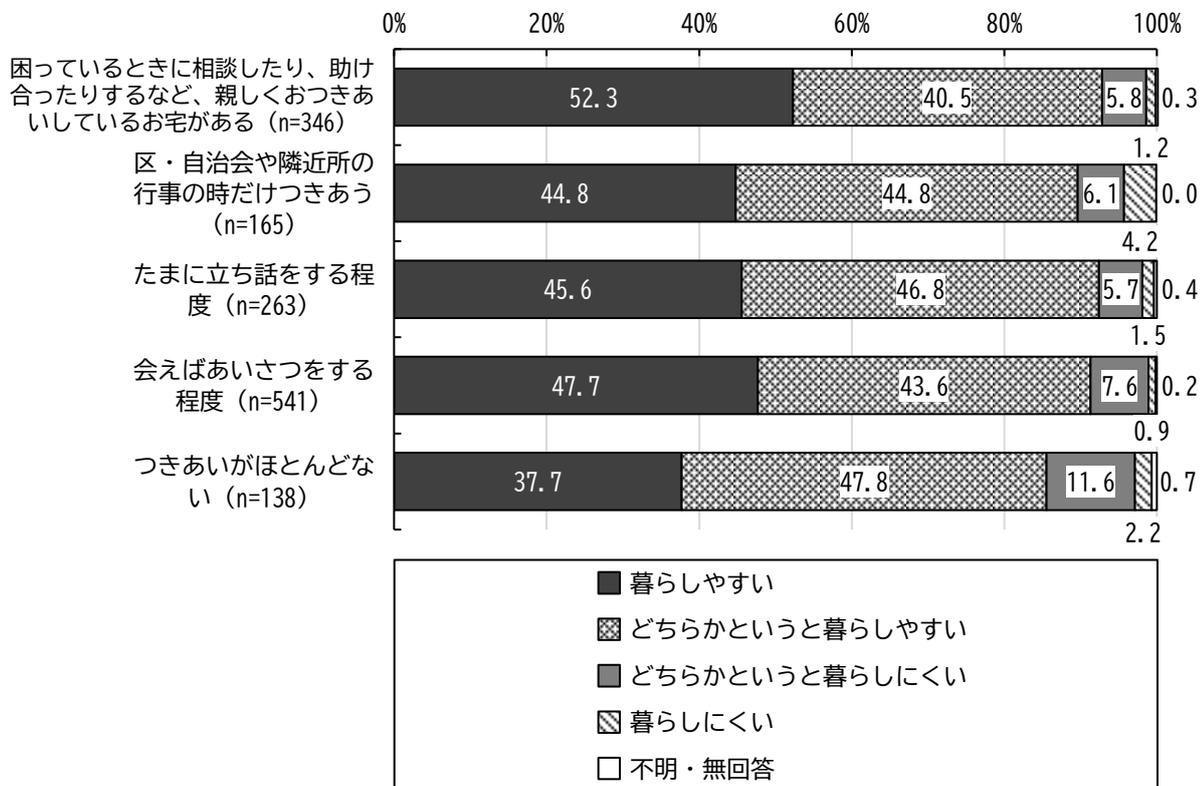
地区別

地区別にみると、[松井ヶ丘][大住][桃園][田辺]では「暮らしやすい」、[薪][田辺東][草内][三山木][普賢寺]では「どちらかという暮らしやすい」がそれぞれ最も高くなっています。



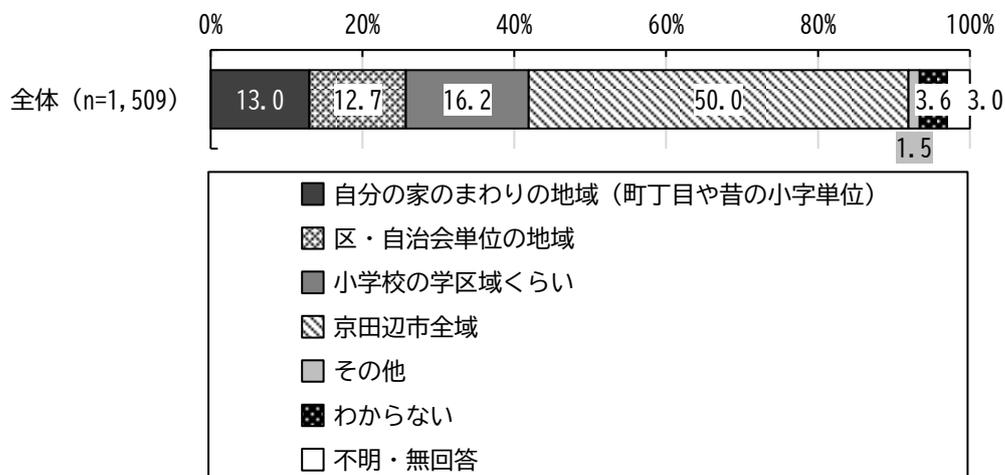
近所付き合いの程度別

近所付き合い別にみると、[困っているときに相談したり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある][会えばあいさつをする程度]では「暮らしやすい」、[区・自治会や隣近所の行事の時だけつきあう][たまに立ち話をする程度][つきあいがほとんどない]では「どちらか」というと暮らしやすい」がそれぞれ最も高くなっています。



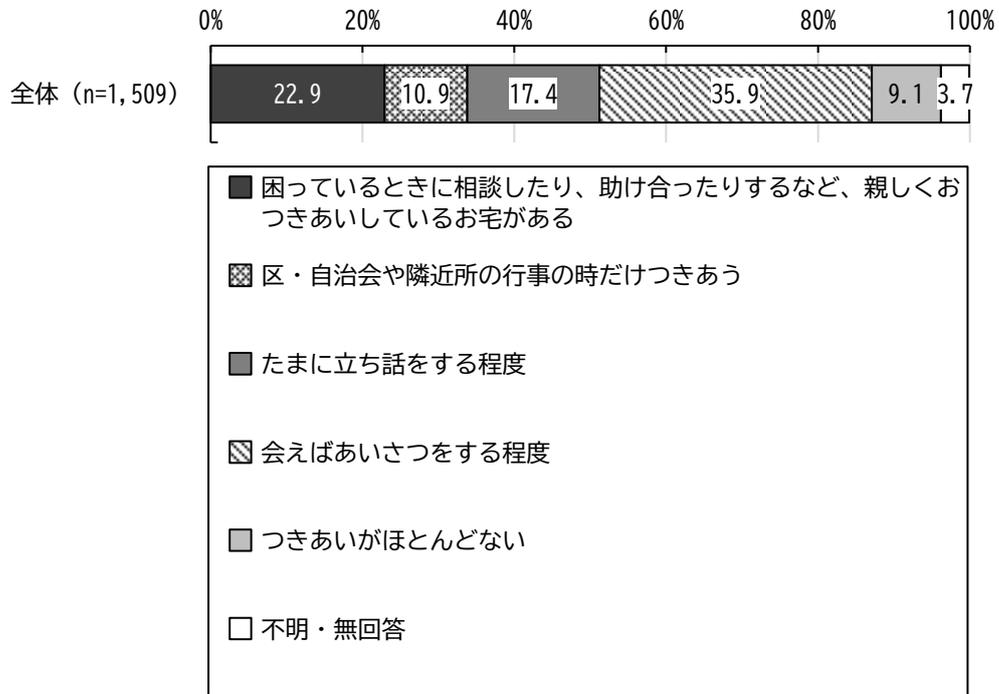
Q9 あなたにとって「自分のまち」とはどの範囲のことをいいますか。(1つに○)

「自分のまち」の範囲についてみると、「京田辺市全域」が50.0%と最も高く、次いで「小学校の学区域くらい」が16.2%、「自分の家のまわりの地域（町丁目や昔の小字単位）」が13.0%となっています。



Q10 あなたはご近所とどのようなおつきあいをされていますか。(1つに○)

ご近所とのおつきあいについてみると、全体では「会えばあいさつをする程度」が35.9%と最も高く、次いで「困っているとき（病気や悩み、事故など）に相談したり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある」が22.9%、「たまに立ち話をする程度」が17.4%となっています。



年代別・地区別

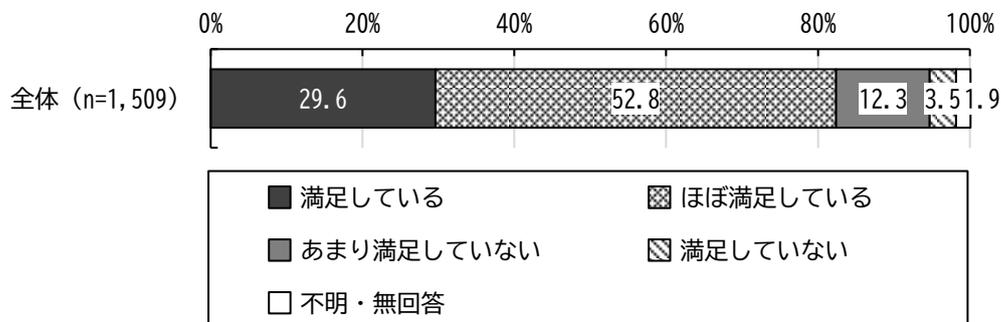
年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代][50歳代][60歳代]では「会えばあいさつをする程度」、70歳代、80歳代、90歳以上では「困っているときに相談したり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、[松井ヶ丘][大住][桃園][薪][田辺][田辺東][草内][三山木]では「会えばあいさつをする程度」、[普賢寺]では「困っているときに相談したり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある」がそれぞれ最も高くなっています。

		困っているときに相談したり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある	区・自治会や隣近所の行事の時だけつきあう	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	つきあいがほとんどない	不明・無回答
年代別	18・19歳(n=23)	8.7	8.7	0.0	78.3	4.3	0.0
	20歳代(n=102)	2.9	2.9	5.9	58.8	28.4	1.0
	30歳代(n=147)	10.9	3.4	17.7	51.0	16.3	0.7
	40歳代(n=230)	20.4	7.8	18.7	45.7	7.0	0.4
	50歳代(n=279)	19.0	14.7	20.1	38.4	7.5	0.4
	60歳代(n=222)	24.8	15.3	18.5	32.0	8.1	1.4
	70歳代(n=292)	36.0	12.7	19.9	23.6	5.8	2.1
	80歳代(n=159)	37.1	15.1	18.9	18.9	5.7	4.4
	90歳以上(n=16)	31.3	6.3	18.8	25.0	12.5	6.3
地区別	松井ヶ丘(n=211)	23.7	10.0	18.5	39.3	8.5	0.0
	大住(n=180)	27.8	13.3	21.7	30.6	6.7	0.0
	桃園(n=88)	25.0	13.6	12.5	44.3	3.4	1.1
	薪(n=153)	22.9	11.8	21.6	31.4	9.8	2.6
	田辺(n=265)	19.6	6.4	17.4	39.6	15.5	1.5
	田辺東(n=106)	26.4	12.3	16.0	34.0	9.4	1.9
	草内(n=152)	18.4	12.5	19.7	36.2	9.9	3.3
	三山木(n=263)	20.5	12.9	15.2	41.8	7.6	1.9
	普賢寺(n=40)	60.0	15.0	17.5	7.5	0.0	0.0

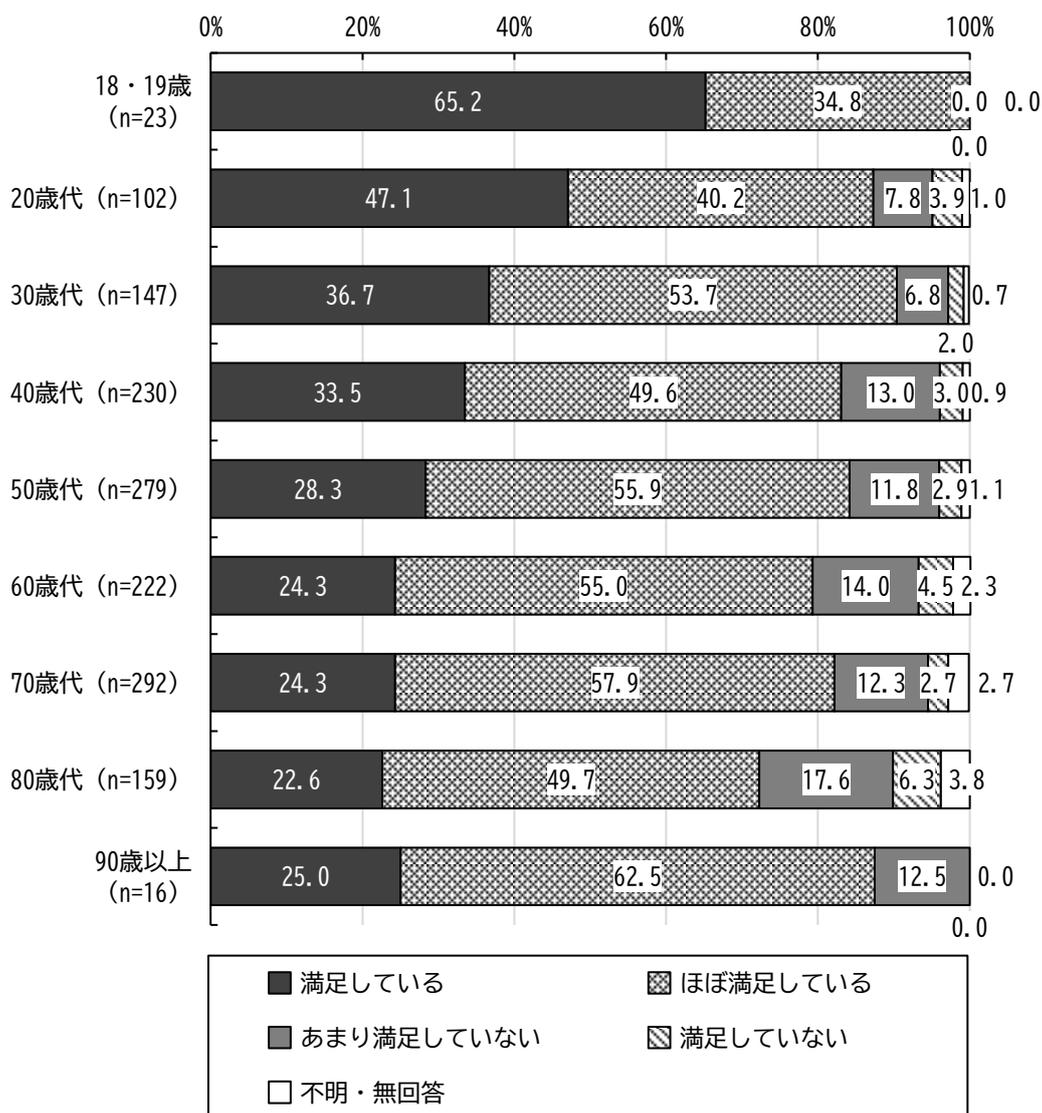
Q11 あなたは、現在のご近所とおつきあいに満足していますか。(1つに○)

現在のご近所とおつきあいへの満足度についてみると、全体では「ほぼ満足している」が52.8%と最も高く、次いで「満足している」が29.6%、「あまり満足していない」が12.3%となっています。



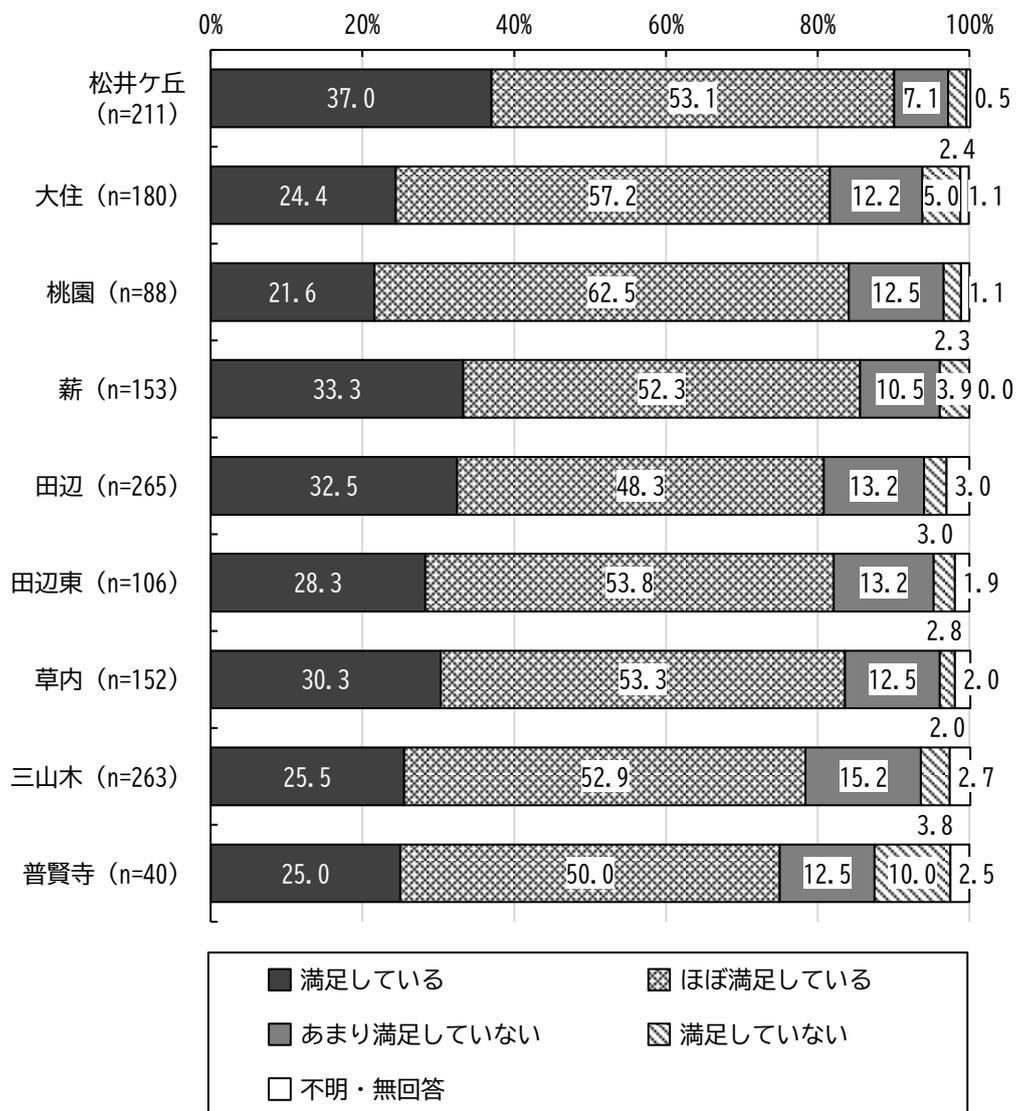
年代別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代]では「満足している」、[30歳代][40歳代][50歳代][60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]では「ほぼ満足している」がそれぞれ最も高くなっています。



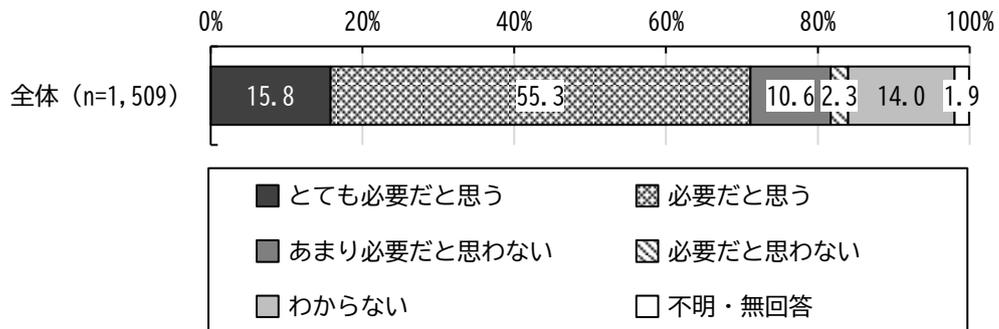
地区別

地区別にみると、[松井ヶ丘][大住][桃園][薪][田辺][田辺東][草内][三山木][普賢寺]のすべての地区で「ほぼ満足している」が最も高くなっています。



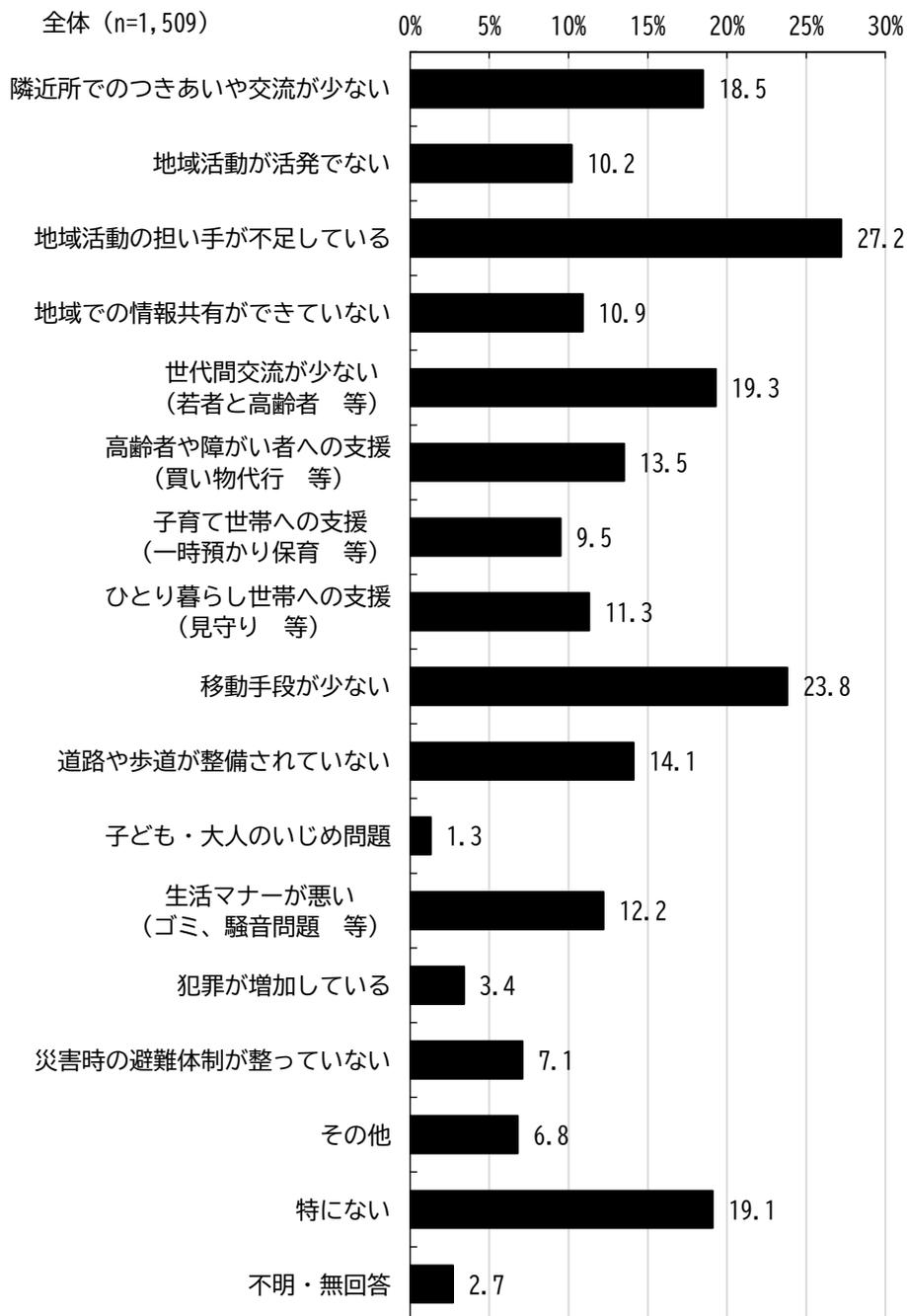
Q12 あなたは、市民による自主的な助け合い、支え合いの関係が必要だと思いますか。(1つに○)

市民による自主的な助け合い、支え合いの関係の必要性についてみると、「必要だと思う」が55.3%と最も高く、次いで「とても必要だと思う」が15.8%、「わからない」が14.0%となっています。



Q13 あなたが住んでいる地域では、どのような課題・問題があると感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

住んでいる地域の課題・問題についてみると、全体では「地域活動の担い手が不足している」が27.2%と最も高く、次いで「移動手段が少ない」が23.8%、「世代間交流が少ない（若者と高齢者等）」が19.3%となっています。



年代別・地区別

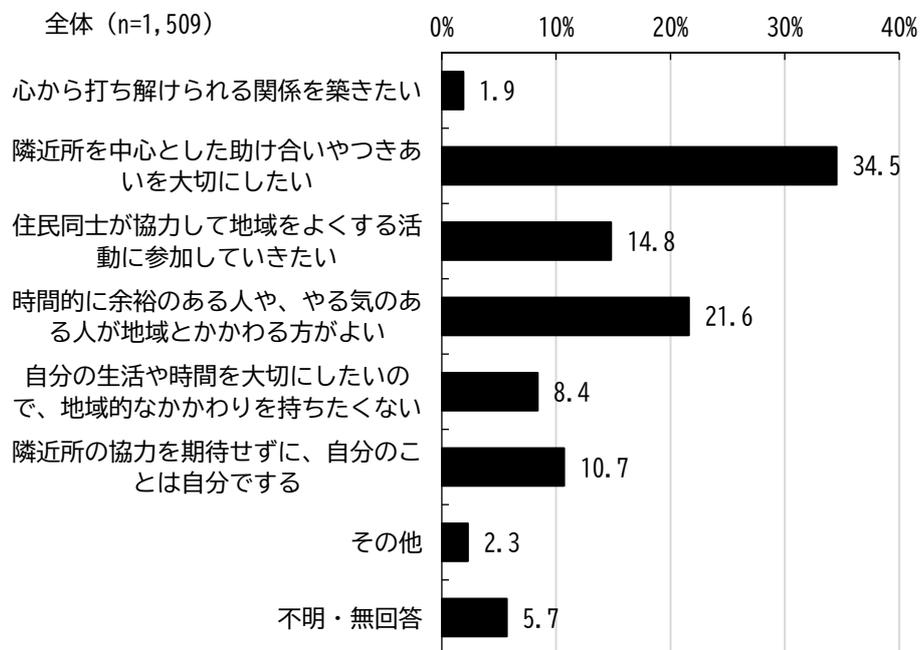
年代別にみると、[18・19歳][20歳代]では「特にない」、30歳代では「子育て世帯への支援（一時預かり保育等）」、[40歳代][50歳代][60歳代][70歳代]では「地域活動の担い手が不足している」、[80歳代]では「移動手段が少ない」がそれぞれ最も高く、[90歳以上]では「ひとり暮らし世帯への支援（見守り等）」「特にない」がともに高くなっています。

地区別にみると、[松井ヶ丘]では「特にない」、[大住][桃園][田辺東][草内]では「地域活動の担い手が不足している」、[薪][三山木][普賢寺]では「移動手段が少ない」がそれぞれ最も高く、[田辺]では「隣近所でのつきあいや交流が少ない」「地域活動の担い手が不足している」がともに高くなっています。

		隣近所でのつきあいや交流が少ない	地域活動が活発でない	地域活動の担い手が不足している	地域での情報共有ができていない	世代間交流が少ない(若者と高齢者等)	高齢者や障がい者への支援(買い物代行等)	子育て世帯への支援(一時預かり保育等)	ひとり暮らし世帯への支援(見守り等)	移動手段が少ない
年齢別	18・19歳(n=23)	8.7	13.0	4.3	0.0	13.0	8.7	0.0	0.0	21.7
	20歳代(n=102)	9.8	5.9	12.7	5.9	6.9	5.9	19.6	7.8	21.6
	30歳代(n=147)	12.9	10.2	14.3	11.6	11.6	5.4	29.3	2.7	20.4
	40歳代(n=230)	15.7	8.3	24.8	11.3	15.2	8.3	13.5	4.8	19.1
	50歳代(n=279)	11.8	9.7	28.3	11.1	14.7	17.2	6.1	9.0	22.6
	60歳代(n=222)	18.5	9.9	39.2	11.7	22.1	15.8	5.9	17.1	23.9
	70歳代(n=292)	26.4	13.7	33.6	13.0	28.8	14.7	3.4	14.7	25.3
	80歳代(n=159)	27.0	11.3	28.9	8.8	28.3	19.5	4.4	17.0	34.0
	90歳以上(n=16)	18.8	0.0	6.3	6.3	12.5	31.3	0.0	37.5	31.3
地区別	松井ヶ丘(n=211)	16.1	8.1	24.2	9.5	16.1	12.8	11.8	9.5	11.4
	大住(n=180)	13.9	12.2	43.9	12.2	25.6	18.3	8.9	19.4	34.4
	桃園(n=88)	13.6	4.5	27.3	9.1	17.0	12.5	4.5	8.0	19.3
	薪(n=153)	25.5	7.8	23.5	8.5	14.4	15.0	6.5	7.8	39.9
	田辺(n=265)	20.4	14.7	20.4	14.0	18.5	13.6	8.3	8.7	11.3
	田辺東(n=106)	12.3	10.4	34.9	9.4	18.9	10.4	5.7	11.3	17.9
	草内(n=152)	17.8	5.3	30.3	9.9	19.1	7.9	11.2	8.6	26.3
	三山木(n=263)	20.5	11.8	21.3	10.6	20.9	12.2	14.1	11.0	25.5
	普賢寺(n=40)	10.0	15.0	50.0	15.0	30.0	30.0	7.5	25.0	67.5
		道路や歩道が整備されていない	子ども・大人のいじめ問題	生活マナーが悪い(ゴミ、騒音問題等)	犯罪が増加している	災害時の避難体制が整っていない	その他	特にない	不明・無回答	
年齢別	18・19歳(n=23)	17.4	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0	30.4	8.7	
	20歳代(n=102)	9.8	2.0	13.7	2.9	3.9	9.8	29.4	2.0	
	30歳代(n=147)	21.8	1.4	14.3	4.8	5.4	12.2	21.8	2.0	
	40歳代(n=230)	14.8	2.2	15.7	4.3	5.2	8.7	17.4	1.3	
	50歳代(n=279)	20.1	1.1	15.4	4.3	7.2	6.8	17.6	2.5	
	60歳代(n=222)	13.1	1.4	14.4	2.3	8.1	5.9	18.5	1.4	
	70歳代(n=292)	9.2	1.0	8.6	3.1	8.6	4.1	18.5	2.7	
	80歳代(n=159)	7.5	0.0	4.4	1.9	10.1	3.8	13.2	5.7	
	90歳以上(n=16)	18.8	6.3	6.3	0.0	12.5	12.5	37.5	6.3	
地区別	松井ヶ丘(n=211)	6.2	0.5	7.1	4.7	6.2	5.2	31.3	1.9	
	大住(n=180)	15.0	0.6	5.6	4.4	8.3	7.2	15.6	1.1	
	桃園(n=88)	9.1	1.1	9.1	4.5	4.5	9.1	25.0	3.4	
	薪(n=153)	20.3	2.0	15.7	3.3	7.2	2.6	14.4	1.3	
	田辺(n=265)	19.2	2.6	14.7	3.0	6.0	7.9	16.6	3.0	
	田辺東(n=106)	11.3	1.9	17.0	1.9	6.6	6.6	17.9	3.8	
	草内(n=152)	14.5	2.0	13.8	0.7	8.6	8.6	17.1	0.7	
	三山木(n=263)	11.4	0.4	16.3	4.6	5.7	7.6	16.3	4.6	
	普賢寺(n=40)	25.0	0.0	5.0	0.0	27.5	7.5	15.0	2.5	

Q14 あなたは、地域での人とのかかわりに対してどのように考えますか。(1つに○)

地域での人とのかかわりに対する考えについてみると、全体では「隣近所を中心とした助け合いやつきあいを大切にしたい」が34.5%と最も高く、次いで「時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域とかかわる方がよい」が21.6%、「住民同士が協力して地域をよくする活動に参加していきたい」が14.8%となっています。



年代別・地区別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代]では「時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域とかかわる方がよい」、[50歳代][60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]では「隣近所を中心とした助け合いやつきあいを大切にしたい」がそれぞれ最も高くなっています。

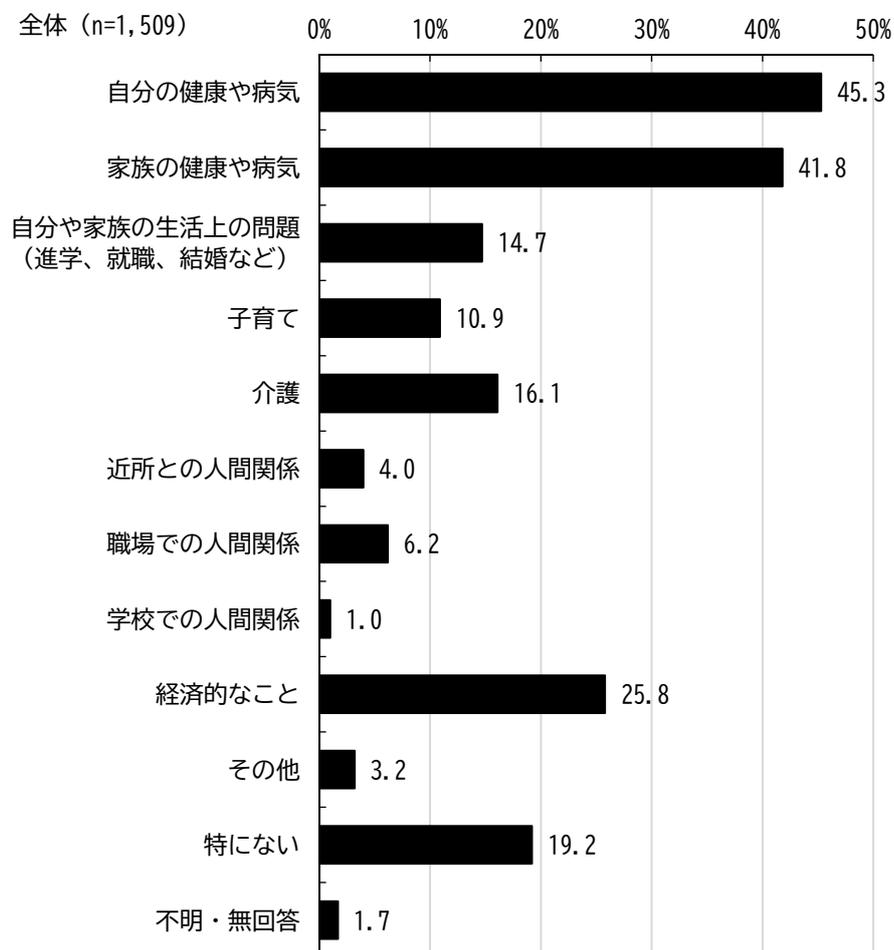
地区別にみると、[松井ヶ丘][大住][桃園][薪][田辺][田辺東][草内][三山木][普賢寺]のすべての地区で「隣近所を中心とした助け合いやつきあいを大切にしたい」が最も高くなっています。

		心から打ち解けられる関係を築きたい	隣近所を中心とした助け合いやつきあいを大切にしたい	住民同士が協力して地域をよくする活動に参加していきたい	時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域とかかわる方がよい	自分の生活や時間を大切にしたいので、地域的なかかわりを持ちたくない	隣近所の協力を期待せず、自分のことは自分でする	その他	不明・無回答
年齢別	18・19歳(n=23)	8.7	17.4	8.7	52.2	4.3	4.3	4.3	0.0
	20歳代(n=102)	2.9	21.6	12.7	35.3	13.7	12.7	1.0	0.0
	30歳代(n=147)	0.7	23.8	20.4	31.3	10.2	10.2	1.4	2.0
	40歳代(n=230)	1.3	26.1	20.4	32.2	8.7	7.0	2.2	2.2
	50歳代(n=279)	1.8	28.3	16.5	24.7	10.8	10.4	4.3	3.2
	60歳代(n=222)	0.9	36.0	22.1	17.6	9.0	7.2	1.8	5.4
	70歳代(n=292)	1.4	47.6	9.2	9.9	6.2	14.4	2.4	8.9
	80歳代(n=159)	5.7	49.7	5.0	7.5	3.8	13.8	1.9	12.6
	90歳以上(n=16)	0.0	37.5	0.0	6.3	0.0	31.3	0.0	25.0
地区別	松井ヶ丘(n=211)	1.9	34.6	15.2	24.2	6.2	13.7	1.9	2.4
	大住(n=180)	1.7	40.6	16.7	20.0	5.0	10.0	0.6	5.6
	桃園(n=88)	3.4	38.6	13.6	22.7	11.4	4.5	2.3	3.4
	薪(n=153)	1.3	29.4	16.3	24.8	6.5	11.8	4.6	5.2
	田辺(n=265)	2.6	30.2	12.1	24.5	9.4	10.6	3.4	7.2
	田辺東(n=106)	1.9	36.8	13.2	17.9	11.3	12.3	2.8	3.8
	草内(n=152)	3.3	30.9	15.1	23.0	9.9	10.5	2.0	5.3
	三山木(n=263)	1.1	32.7	19.4	18.6	8.0	11.8	1.9	6.5
	普賢寺(n=40)	0.0	60.0	7.5	12.5	10.0	2.5	0.0	7.5

3 あなたの日常の困りごとについておうかがいします。

Q15 あなたは、日頃、どのような悩みや不安を感じていますか。(3つまで○)

日頃感じる悩みや不安についてみると、全体では「自分の健康や病気」が45.3%と最も高く、次いで「家族の健康や病気」が41.8%、「経済的なこと」が25.8%となっています。



年代別・地区別

年代別にみると、[18・19歳]では「特にない」、[20歳代]では「経済的なこと」、[30歳代]では「子育て」、[40歳代][50歳代]では「家族の健康や病気」、[60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]では「自分の健康や病気」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、[桃園][草内]では「家族の健康や病気」、[松井ヶ丘][大住][薪][田辺][田辺東][三山木][普賢寺]では「自分の健康や病気」がそれぞれ最も高くなっています。

		自分の健康や病気					家族の健康や病気				
		経済的なこと	その他	特にない	不明・無回答	自分の健康や病気	家族の健康や病気	自分や家族の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	子育て	介護	近所との人間関係
年齢別	18・19歳(n=23)	17.4	13.0	30.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
	20歳代(n=102)	21.6	20.6	33.3	10.8	4.9	2.0	12.7	5.9		
	30歳代(n=147)	23.1	27.2	20.4	40.8	3.4	3.4	5.4	0.7		
	40歳代(n=230)	34.3	35.7	22.6	27.8	9.1	3.5	9.1	1.3		
	50歳代(n=279)	38.7	45.9	16.8	8.6	22.2	3.6	11.8	0.4		
	60歳代(n=222)	54.5	50.9	9.5	0.9	19.8	3.6	5.4	0.0		
	70歳代(n=292)	58.6	48.6	4.8	0.3	17.5	5.5	1.0	0.0		
	80歳代(n=159)	71.1	50.3	2.5	0.6	28.3	5.7	0.0	0.0		
	90歳以上(n=16)	81.3	37.5	6.3	0.0	37.5	6.3	0.0	0.0		
地区別	松井ヶ丘(n=211)	41.2	36.5	15.2	14.2	10.9	1.4	6.2	0.5		
	大住(n=180)	52.2	51.1	15.0	6.1	22.2	5.0	5.0	1.1		
	桃園(n=88)	39.8	45.5	11.4	11.4	13.6	4.5	6.8	1.1		
	薪(n=153)	43.1	37.3	17.0	11.1	20.9	5.2	7.2	0.7		
	田辺(n=265)	42.3	38.5	16.2	11.7	15.8	4.9	5.3	1.9		
	田辺東(n=106)	50.0	38.7	5.7	5.7	15.1	6.6	4.7	0.0		
	草内(n=152)	46.1	51.3	9.9	11.2	17.1	2.6	9.9	1.3		
	三山木(n=263)	46.0	39.5	17.9	14.4	14.1	3.8	4.9	0.8		
	普賢寺(n=40)	62.5	55.0	7.5	7.5	25.0	2.5	7.5	0.0		
年齢別	18・19歳(n=23)	21.7	13.0	43.5	0.0						
	20歳代(n=102)	35.3	3.9	20.6	1.0						
	30歳代(n=147)	28.6	1.4	24.5	0.7						
	40歳代(n=230)	34.8	3.9	20.0	0.9						
	50歳代(n=279)	30.8	5.0	16.5	0.7						
	60歳代(n=222)	25.2	3.6	17.6	1.8						
	70歳代(n=292)	16.4	2.1	21.6	2.1						
	80歳代(n=159)	16.4	1.3	11.9	3.8						
	90歳以上(n=16)	6.3	0.0	12.5	0.0						
地区別	松井ヶ丘(n=211)	14.2	3.3	27.5	0.5						
	大住(n=180)	25.0	3.3	13.9	1.1						
	桃園(n=88)	22.7	2.3	20.5	2.3						
	薪(n=153)	25.5	2.0	19.6	0.0						
	田辺(n=265)	27.9	2.3	18.9	1.9						
	田辺東(n=106)	34.0	5.7	16.0	1.9						
	草内(n=152)	30.3	3.9	17.1	0.7						
	三山木(n=263)	29.7	4.2	19.0	2.7						
	普賢寺(n=40)	32.5	0.0	5.0	2.5						

Q16 悩みや不安があったとき、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや不安があったときの相談先についてみると、全体では「家族」が81.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が40.8%、「親類」が21.3%となっています。



年代別・地区別

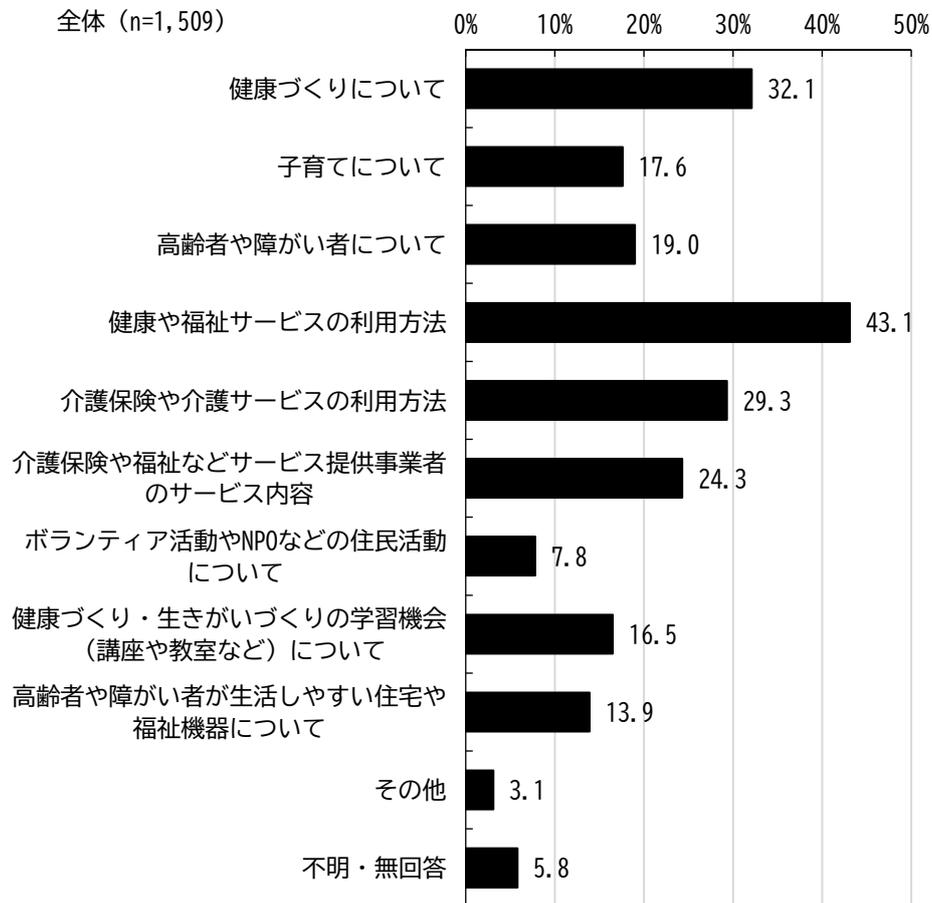
年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代][50歳代][60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]のすべての年代で「家族」が最も高くなっています。

地区別にみると、[松井ヶ丘][大住][桃園][薪][田辺][田辺東][草内][三山木][普賢寺]のすべての地区で「家族」が最も高くなっています。

		家族	親類	近所の人	友人・知人	職場の人	学校の教職員	保育所・幼稚園・こども園の職員	市の相談窓口や職員	病院や薬局
年齢別	18・19歳(n=23)	87.0	13.0	0.0	69.6	0.0	26.1	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=102)	75.5	11.8	0.0	59.8	16.7	1.0	0.0	0.0	4.9
	30歳代(n=147)	87.8	27.2	6.8	43.5	24.5	2.0	8.2	1.4	6.1
	40歳代(n=230)	84.8	27.0	5.2	53.5	28.7	4.8	3.0	3.0	2.2
	50歳代(n=279)	79.2	21.5	5.0	41.6	20.1	0.7	0.0	2.9	8.6
	60歳代(n=222)	82.4	18.0	5.4	36.0	7.7	0.0	0.0	4.5	11.7
	70歳代(n=292)	82.9	21.2	11.0	35.3	0.3	0.0	0.0	7.9	13.4
	80歳代(n=159)	78.6	22.6	11.3	22.6	0.0	0.0	0.0	10.1	17.6
	90歳以上(n=16)	93.8	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	18.8	12.5
地区別	松井ヶ丘(n=211)	85.3	20.4	4.7	43.1	12.8	2.4	2.4	3.8	12.3
	大住(n=180)	80.0	20.0	7.8	35.6	7.8	0.6	0.0	6.1	10.6
	桃園(n=88)	86.4	19.3	1.1	44.3	14.8	0.0	2.3	6.8	9.1
	薪(n=153)	86.9	22.9	6.5	46.4	19.0	2.6	1.3	4.6	7.2
	田辺(n=265)	83.0	19.6	6.4	44.2	14.3	2.3	1.9	3.0	7.5
	田辺東(n=106)	77.4	19.8	10.4	34.0	7.5	0.9	0.0	6.6	8.5
	草内(n=152)	82.9	24.3	7.9	35.5	19.7	2.0	1.3	3.3	8.6
	三山木(n=263)	77.6	24.3	7.2	39.2	12.5	1.1	1.1	4.9	9.1
	普賢寺(n=40)	87.5	27.5	12.5	52.5	2.5	0.0	0.0	7.5	15.0
年齢別		区・自治会	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	福祉施設や福祉事務所の職員	在宅介護センター	その他	相談できる人がいない	不明・無回答	
	18・19歳(n=23)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	
	20歳代(n=102)	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	4.9	4.9	1.0	
	30歳代(n=147)	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	2.7	4.1	2.0	
	40歳代(n=230)	0.0	0.0	0.9	0.4	0.0	0.9	3.0	0.9	
	50歳代(n=279)	0.7	0.4	0.7	1.1	0.4	3.6	3.9	1.1	
	60歳代(n=222)	1.4	0.0	0.9	1.8	3.2	1.4	3.2	1.8	
	70歳代(n=292)	1.4	1.0	2.4	2.7	1.4	1.7	3.4	2.1	
	80歳代(n=159)	1.9	2.5	2.5	5.0	5.7	3.1	1.9	3.1	
90歳以上(n=16)	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0		
地区別	松井ヶ丘(n=211)	0.5	0.0	0.9	1.9	3.3	0.9	3.3	0.9	
	大住(n=180)	1.1	0.6	0.6	1.7	2.2	5.0	3.3	0.6	
	桃園(n=88)	1.1	1.1	2.3	2.3	0.0	1.1	1.1	1.1	
	薪(n=153)	2.6	0.0	1.3	0.0	0.7	3.3	1.3	0.7	
	田辺(n=265)	0.4	0.4	3.0	1.9	1.1	3.0	4.2	1.9	
	田辺東(n=106)	0.9	2.8	0.9	1.9	1.9	1.9	4.7	1.9	
	草内(n=152)	0.0	0.0	0.0	2.6	1.3	1.3	1.3	1.3	
	三山木(n=263)	0.0	0.8	1.5	2.3	0.8	1.9	4.9	2.7	
	普賢寺(n=40)	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	5.0	5.0	

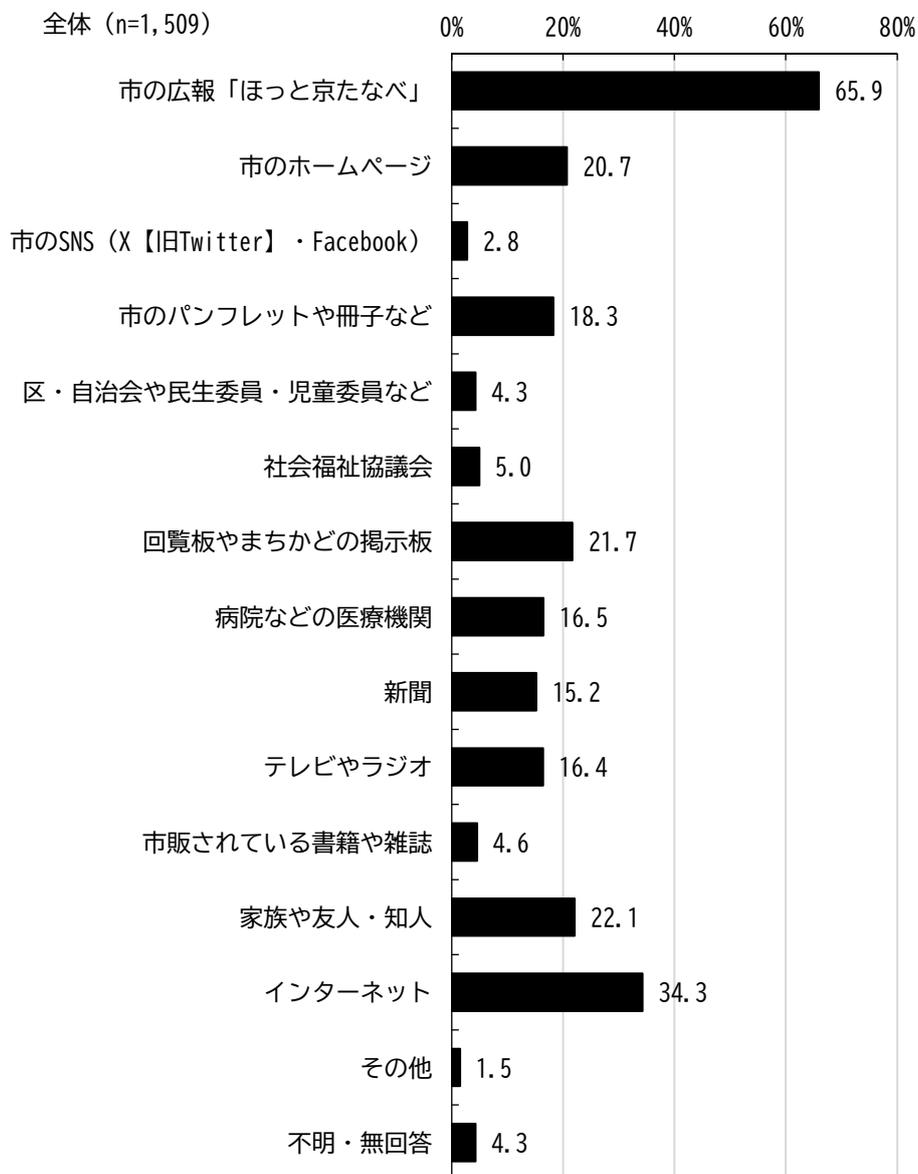
Q17 あなたは健康や福祉について、どんな情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

知りたい健康や福祉についての情報についてみると、「健康や福祉サービスの利用方法」が43.1%と最も高く、次いで「健康づくりについて」が32.1%、「介護保険や介護サービスの利用方法」が29.3%となっています。



Q18 健康や福祉についての情報を得るうえで、役立っていると思われるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康や福祉についての情報を得るうえで役立っているものについてみると、「市の広報『ほっと京たなべ』」が65.9%と最も高く、次いで「インターネット」が34.3%、「家族や友人・知人」が22.1%となっています。



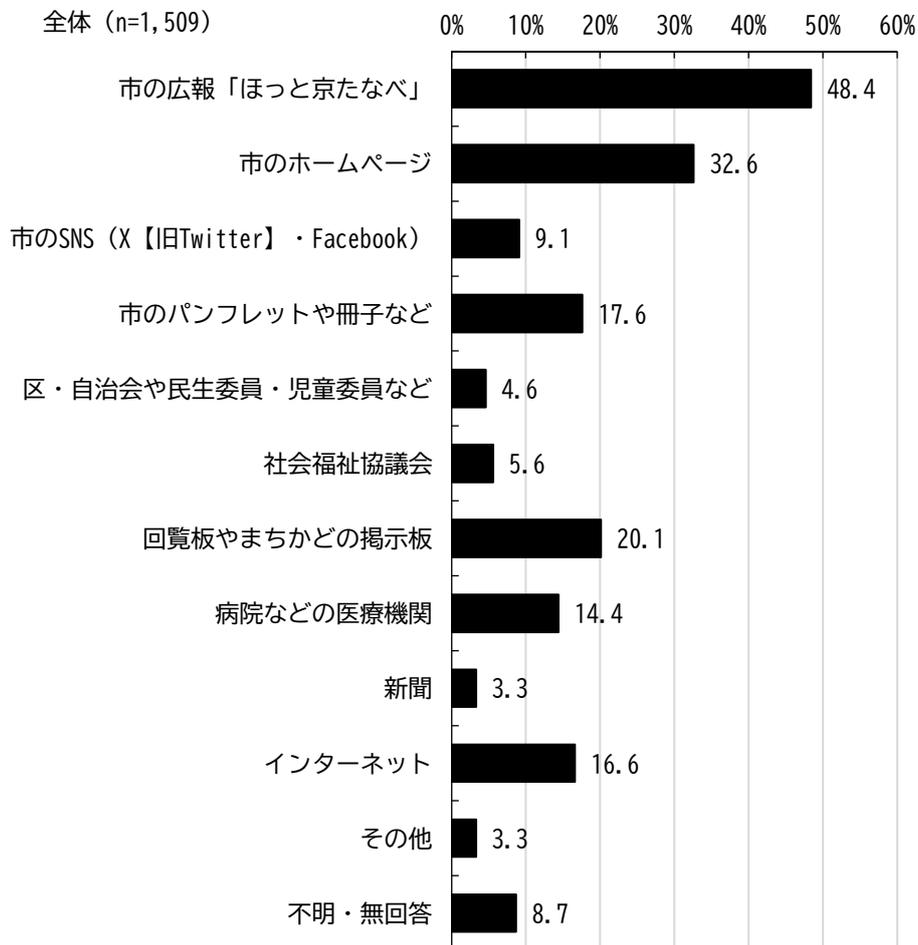
年代別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代]では「インターネット」、[30歳代][40歳代][50歳代][60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]では「市の広報「ほっと京たなべ」」がそれぞれ最も高くなっています。

		市の広報 「ほっと京 たなべ」	市のホーム ページ	市のSNS (X【旧 Twitter】・ Facebook)	市のパンフ レットや冊 子など	区・自治会 や民生委 員・児童委 員など	社会福祉 協議会	回覧板や まちかどの 掲示板	病院などの 医療機関
年 齢 別	18・19歳(n=23)	52.2	30.4	0.0	17.4	4.3	0.0	17.4	17.4
	20歳代(n=102)	34.3	18.6	3.9	11.8	1.0	2.9	12.7	13.7
	30歳代(n=147)	73.5	23.1	6.1	15.0	2.0	0.7	19.7	8.2
	40歳代(n=230)	70.0	20.4	5.2	15.7	2.2	2.2	20.0	10.4
	50歳代(n=279)	63.8	24.7	3.2	15.8	2.2	3.9	21.5	14.0
	60歳代(n=222)	68.0	23.4	2.7	22.1	4.1	4.5	19.8	21.6
	70歳代(n=292)	70.9	20.5	0.3	22.6	6.5	7.2	26.7	22.6
	80歳代(n=159)	73.0	11.3	1.3	19.5	11.3	11.9	28.3	20.1
	90歳以上(n=16)	56.3	12.5	0.0	37.5	18.8	18.8	12.5	18.8
		新聞	テレビやラ ジオ	市販されて いる書籍 や雑誌	家族や友 人・知人	インター ネット	その他	不明・無回 答	
年 齢 別	18・19歳(n=23)	4.3	8.7	0.0	21.7	60.9	0.0	0.0	
	20歳代(n=102)	7.8	7.8	1.0	18.6	48.0	2.9	2.9	
	30歳代(n=147)	2.0	8.2	2.0	20.4	34.7	0.7	4.1	
	40歳代(n=230)	4.8	8.3	5.2	18.3	38.3	1.7	1.3	
	50歳代(n=279)	8.2	10.8	5.4	18.3	48.0	1.8	3.2	
	60歳代(n=222)	16.7	19.8	5.0	22.5	41.4	0.0	3.6	
	70歳代(n=292)	27.1	25.0	5.1	26.7	21.6	1.7	4.8	
	80歳代(n=159)	35.2	31.4	7.5	30.8	11.9	0.6	6.3	
	90歳以上(n=16)	37.5	25.0	6.3	25.0	0.0	6.3	12.5	

Q19 あなたは京田辺市の健康や福祉についての情報提供の方法において、もっと充実すべきだと思うものは何ですか。(3つまで○)

京田辺市の健康や福祉についての情報提供の方法でもっと充実すべきだと思うものについてみると、「市の広報『ほっと京たなべ』」が48.4%と最も高く、次いで「市のホームページ」が32.6%、「回覧板やまちかどの掲示版」が20.1%となっています。



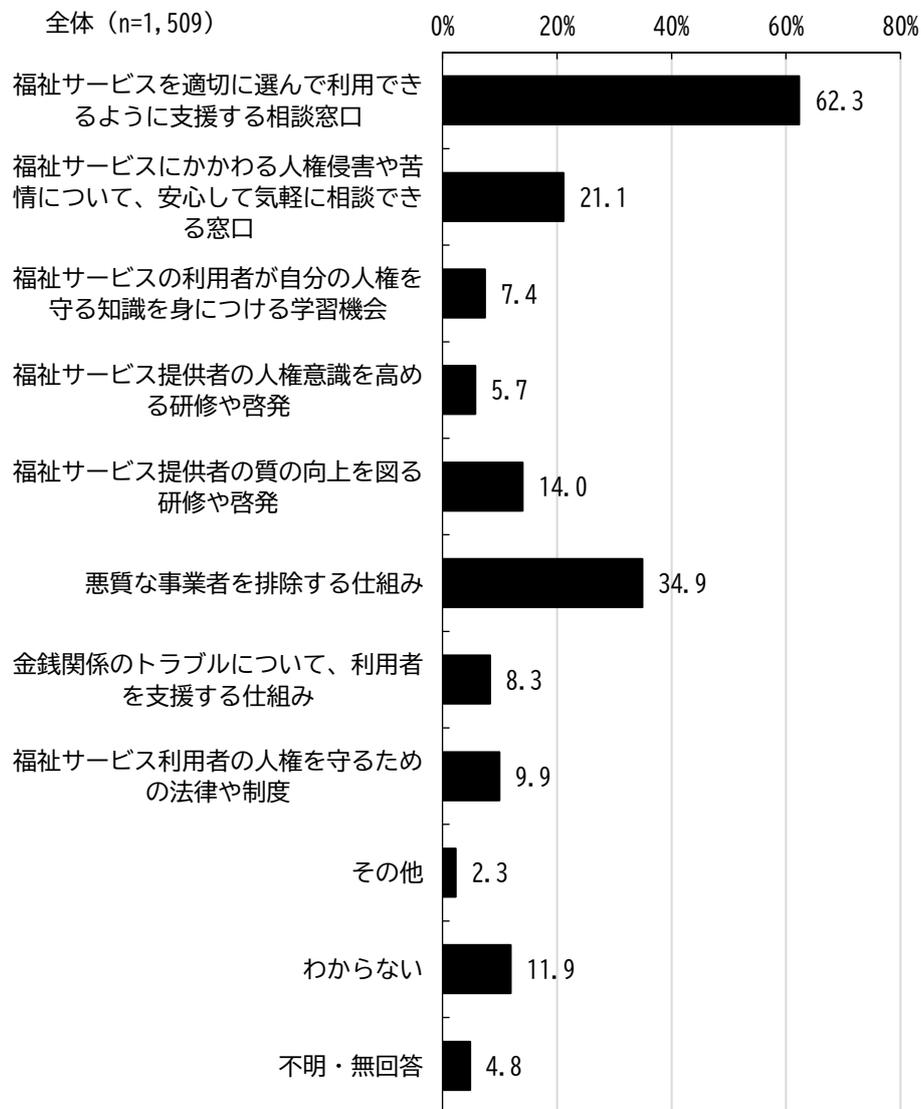
年代別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代][50歳代]では「市のホームページ」、[30歳代][40歳代][60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]では「市の広報「ほっと京たなべ」」がそれぞれ最も高くなっています。

		市の広報 「ほっと京 たなべ」	市のホーム ページ	市のSNS (X【旧 Twitter】・ Facebook)	市のパンフ レットや冊 子など	区・自治会 や民生委 員・児童委 員など	社会福祉 協議会	回覧板や まちかどの 掲示板	病院などの 医療機関
年 齢 別	18・19歳(n=23)	26.1	39.1	34.8	8.7	8.7	4.3	13.0	8.7
	20歳代(n=102)	25.5	34.3	23.5	10.8	2.9	2.9	18.6	17.6
	30歳代(n=147)	47.6	34.7	18.4	11.6	2.7	0.7	13.6	12.9
	40歳代(n=230)	47.0	40.9	14.3	15.7	2.6	2.6	18.3	11.3
	50歳代(n=279)	44.1	45.9	9.7	12.9	2.2	4.3	15.8	14.7
	60歳代(n=222)	51.8	35.1	6.3	24.3	2.7	6.3	23.9	14.9
	70歳代(n=292)	57.9	22.6	0.7	22.6	7.2	7.2	27.7	15.1
	80歳代(n=159)	59.7	13.2	0.6	20.1	13.2	14.5	19.5	18.2
	90歳以上(n=16)	37.5	18.8	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5
		新聞	インター ネット	その他	不明・無回 答				
年 齢 別	18・19歳(n=23)	0.0	30.4	4.3	4.3				
	20歳代(n=102)	2.9	27.5	2.9	6.9				
	30歳代(n=147)	0.7	23.1	4.1	6.1				
	40歳代(n=230)	0.9	25.2	5.2	3.9				
	50歳代(n=279)	2.2	21.9	4.7	6.1				
	60歳代(n=222)	4.1	15.3	1.8	8.1				
	70歳代(n=292)	4.8	7.5	2.1	10.6				
	80歳代(n=159)	7.5	1.3	1.9	14.5				
	90歳以上(n=16)	0.0	0.0	6.3	31.3				

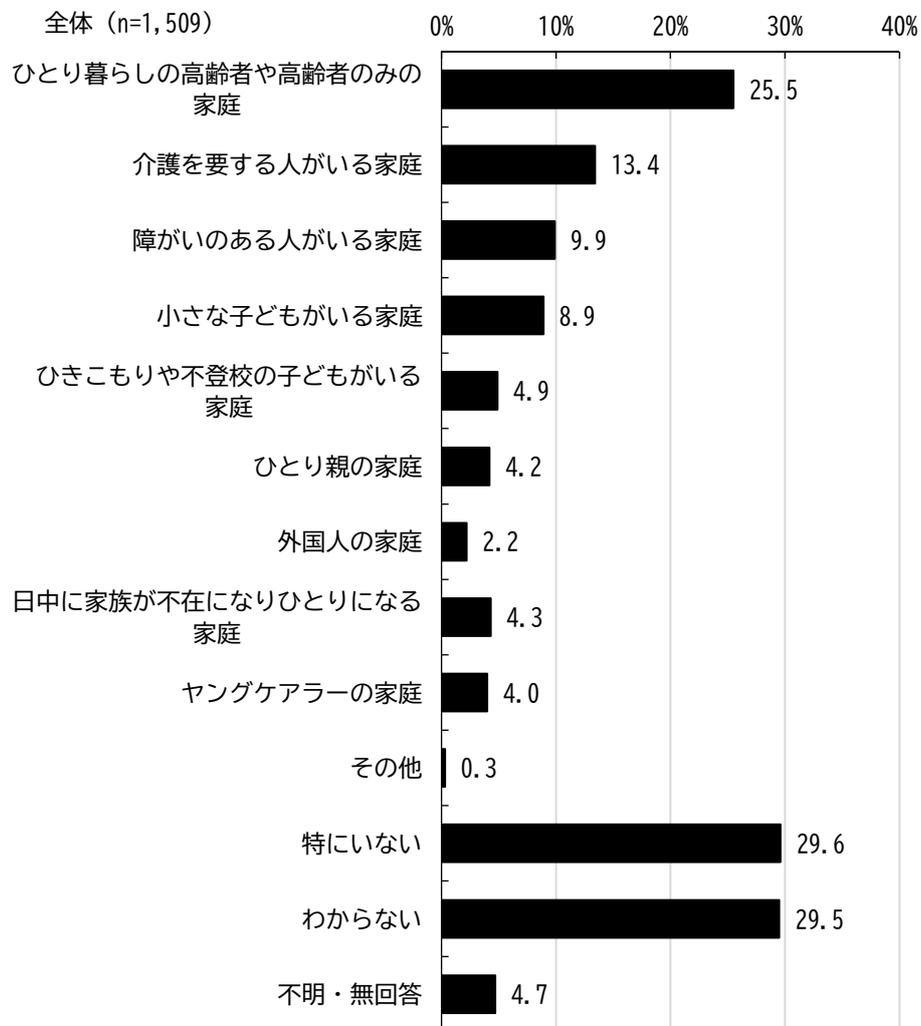
Q20 あなたは、子育てや高齢者、障がい者に関するサービスを安心して利用できるようにするため、どのようなことを充実すべきだと思いますか。(3つまで○)

子育てや高齢者、障がい者に関するサービスを安心して利用できるようにするために充実すべきだと思うことについてみると、「福祉サービスを適切に選んで利用できるように支援する相談窓口」が62.3%と最も高く、次いで「悪質な事業者を排除する仕組み」が34.9%、「福祉サービスにかかわる人権侵害や苦情について、安心して気軽に相談できる窓口」が21.1%となっています。



Q21 隣近所に、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われるご家庭がありますか。(あてはまるものすべてに○)

隣近所で周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われる家庭の有無についてみると、全体では「特にいない」が29.6%と最も高く、次いで「わからない」が29.5%、「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭」が25.5%となっています。



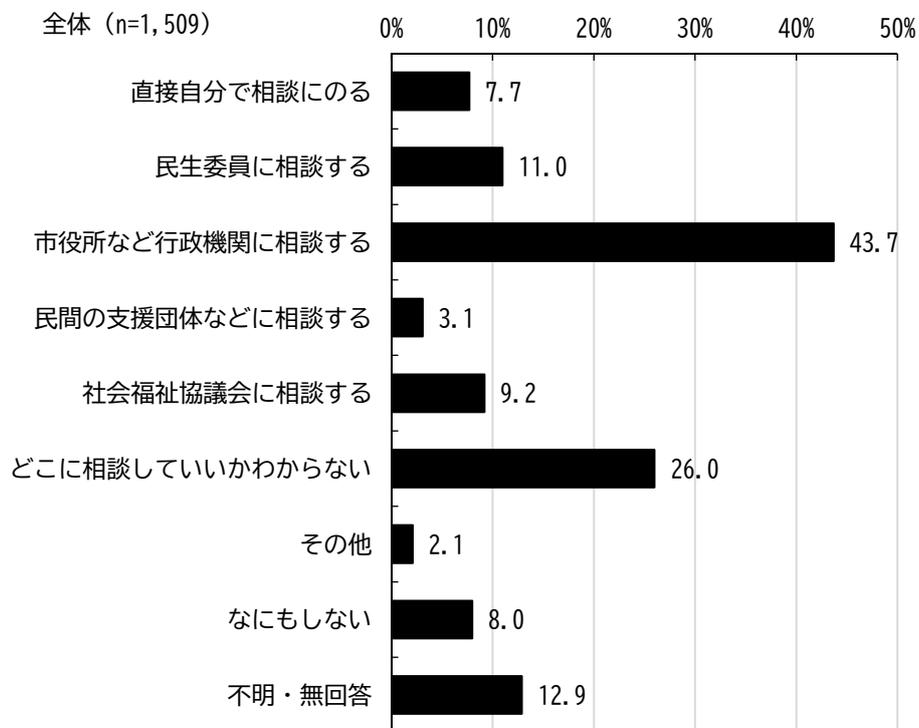
地区別

地区別にみると、[松井ヶ丘][桃園][薪][草内]では「わからない」、[大住][田辺東]では「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭」、[田辺][三山木][普賢寺]では「特にいない」がそれぞれ最も高くなっています。

		ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭	介護を要する人がいる家庭	障がいのある人がいる家庭	小さな子どもがいる家庭	ひきこもりや不登校の子どもがいる家庭	ひとり親の家庭	外国人の家庭	日中に家族が不在になりひとりになる家庭
地区別	松井ヶ丘(n=211)	23.2	14.7	8.5	8.5	4.7	3.8	1.9	3.3
	大住(n=180)	41.7	20.0	13.3	8.9	3.9	2.2	2.2	4.4
	桃園(n=88)	19.3	10.2	9.1	9.1	5.7	6.8	1.1	3.4
	薪(n=153)	28.1	15.0	10.5	9.8	3.9	5.9	3.3	5.9
	田辺(n=265)	22.3	11.3	10.6	8.7	5.3	4.5	2.3	3.8
	田辺東(n=106)	35.8	16.0	10.4	4.7	3.8	2.8	3.8	2.8
	草内(n=152)	22.4	8.6	5.3	7.9	2.6	5.9	1.3	5.3
	三山木(n=263)	18.6	11.4	7.6	12.9	7.2	4.2	2.7	3.4
	普賢寺(n=40)	25.0	17.5	17.5	2.5	5.0	0.0	0.0	15.0
		ヤングケアラーの家庭	その他	特にいない	わからない	不明・無回答			
地区別	松井ヶ丘(n=211)	4.3	0.9	28.0	35.5	1.9			
	大住(n=180)	3.3	0.0	25.6	20.0	3.9			
	桃園(n=88)	3.4	0.0	29.5	37.5	1.1			
	薪(n=153)	2.0	0.7	28.1	34.0	2.6			
	田辺(n=265)	4.5	0.0	33.2	32.1	3.8			
	田辺東(n=106)	2.8	0.0	20.8	26.4	9.4			
	草内(n=152)	3.3	0.7	28.3	30.9	3.9			
	三山木(n=263)	5.7	0.0	33.8	28.1	6.8			
	普賢寺(n=40)	0.0	0.0	27.5	15.0	10.0			

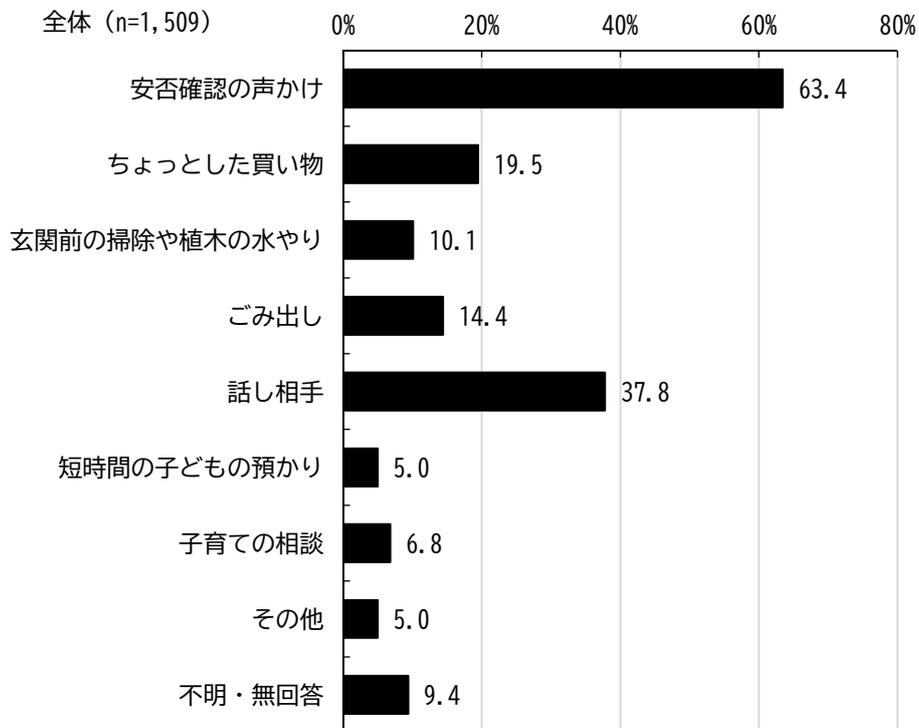
Q22 Q21 に記載されている家庭のことで相談するとしたらどこへつなぎますか。(あてはまるものすべてに○)

Q21 に記載されている家庭のことで相談する場合の相談先についてみると、「市役所など行政機関に相談する」が43.7%と最も高く、次いで「どこに相談していいかわからない」が26.0%、「民生委員に相談する」が11.0%となっています。



Q23 地域で、高齢者や障がい者、子育てのことなどで悩んだり困っている世帯があったら、あなたができることは何ですか。(3つまで○)

地域で悩んだり困っている世帯があったときにできることについてみると、全体では「安否確認の声かけ」が63.4%と最も高く、次いで「話し相手」が37.8%、「ちょっとした買い物」が19.5%となっています。



年代別・地区別

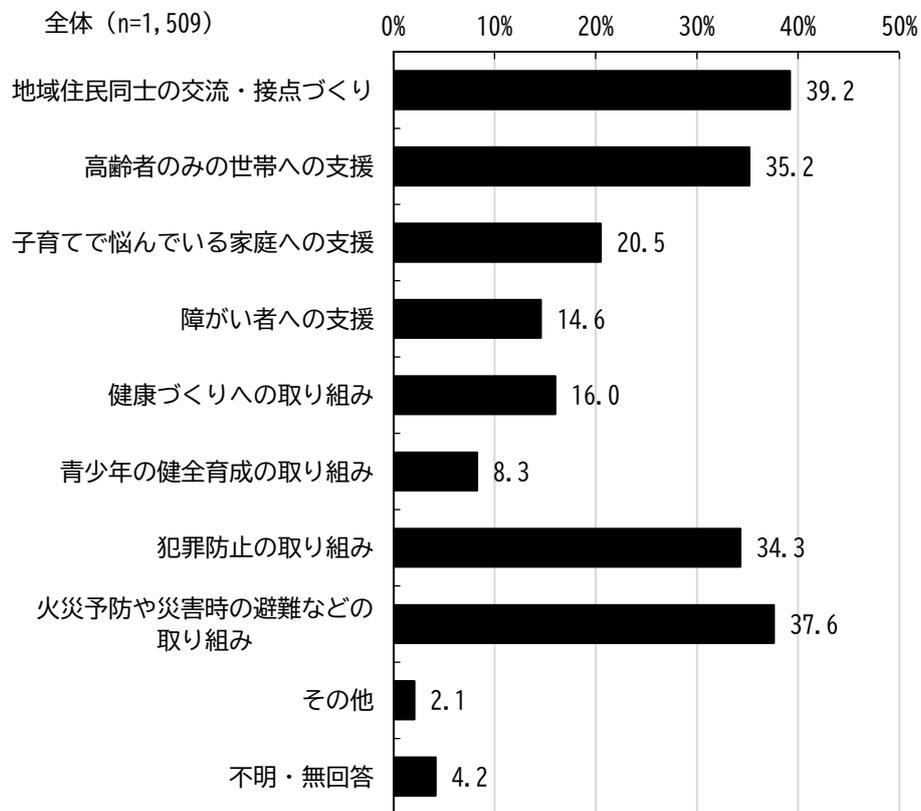
年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代][50歳代][60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]のすべての年代で「安否確認の声かけ」が最も高くなっています。

地区別にみると、[松井ヶ丘][大住][桃園][薪][田辺][田辺東][草内][三山木]では「安否確認の声かけ」がそれぞれ最も高く、[普賢寺]では「安否確認の声かけ」「話し相手」がともに高くなっています。

		安否確認 の声かけ	ちょっと した買い物	玄関前の 掃除や植 木の水やり	ごみ出し	話し相手	短時間の 子どもの預 かり	子育ての 相談	その他	不明・無回 答
年 齢 別	18・19歳(n=23)	65.2	17.4	17.4	21.7	43.5	4.3	8.7	0.0	4.3
	20歳代(n=102)	61.8	16.7	4.9	12.7	42.2	3.9	4.9	4.9	7.8
	30歳代(n=147)	55.8	20.4	5.4	6.8	44.2	10.9	16.3	4.8	6.8
	40歳代(n=230)	62.6	21.7	10.9	9.1	46.5	9.1	10.9	3.5	5.2
	50歳代(n=279)	71.7	23.7	12.5	16.1	34.4	5.0	8.2	3.9	3.2
	60歳代(n=222)	66.7	18.5	10.4	15.8	33.8	4.1	6.3	5.9	8.1
	70歳代(n=292)	67.1	22.6	10.6	18.2	37.3	2.1	2.1	5.1	10.6
	80歳代(n=159)	54.7	11.9	11.9	18.9	30.2	0.6	1.3	8.2	20.1
	90歳以上(n=16)	37.5	0.0	0.0	6.3	18.8	0.0	0.0	18.8	37.5
地 区 別	松井ヶ丘(n=211)	68.7	22.3	11.8	18.5	33.6	6.2	10.9	7.6	5.2
	大住(n=180)	67.8	16.7	11.1	16.7	36.1	7.8	5.0	3.3	6.1
	桃園(n=88)	71.6	26.1	9.1	15.9	36.4	4.5	6.8	3.4	3.4
	薪(n=153)	62.1	18.3	9.2	17.0	39.2	2.6	6.5	7.2	5.9
	田辺(n=265)	61.1	19.6	10.9	10.9	39.2	3.8	6.8	6.8	8.7
	田辺東(n=106)	68.9	24.5	11.3	19.8	36.8	1.9	3.8	3.8	12.3
	草内(n=152)	60.5	19.7	9.9	10.5	35.5	4.6	3.3	2.6	12.5
	三山木(n=263)	62.7	18.6	9.5	11.8	41.8	5.3	9.1	4.2	9.5
	普賢寺(n=40)	50.0	12.5	2.5	17.5	50.0	10.0	5.0	2.5	20.0

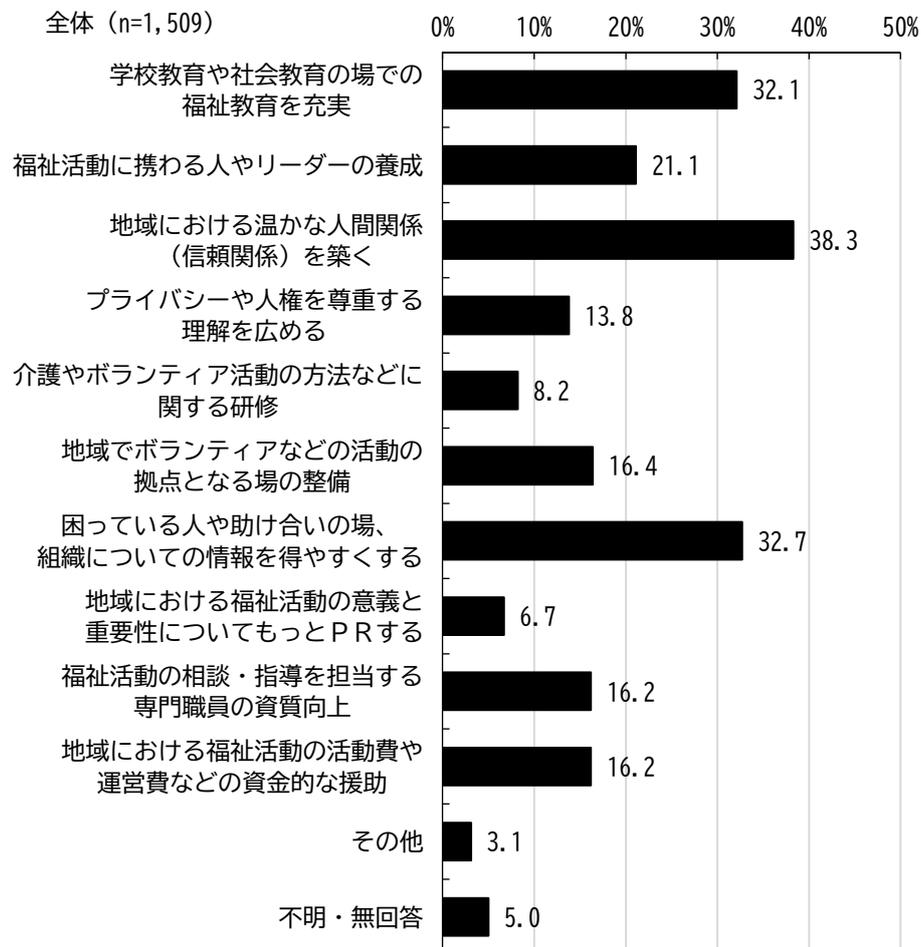
Q24 地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題は、次のうちどれだと思いますか。
(3つまで○)

地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題についてみると、「地域住民同士の交流・接点づくり」が39.2%と最も高く、次いで「火災予防や災害時の避難などの取り組み」が37.6%、「高齢者のみの世帯への支援」が35.2%となっています。



Q25 地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするために必要なことについてみると、「地域における温かな人間関係（信頼関係）を築く」が38.3%と最も高く、次いで「困っている人や助け合いの場、組織についての情報を得やすくする」が32.7%、「学校教育や社会教育の場での福祉教育を充実」が32.1%となっています。

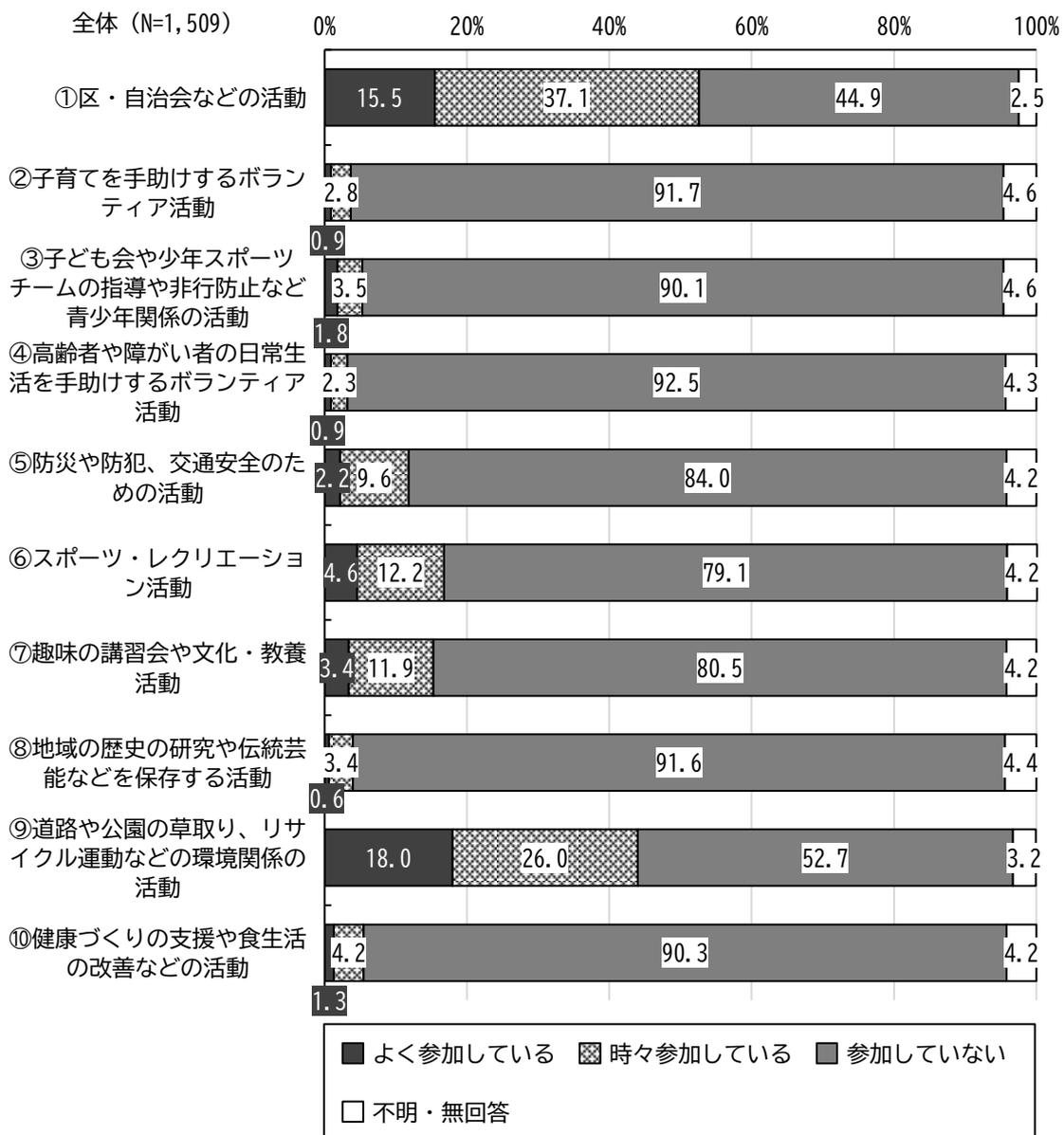


4 あなたの地域活動についておうかがいします。

Q26 地域活動の参加状況

地域活動の参加状況についてみると、「参加している」（「よく参加している」と「時々参加している」の合計）となっている活動は、[①区・自治会などの活動]（52.6%）と[⑨道路や公園の草取り、リサイクル運動などの環境関係の活動]（44.0%）となっています。

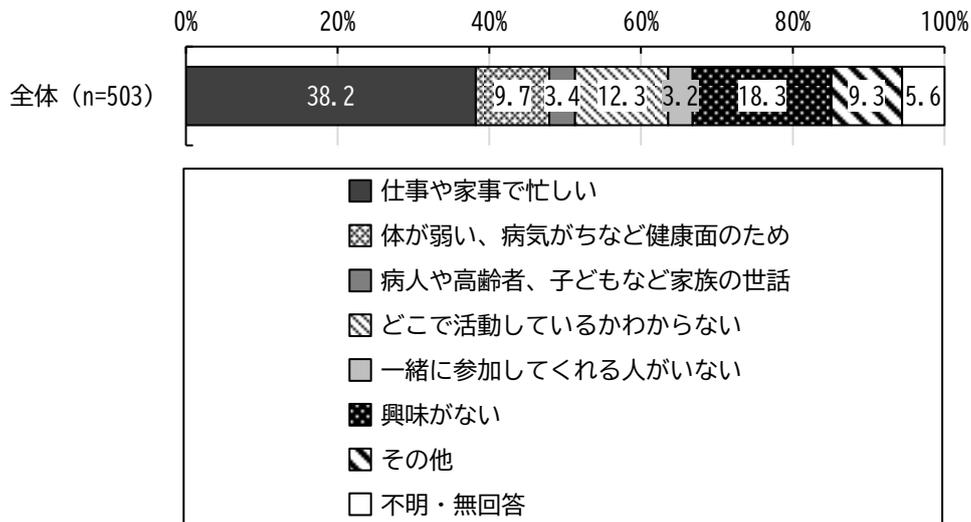
一方、[④高齢者や障がい者の日常生活を手助けするボランティア活動]（92.5%）、[②子育てを手助けするボランティア活動]（91.7%）、[⑧地域の歴史の研究や伝統芸能などを保存する活動]（91.6%）、および[⑩健康づくりの支援や食生活の改善などの活動]（90.3%）では、「参加していない」が9割以上となっています。



Q26 すべての項目に「3 参加していない」を選んだ方におうかがいします。

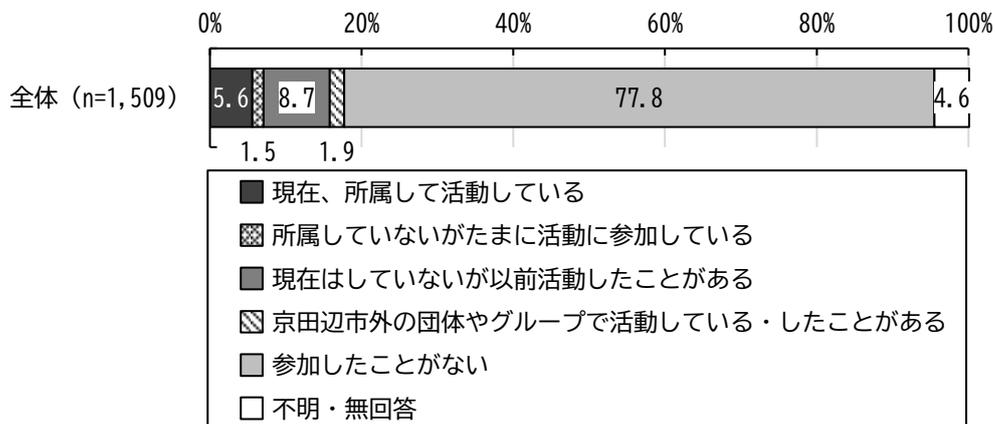
Q27 その理由は何ですか。(1つに○)

参加していない理由についてみると、「仕事や家事で忙しい」が38.2%と最も高く、次いで「興味がない」が18.3%、「どこで活動しているかわからない」が12.3%となっています。



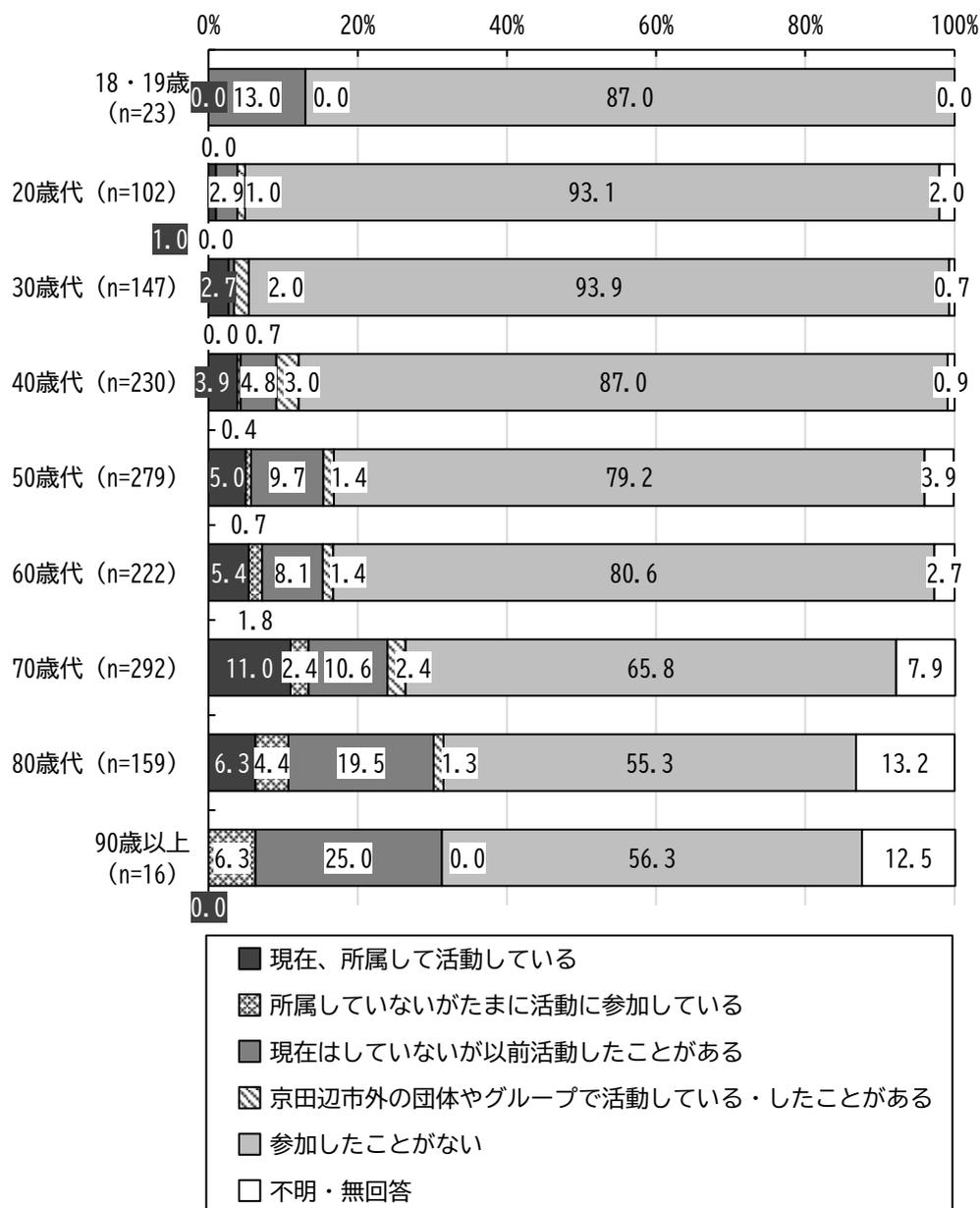
Q28 あなたは京田辺市内で活動しているボランティア団体やグループに、所属したり活動したことはありますか。(1つに○)

京田辺市内で活動しているボランティア団体やグループへの所属や活動経験についてみると、全体では「参加したことがない」が77.8%と最も高く、次いで「現在はしていないが以前活動したことがある」が8.7%、「現在、所属して活動している」が5.6%となっています。



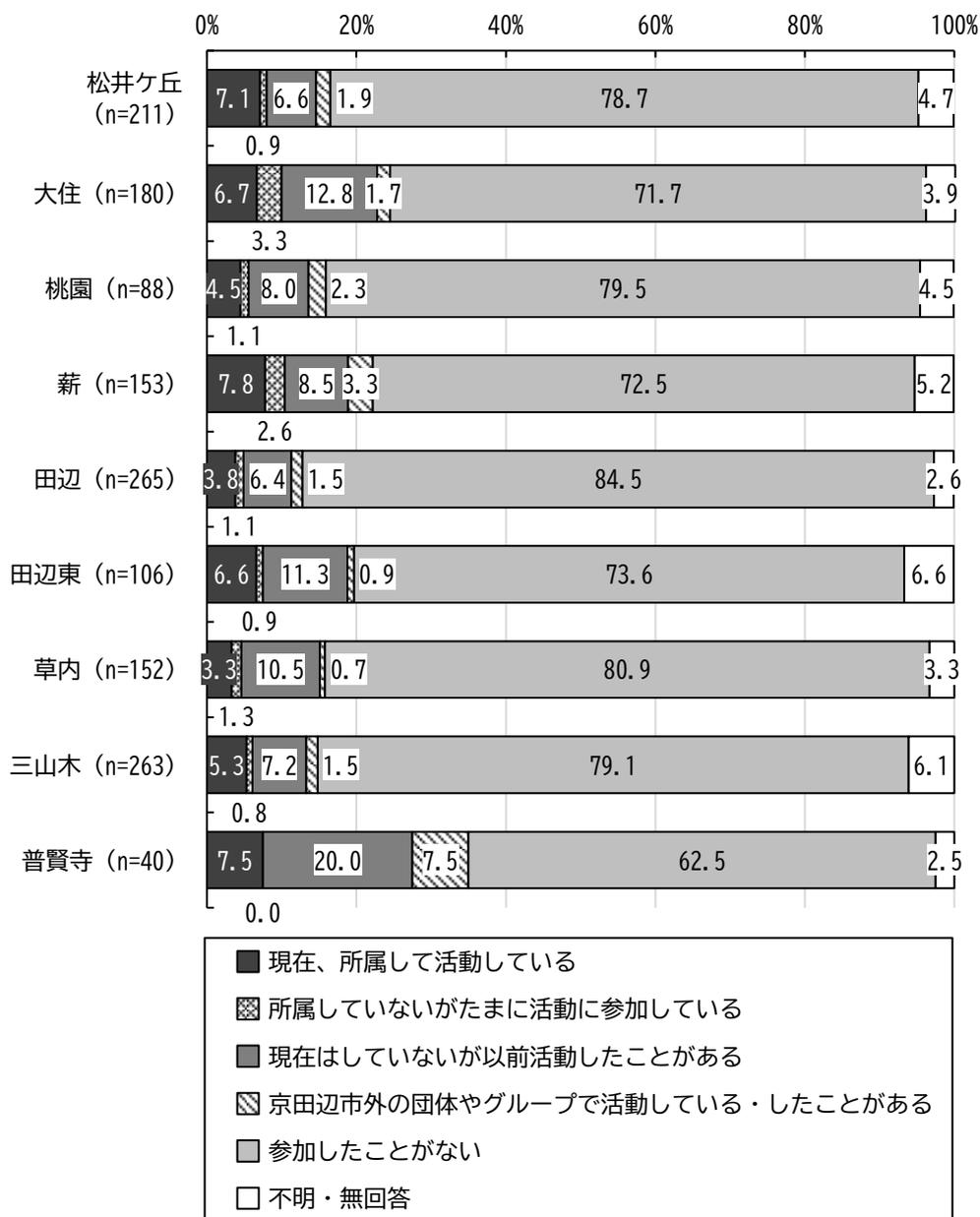
年代別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代][50歳代][60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]のすべての年代で「参加したことがない」が最も高くなっています。



地区別

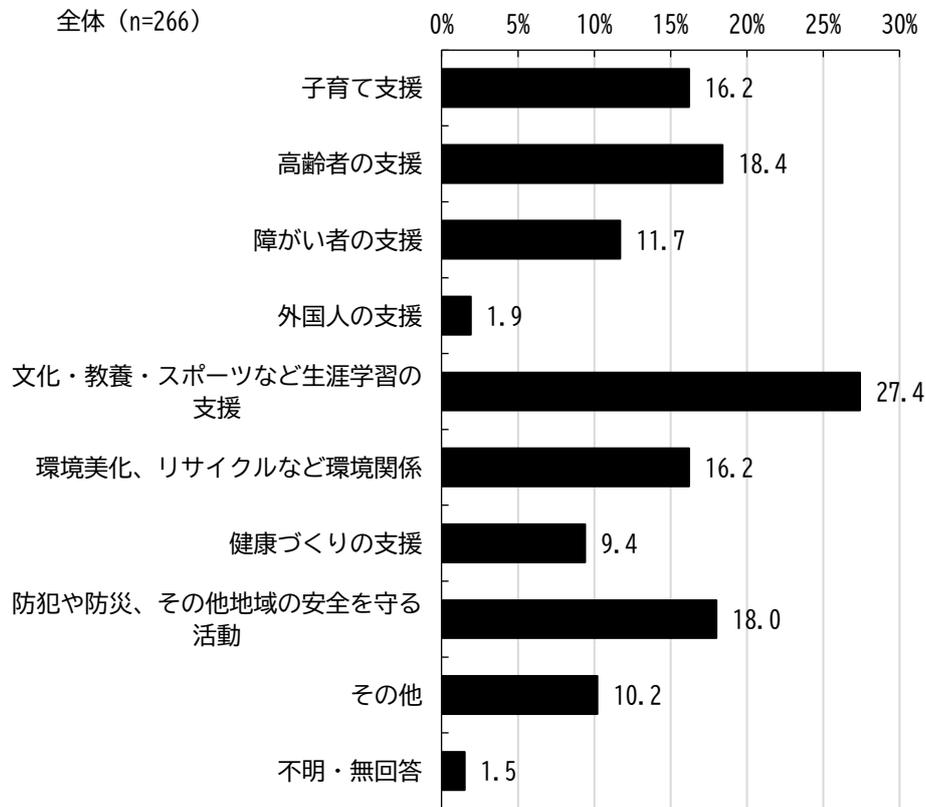
地区別にみると、[松井ヶ丘][大住][桃園][薪][田辺][田辺東][草内][三山木][普賢寺]のすべての地区で「参加したことがない」が最も高くなっています。



Q28で「1」～「4」のいずれかを選んだ方におうかがいします。

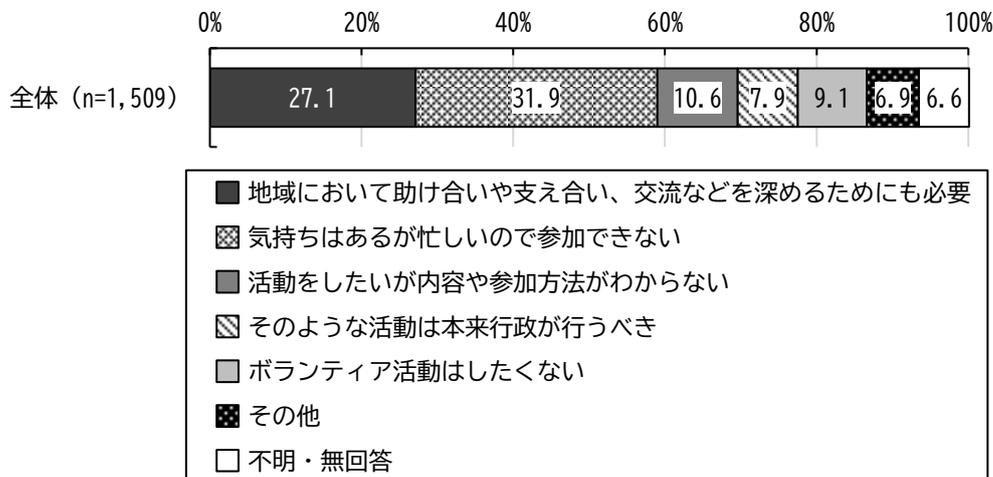
Q29 どんな分野の活動団体・グループですか。(あてはまるものすべてに○)

活動している団体・グループの分野についてみると、「文化・教養・スポーツなど生涯学習の支援」が27.4%と最も高く、次いで「高齢者の支援」が18.4%、「防犯や防災、その他地域の安全を守る活動」が18.0%となっています。



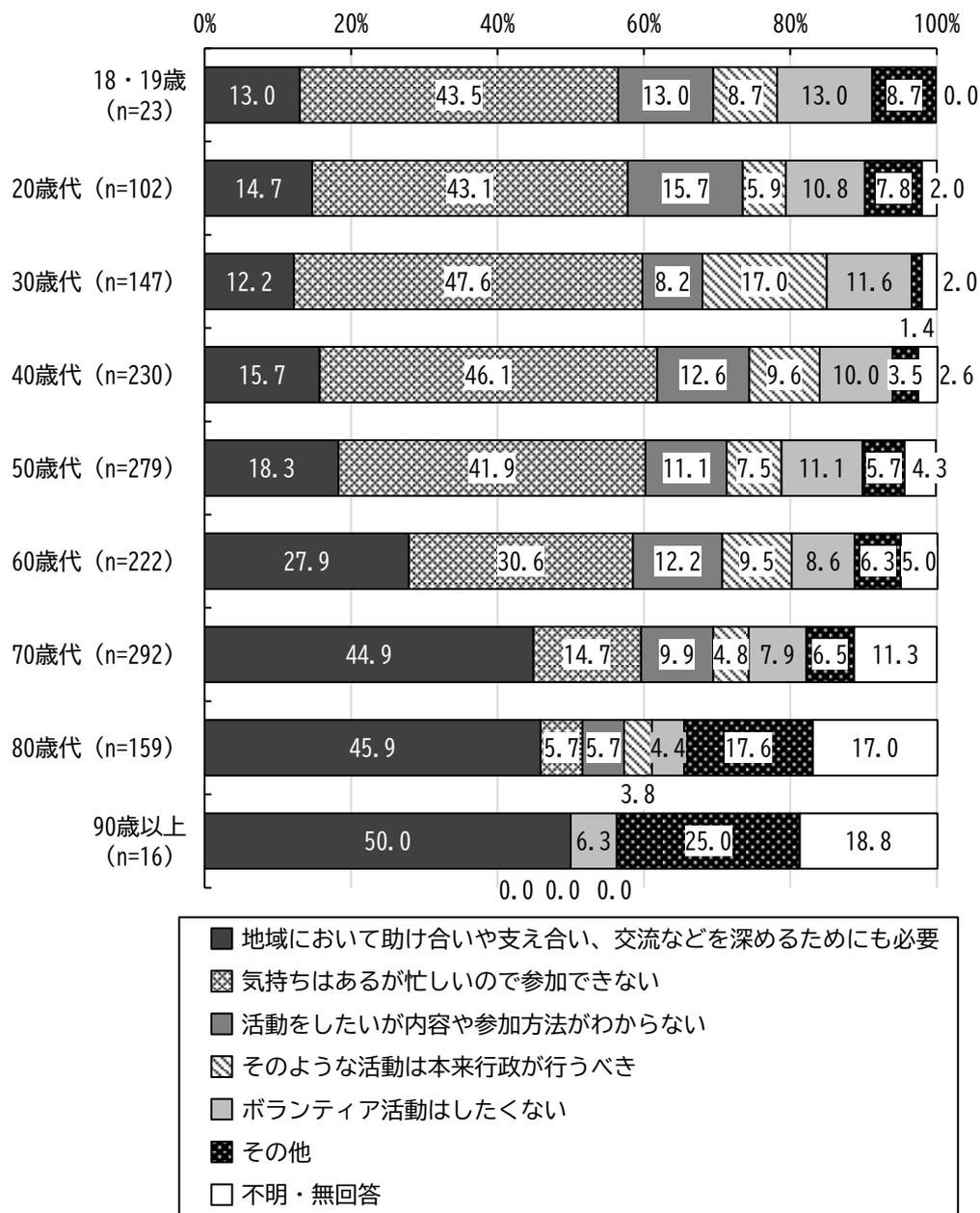
Q30 あなたはボランティア活動についてどのように思っていますか。(1つに○)

ボランティア活動についての考えについてみると、全体では「気持ちはあるが忙しいので参加できない」が31.9%と最も高く、次いで「地域において助け合いや支え合い、交流などを深めるためにも必要」が27.1%、「活動をしたいが内容や参加方法がわからない」が10.6%となっています。



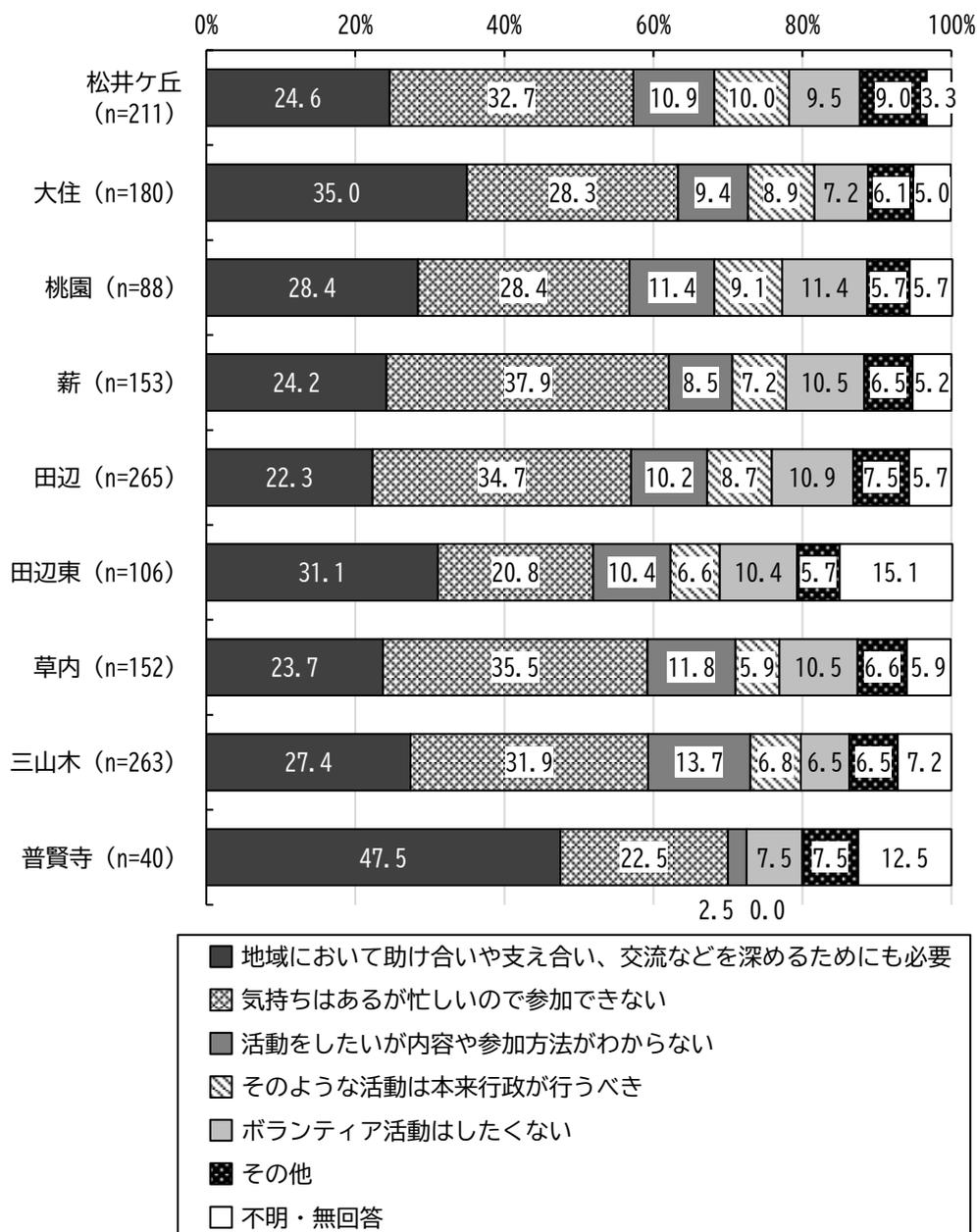
年代別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代][50歳代][60歳代]では「気持ちはあるが忙しいので参加できない」、[70歳代][80歳代][90歳以上]では「地域において助け合いや支え合い、交流などを深めるためにも必要」がそれぞれ最も高くなっています。



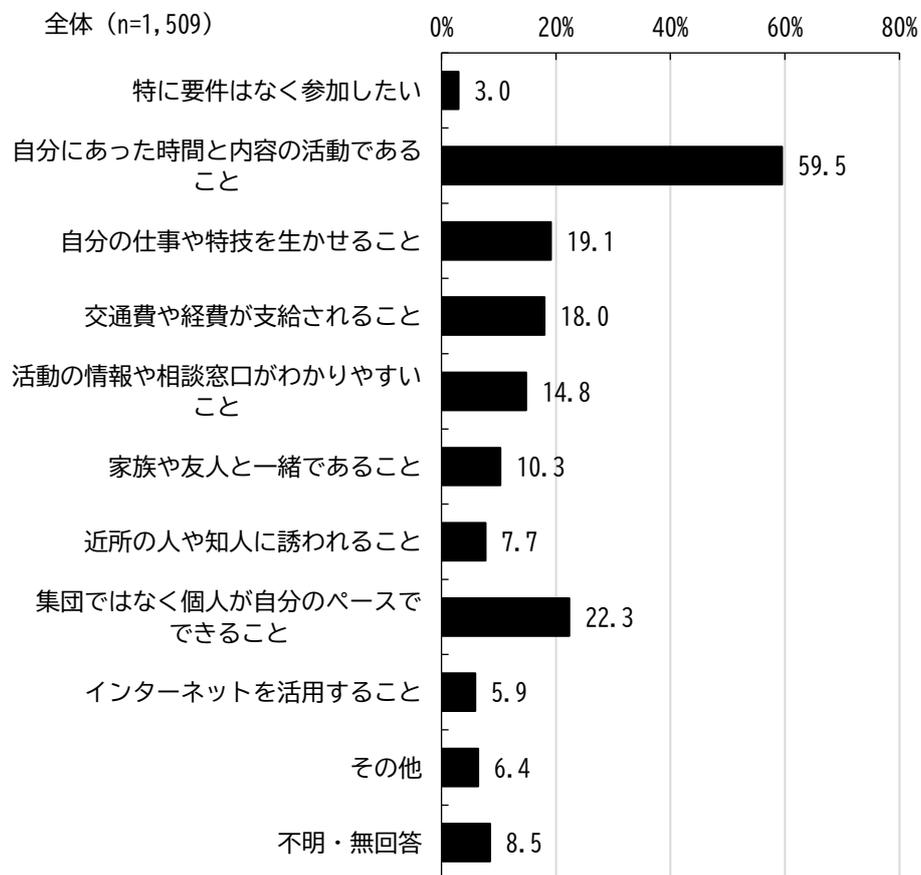
地区別

地区別にみると、[松井ヶ丘][薪][田辺][草内][三山木]では「気持ちはあるが忙しいので参加できない」、[大住][田辺東][普賢寺]では「地域において助け合いや支え合い、交流などを深めるためにも必要」がそれぞれ最も高く、[桃園]では「地域において助け合いや支え合い、交流などを深めるためにも必要」「気持ちはあるが忙しいので参加できない」がともに高くなっています。



Q31 あなたは、どのような要件が整えば地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

地域活動やボランティア活動に参加したいと思う要件についてみると、全体では「自分にあった時間と内容の活動であること」が59.5%と最も高く、次いで「集団ではなく個人が自分のペースでできること」が22.3%、「自分の仕事や特技を生かせること」が19.1%となっています。



年代別・地区別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代][50歳代][60歳代][70歳代][80歳代]では「自分にあった時間と内容の活動であること」、[90歳以上]では「その他」がそれぞれ最も高くなっています。

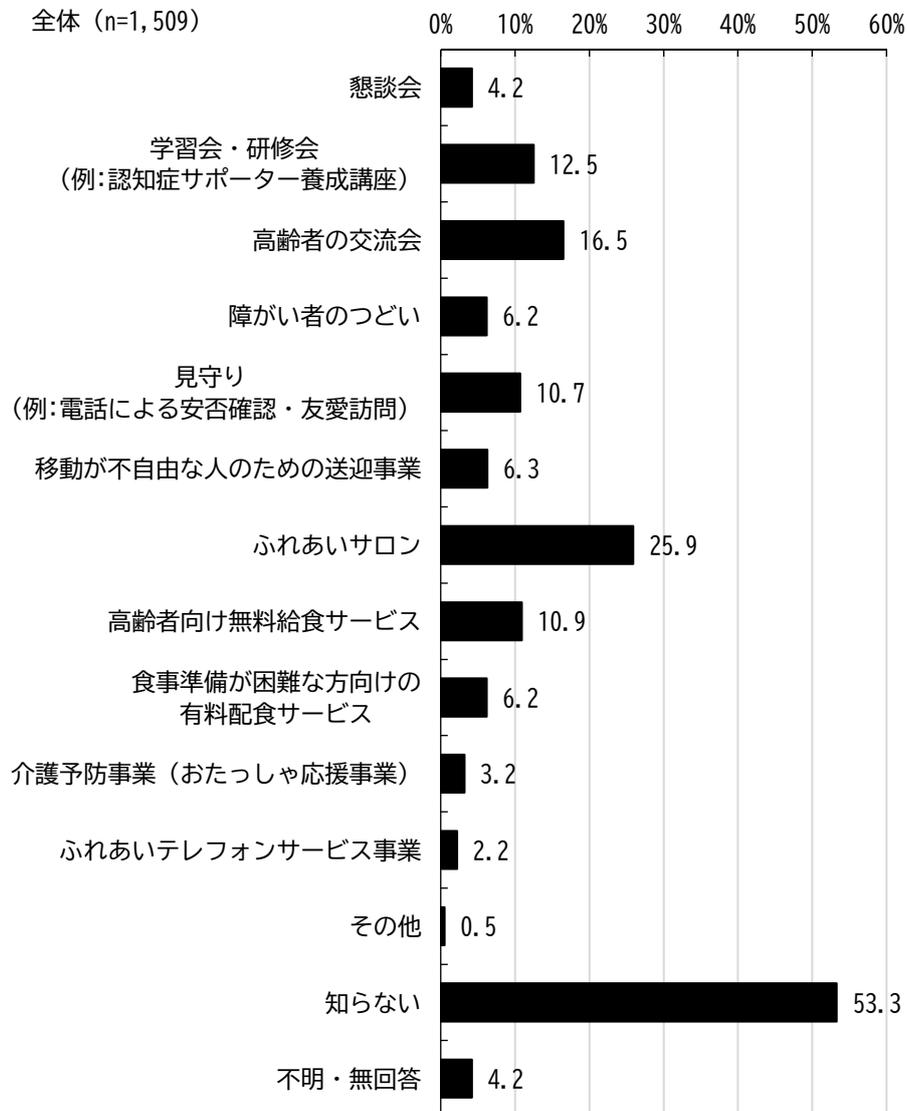
地区別にみると、[松井ヶ丘][大住][桃園][薪][田辺][田辺東][草内][三山木][普賢寺]のすべての地区で「自分にあった時間と内容の活動であること」が最も高くなっています。

		特に要件はなく参加したい	自分にあった時間と内容の活動であること	自分の仕事や特技を生かせること	交通費や経費が支給されること	活動の情報や相談窓口がわかりやすいこと	家族や友人と一緒にできること	近所の人や知人に誘われること	集団ではなく個人が自分のペースでできること
年齢別	18・19歳(n=23)	4.3	60.9	21.7	26.1	4.3	30.4	13.0	8.7
	20歳代(n=102)	1.0	62.7	21.6	42.2	13.7	15.7	7.8	20.6
	30歳代(n=147)	1.4	65.3	16.3	25.9	12.2	20.4	8.2	26.5
	40歳代(n=230)	2.6	64.8	24.8	21.7	10.4	13.5	8.7	24.3
	50歳代(n=279)	1.1	71.0	23.3	21.9	17.9	8.6	8.2	22.2
	60歳代(n=222)	0.9	65.3	21.6	17.1	18.5	6.3	7.2	23.9
	70歳代(n=292)	6.2	51.4	17.5	8.6	16.1	6.8	7.5	24.3
	80歳代(n=159)	5.7	36.5	6.9	3.8	11.3	6.3	7.5	13.8
	90歳以上(n=16)	18.8	12.5	0.0	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3
地区別	松井ヶ丘(n=211)	1.9	60.7	20.4	21.8	14.7	11.8	5.2	22.3
	大住(n=180)	3.9	57.8	16.1	19.4	16.7	6.1	8.9	25.0
	桃園(n=88)	1.1	67.0	25.0	14.8	17.0	10.2	4.5	15.9
	薪(n=153)	3.9	64.7	17.0	15.0	14.4	11.8	9.8	23.5
	田辺(n=265)	3.0	57.7	20.4	19.6	18.9	9.1	7.2	24.5
	田辺東(n=106)	3.8	53.8	19.8	12.3	11.3	10.4	12.3	22.6
	草内(n=152)	2.0	58.6	16.4	17.8	11.2	10.5	5.9	19.1
	三山木(n=263)	2.7	63.1	22.8	20.2	12.2	13.3	8.7	21.7
	普賢寺(n=40)	7.5	47.5	5.0	7.5	12.5	12.5	15.0	15.0
		インターネットを活用すること	その他	不明・無回答					
年齢別	18・19歳(n=23)	21.7	0.0	0.0					
	20歳代(n=102)	10.8	2.0	2.9					
	30歳代(n=147)	9.5	2.0	2.0					
	40歳代(n=230)	4.8	5.2	1.7					
	50歳代(n=279)	5.7	5.4	5.0					
	60歳代(n=222)	5.4	5.9	5.4					
	70歳代(n=292)	4.5	6.2	14.7					
	80歳代(n=159)	4.4	16.4	24.5					
	90歳以上(n=16)	0.0	25.0	25.0					
地区別	松井ヶ丘(n=211)	5.2	5.7	7.6					
	大住(n=180)	6.1	7.2	7.8					
	桃園(n=88)	2.3	2.3	10.2					
	薪(n=153)	9.8	5.9	6.5					
	田辺(n=265)	6.8	7.2	5.7					
	田辺東(n=106)	0.0	7.5	13.2					
	草内(n=152)	5.3	7.2	5.9					
	三山木(n=263)	8.0	5.3	9.5					
	普賢寺(n=40)	2.5	10.0	15.0					

5 地域福祉にかかわる機関や団体についておうかがいします。

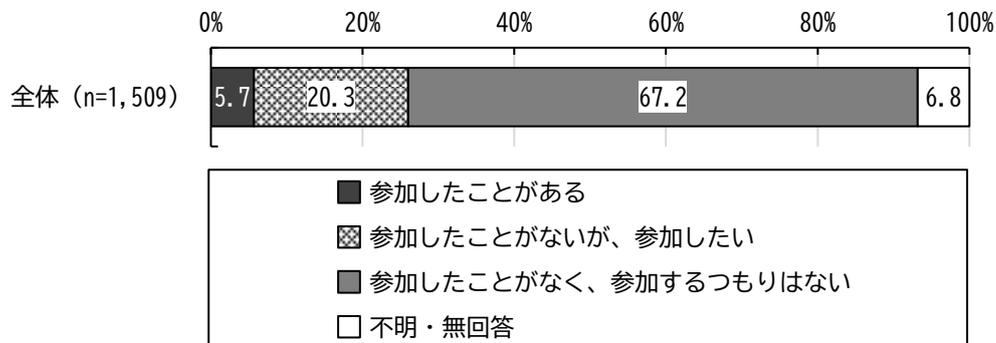
Q32 「小地域福祉活動」で、あなたが知っているものを選んでください。(知っているものすべてに○)

知っている「小地域福祉活動」についてみると、「知らない」が53.3%と最も高く、次いで「ふれあいサロン」が25.9%、「高齢者の交流会」が16.5%となっています。



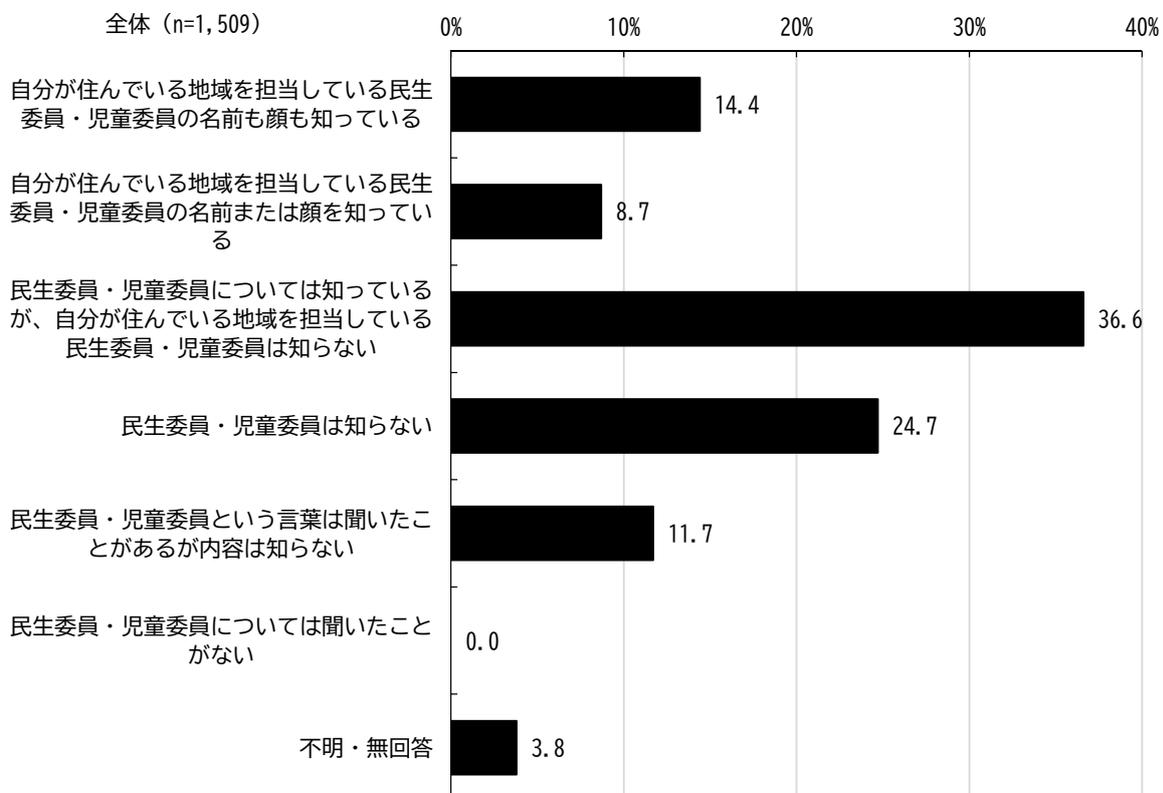
Q33 あなたは「小地域福祉活動」に参加したことがありますか。(1つに○)

「小地域福祉活動」への参加経験についてみると、「参加したことがなく、参加するつもりはない」が67.2%と最も高く、次いで「参加したことがないが、参加したい」が20.3%、「参加したことがある」が5.7%となっています。



Q34 あなたは民生委員・児童委員について知っていますか。(1つに○)

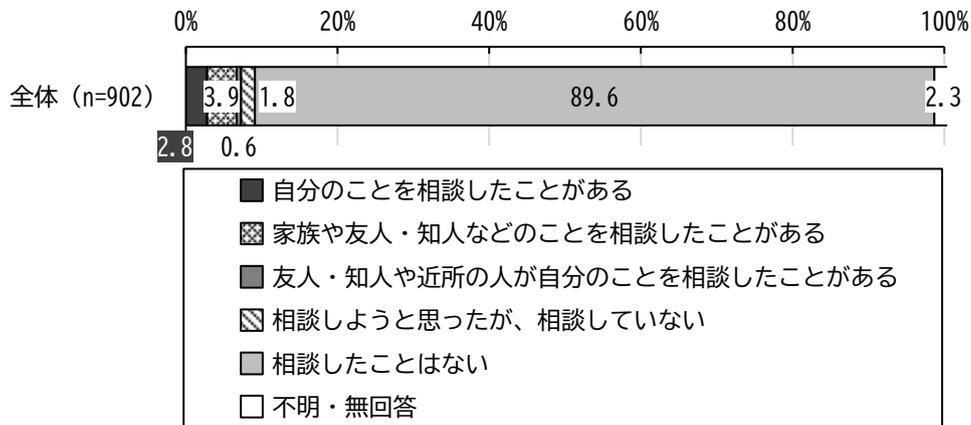
民生委員・児童委員についての認知度についてみると、「民生委員・児童委員については知っているが、自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員は知らない」が36.6%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員は知らない」が24.7%、「自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員の名前も顔も知っている」が14.4%となっています。



Q34で「1」～「3」のいずれかを選んだ方におうかがいします。

Q35 民生委員・児童委員に相談したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

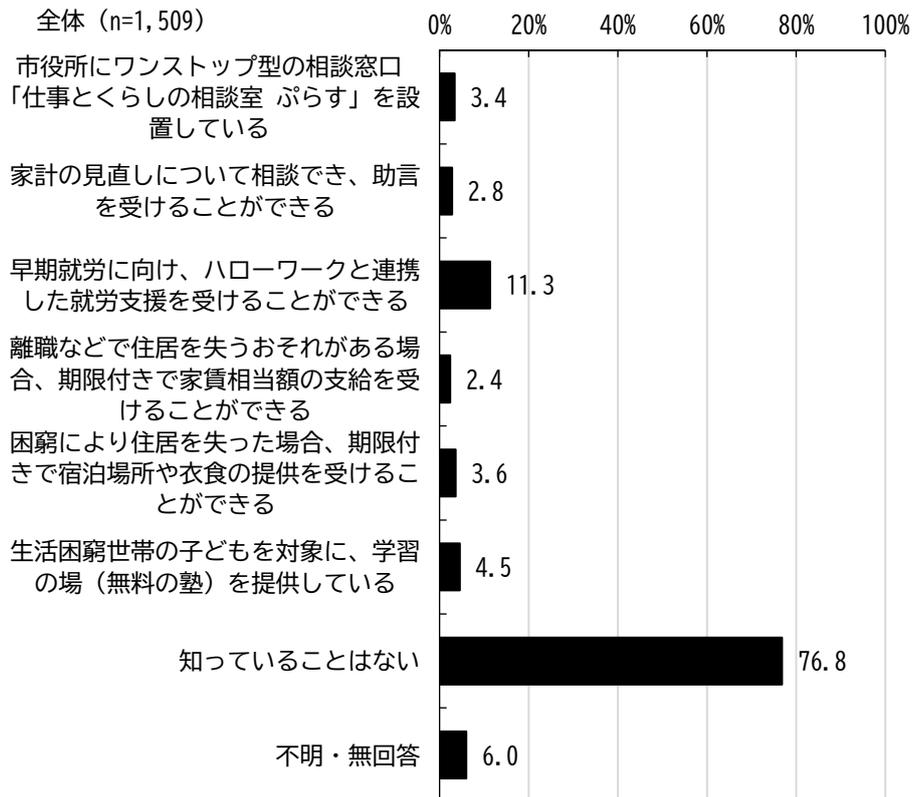
民生委員・児童委員への相談経験についてみると、「相談したことはない」が89.6%と最も高く、次いで「家族や友人・知人などのことを相談したことがある」が3.9%、「自分のことを相談したことがある」が2.8%となっています。



6 地域福祉に関連する制度についておうかがいします。

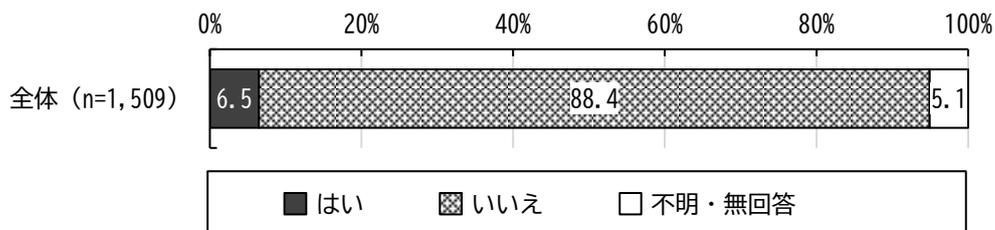
Q36 あなたは、市の生活困窮者自立支援事業について次のようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

市の生活困窮者自立支援事業についての認知度についてみると、「知っていることはない」が76.8%と最も高く、次いで「早期就労に向け、ハローワークと連携した就労支援を受けることができる」が11.3%、「生活困窮世帯の子どもを対象に、学習の場(無料の塾)を提供している」が4.5%となっています。



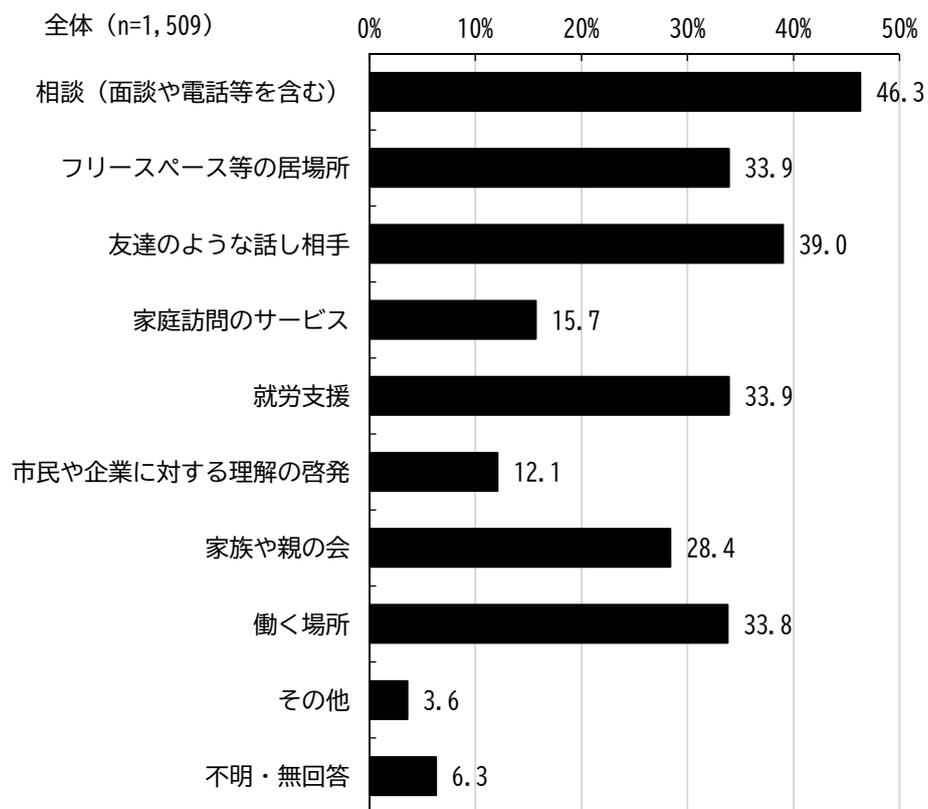
Q37 あなたはひきこもりに関する相談窓口(「仕事とくらしの相談室ぷらす」「ふれあい相談室)について知っていますか。(1つに○)

ひきこもりに関する相談窓口についての認知度についてみると、「いいえ」が88.4%と最も高く、次いで「はい」が6.5%となっています。



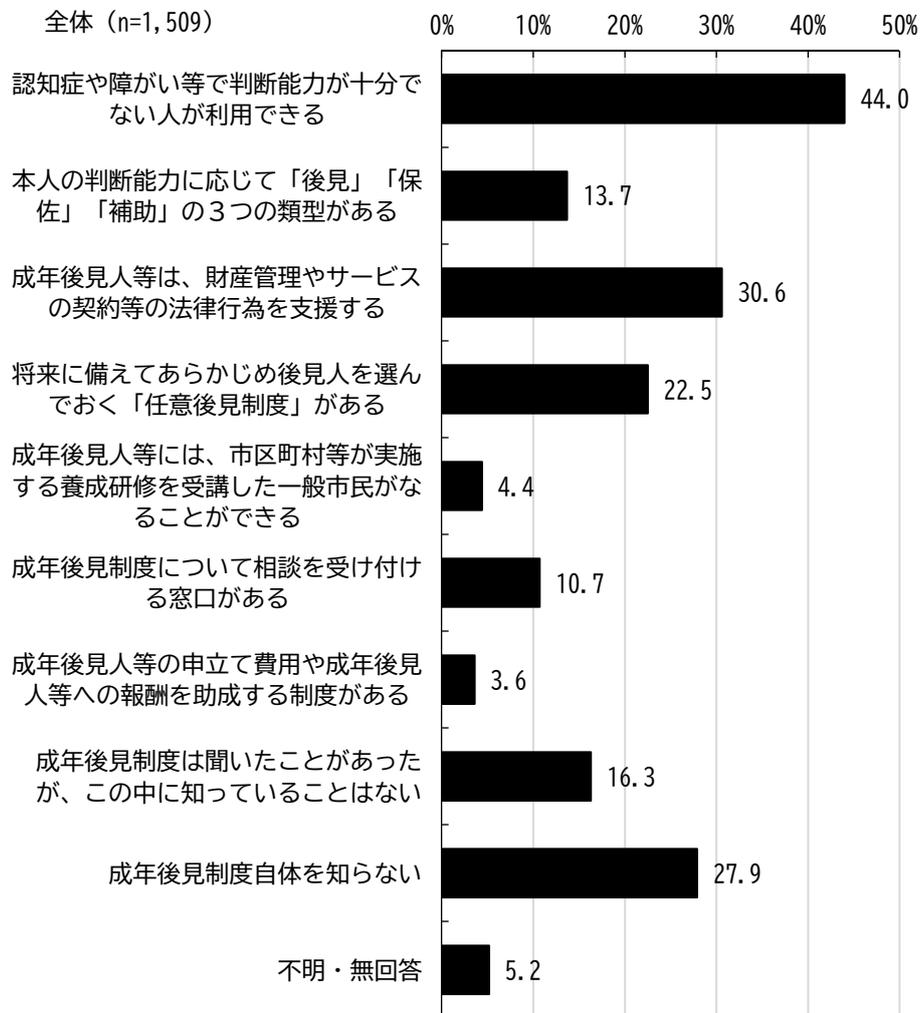
Q38 ひきこもりの方が必要とする支援は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

ひきこもりの方が必要とする支援についてみると、「相談（面談や電話等を含む）」が46.3%と最も高く、次いで「友達のような話し相手」が39.0%となっています。



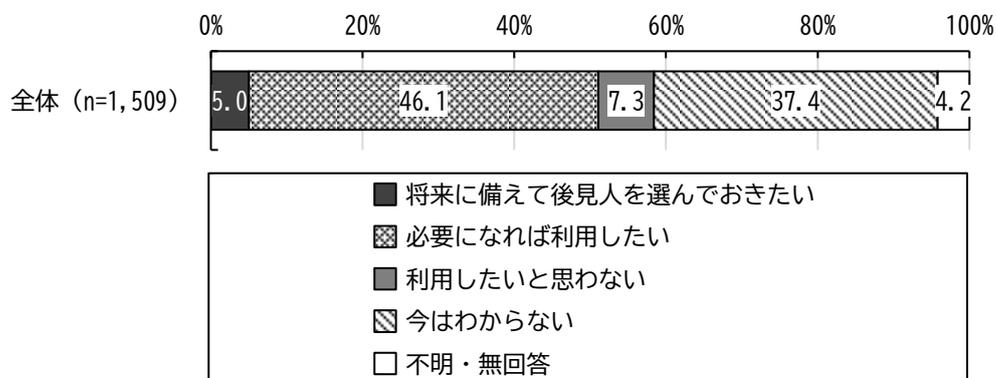
Q39 あなたは、成年後見制度について次のようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

成年後見制度についての認知度についてみると、「認知症や障がい等で判断能力が十分でない人が利用できる」が44.0%と最も高く、次いで「成年後見人等は、財産管理やサービスの契約等の法律行為を支援する」が30.6%、「成年後見制度自体を知らない」が27.9%となっています。



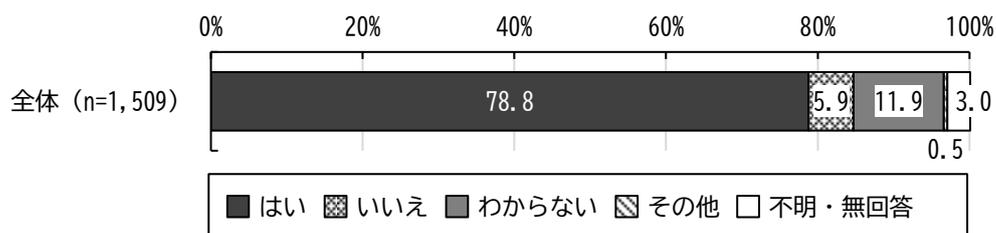
Q40 あなた自身や親族が、認知症等により判断が十分にできなくなったときに、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

成年後見制度の利用意向についてみると、「必要になれば利用したい」が46.1%と最も高く、次いで「今はわからない」が37.4%、「利用したいと思わない」が7.3%となっています。



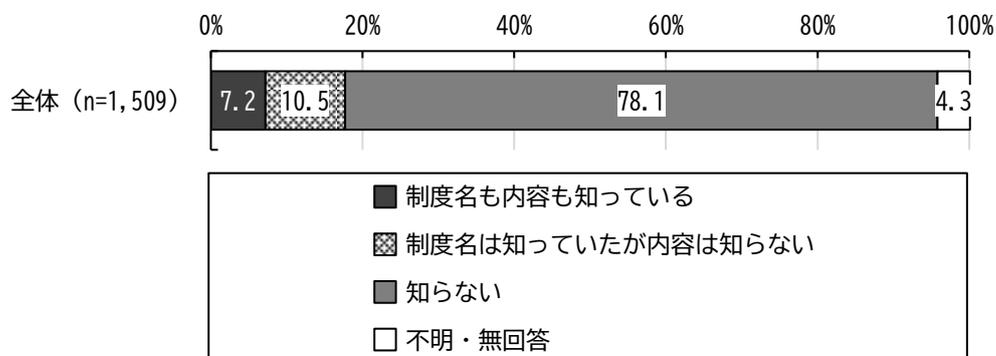
Q41 あなたは万が一（緊急入院や金銭的なトラブルなど）何かあった場合に頼れる人はいますか。(1つに○)

万が一の場合に頼れる人の有無についてみると、「はい」が78.8%と最も高く、次いで「わからない」が11.9%、「いいえ」が5.9%となっています。



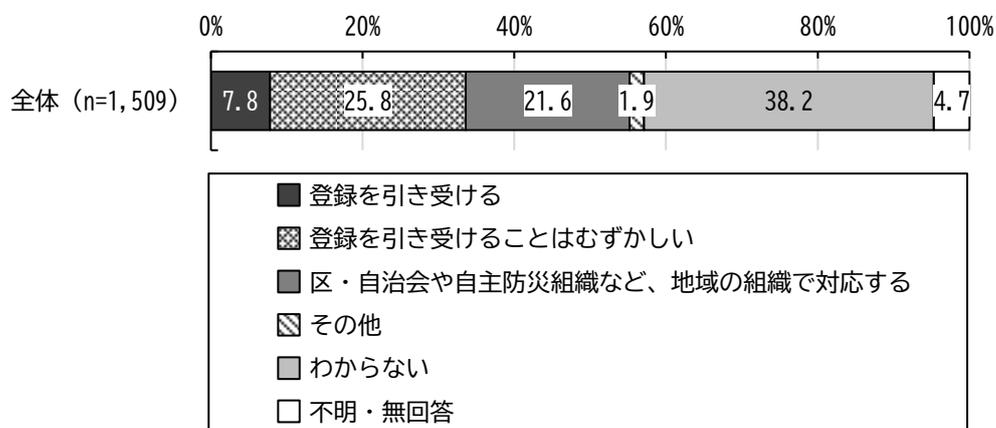
Q42 あなたは、「避難行動要支援者登録制度」について、知っていますか。(1つに○)

「避難行動要支援者登録制度」についての認知度についてみると、「知らない」が78.1%と最も高く、次いで「制度名は知っていたが内容は知らない」が10.5%、「制度名も内容も知っている」が7.2%となっています。



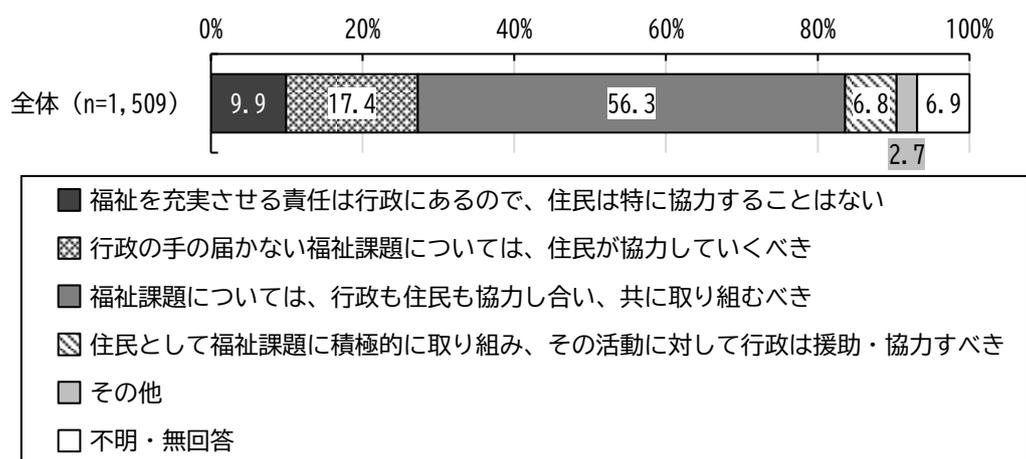
Q43 あなたは、「避難行動要支援者」から、その人の「避難支援者」として登録を依頼された場合、どのように対応しますか。(1つに○)

「避難支援者」として登録を依頼された場合の対応についてみると、「わからない」が38.2%と最も高く、次いで「登録を引き受けることはむずかしい」が25.8%、「区・自治会や自主防災組織など、地域の組織で対応する」が21.6%となっています。



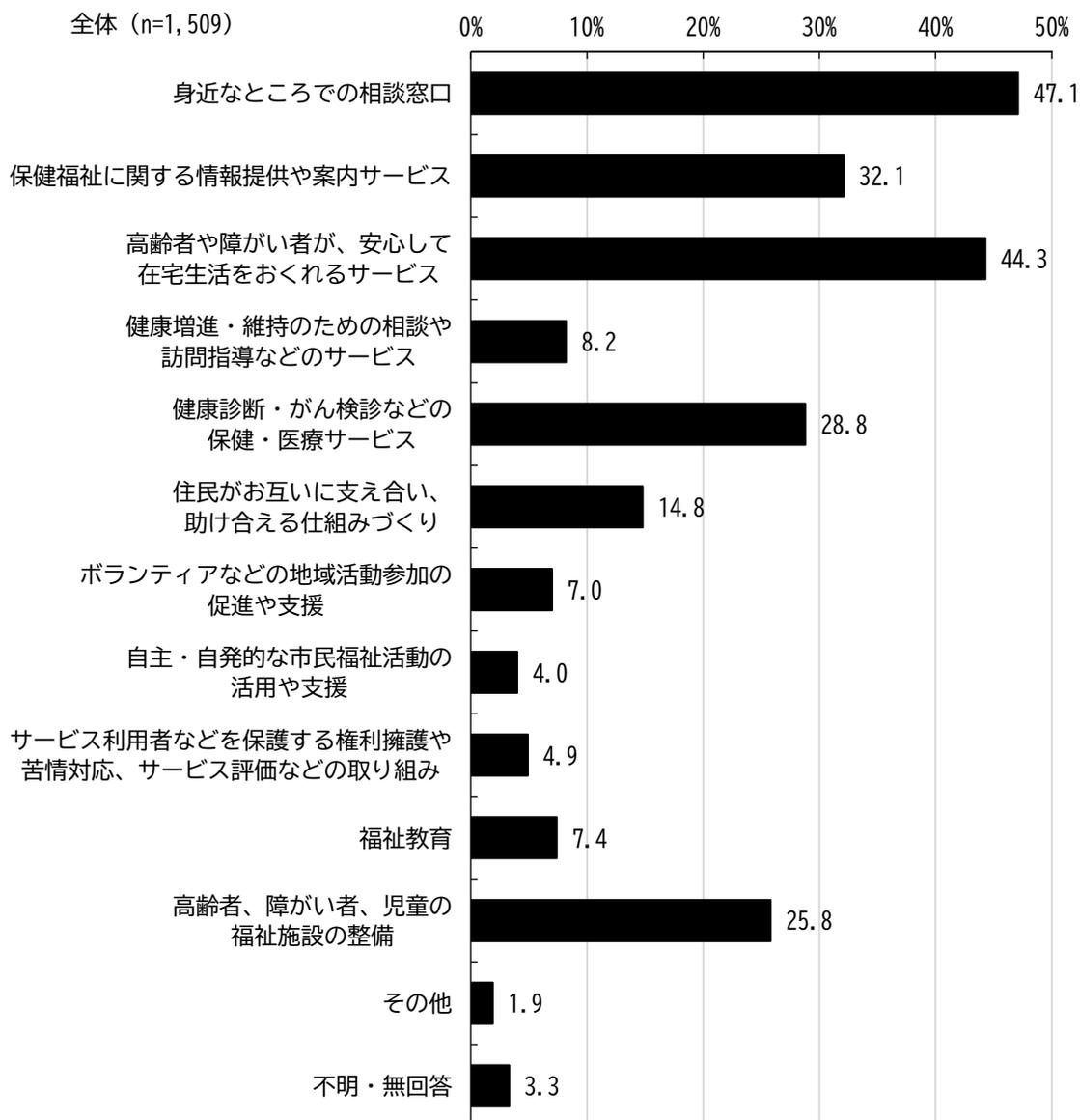
Q44 あなたは、福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてどのように考えますか。(1つに○)

福祉を充実させていくうえでの行政と地域住民の関係についての考えについてみると、「福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべき」が56.3%と最も高く、次いで「行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべき」が17.4%、「福祉を充実させる責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない」が9.9%となっています。



Q45 今後、京田辺市が健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策として、優先して充実すべきだと思うものは何ですか。（3つまで○）

京田辺市が健康や福祉を充実していくうえで優先して充実すべきだと思う施策についてみると、全体では「身近なところでの相談窓口」が47.1%と最も高く、次いで「高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービス」が44.3%、「保健福祉に関する情報提供や案内サービス」が32.1%となっています。



年代別

年代別にみると、[18・19歳][20歳代][30歳代][40歳代][50歳代]では「身近なところでの相談窓口」、[60歳代][70歳代][80歳代][90歳以上]では「高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービス」がそれぞれ最も高くなっています。

		身近なところでの相談窓口	保健福祉に関する情報提供や案内サービス	高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービス	健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービス	健康診断・がん検診などの保健・医療サービス	住民がお互いに支え合い、助け合える仕組みづくり	ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援	自主・自発的な市民福祉活動の活用や支援
年齢別	18・19歳(n=23)	39.1	30.4	34.8	4.3	34.8	13.0	17.4	4.3
	20歳代(n=102)	44.1	27.5	23.5	3.9	35.3	9.8	7.8	6.9
	30歳代(n=147)	42.2	25.9	18.4	4.1	34.7	17.0	8.2	1.4
	40歳代(n=230)	41.7	33.0	31.7	8.7	31.7	16.5	7.4	6.5
	50歳代(n=279)	49.8	37.3	46.2	7.9	25.8	16.8	9.7	3.9
	60歳代(n=222)	49.5	35.6	53.2	7.7	30.2	15.3	5.9	5.0
	70歳代(n=292)	49.0	31.8	56.2	9.9	26.4	14.0	5.5	2.7
	80歳代(n=159)	47.8	25.2	62.3	11.3	23.9	13.2	3.8	3.8
	90歳以上(n=16)	62.5	31.3	68.8	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0
		サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応、サービス評価などの取り組み	福祉教育	高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備	その他	不明・無回答			
年齢別	18・19歳(n=23)	13.0	17.4	17.4	0.0	0.0			
	20歳代(n=102)	2.0	12.7	21.6	2.0	5.9			
	30歳代(n=147)	4.8	12.9	25.2	2.0	2.7			
	40歳代(n=230)	4.3	10.9	22.6	3.0	3.0			
	50歳代(n=279)	4.7	4.3	21.5	2.5	1.8			
	60歳代(n=222)	8.1	4.1	27.0	1.4	2.3			
	70歳代(n=292)	5.1	6.5	29.8	1.4	2.7			
	80歳代(n=159)	3.8	2.5	32.7	1.9	7.5			
	90歳以上(n=16)	0.0	0.0	31.3	0.0	12.5			

地域福祉に関するご意見、地域福祉を推進するためのアイデア・ご提案等

【公共交通・移動支援の充実】

田辺団地発着のバスを増やしてほしい（買い物、病院受診時に不自由している）。
高齢者を引きこもりや寝たきりにさせないために交通手段の整備が必要（免許返納等で気軽に動けない）。
買い物が大変なところは、図書館のバスみたいに公園や広場にやってくる移動スーパーがあれば運転できない人には良いのではないか。
車を使わなくなると移動手段が限られて大変不自由をしている。
高齢者、障がい者が移動しやすい公共交通の整備が必要。
住んでいる地域は移動手段が少なく、車に頼るしかない状況。地域差があると思われる。
移動手段が確保されるだけで参加できる行事が増える。
坂が多いから歩くのが大変な高齢者も多いと思います。バス停がもっと増えたら良い。
家から駅まで3kmと遠いのに関わらず、バスの終バスがはやく運賃も高いのでコミュニティバスを走らせてほしい。
高齢者の危険運転をよく見かける。安心して免許返納できるよう、買い出し支援や通院支援の仕組みを早急に整えて欲しい。

【高齢者支援・施設の充実】

未婚独身1人の場合で病院にかかっているような持病がある場合でも、安心して在宅生活をおくれるサービスがほしい。若い人でも1人で安心して生活がおくれず、どこに相談していいのかわからず困っている人はたくさんいると思う。
ひとり暮らしにとって健康や、これからの生活に不安になる時があるので、気軽に困った時や悩みを相談できる環境やサービスがあればありがたい。
人生100年時代で高齢者がますます増えていく中で、元気老人がいつでも自由に利用できるスポーツジムセンターをつくってはどうか。医療費の削減の一助と福祉の充実を目的に。
私は94歳で息子（長男）1人に面倒を見てもらっています。息子も70歳で老々介護となっています。息子も疲れているようで、私に暴言を吐くことが毎日です。お互いに不幸であり、何か対策を市で考えてもらいたい。
高齢者をひきこもりや寝たきりにさせないために交通手段の整備が必要である。
高齢になり、健康面や日常生活が心配です。身近に相談や介護のことなど家庭で安心して過ごせるよう、見まわりなどしていただければありがたい。
京田辺市は健康診断などのサービスは大変充実していてありがたく感謝している。地域福祉への努力も見られ、現状で十分だとも思う。京田辺市だけに限らず、親の介護等で負担が重くのしかかるのは中高年の世代で、まわりも皆そのことで疲弊している。
高齢者のためにも近くにスーパーを増やしたり、お茶をする場等がもっと増えれば良いと思う。
松井ヶ丘地区に住んでいる。高齢の人も多く、高齢者も車は持っていない。駅から遠くて福祉系の体操や健康に気づかうイベントなども参加しづらい。
高齢者の居場所づくりと子どもの居場所づくりを別々にするのではなく、子どもと高齢者が集えるところがあれば良いと思う。いろいろな経験からお弁当やおやつが出る会には高齢者の参加が多い。

高齢化が進むなか、単身高齢者の生活支援、見守り支援の充実を希望します。
昨今は猛暑で外の公園で遊べないので、室内で高齢者も子どもも遊べたり、談話できる施設が必要だと思う。
家から歩いて行ける距離に、高齢者や障がい者、子どもたちが集えて遊べるスペースをつくってほしい。公園で高齢者も運動できるスペースぐらいほしい。
高齢の話し相手になってくれる人がいれば良い。民生委員や福祉の方で信頼できる人が良い。
ひきこもりの高齢者にならない為の活動への支援を望む。
8050 問題について市は積極的に対応してほしい。

【子育て支援・子どもの居場所】

学童、放課後等デイサービスが子どもの人数に見合っていないと聞く。放課後等デイサービス、学童の拡充が必要。
子育て中の私も車は持っていない。ランチに子育てスペースを借りてくれているところでも時々行ってくれと助かる。駅前すぐならどこでも行きやすい。
子どもの居場所づくりと高齢者の居場所づくりを別々にするのではなく、子どもと高齢者が集えるところがあれば良いと思う。
子どもの安全を守れるように道路の安全性など、基本的なところをまず見直してほしい。
発達障害や不登校の子はまわりに多くいるが、それについて知る機会がないのもっと普通に扱ってほしい。
子どもが安心して遊べる大型の室内の遊び場がほしい。
家から歩いて行ける距離に、高齢者や障がい者、子どもたちが集えて遊べるスペースをつくってほしい。

【障がい者支援の充実】

発達の遅れ、不安、自閉症児が増え病院が少なく、療育施設を増やすべき。
重度障がい者のサポートの充実。入所施設やグループホームの数を増やす。利用希望待機者へのサポート。
高齢者のための施設だけでなく、障がいを持つ人のための施設をつくってほしい。
家から歩いて行ける距離に、高齢者や障がい者、子どもたちが集えて遊べるスペースをつくってほしい。
障がいが高くても軽くても希望すれば誰でも入れるような施設を早く建ててほしい。

【情報発信・周知の改善】

社会福祉全体のPR不足により、参加も少ない。まず、社会福祉活動をPR（広報や市のネット情報など）。高齢者などのボランティアの積極的な活用。
制度、施設が数多くあるが、全市民にわかりやすく説明することが重要だと思う。
知らないこともたくさんあり、情報はどこで知れるのか知りたい。
子どもが落ち着いて勉強できる施設の充実を望む。
高齢者、乳幼児だけでなく平等に支援されると良い。
毎年1月に市の広報紙「ほっと京たなべ」に年間の福祉活動のスケジュールを掲載するようにすれば、高齢者や障がい者が参加しやすくなるのではないか。
市から配布されている新聞等はよく読んでいるつもりでも知らないサービスがある。
市民の知識が全くないと思って情報を発信してほしい。必要な冊子等を各家庭に配布してほしい。
福祉を受ける側になった時にはじめてわかることがあるのだらうと思った。わかりやすく示した冊子があれば家庭に保管できる。
地域福祉活動に参加したくても一体どこに行けば良いのか、どこに問い合わせれば良いのかわからない。市のHPをみても複雑すぎる。市の広報も文面では読まないことがあり、SNSなども活用してほしい。
発達障害や不登校の子について知る機会がない。
地域福祉という言葉になじみがなく、内容がわからない。SNSで京田辺市の活動を発信して広めてほしい。
支援などももう少しわかりやすく情報発信してほしい。京田辺はどんな支援等があるのかSNS等で発信して広めてほしい。
市内外にあるボランティアグループやNPO法人、行政、企業が一同に集まる機会を年数回つくり、情報を交換する必要がある。単体でできないとり組みなどニーズに対して協力することで新しいサービスが生まれ、真に困っている人の声を聞いて、支援できる関係づくりをすすめていくのはどうか。
どのような困りごとをどこに相談できるのか、分かりやすい資料があるといい。

【相談窓口・行政対応の改善】

高齢者側、障がい者側がサービス（支援）を受け入れてくれるかどうかの確認が必要。
複数の自治会を支援する行政組織をつくり、市役所本体とのつながりを果たす役割が必要。
家族の方が相談できる体制。窓口を強化してほしい。
階層にわけた窓口が必要、第一段階は「健康」、第二段階以降の具体化した意見や実態を探るのが良いと思う。
子どもや高齢者に特化せず、すべての年代、家族形態にこだわらない福祉サービスの充実を期待する。
松井山手には行政機関の相談・手続き窓口がなく非常に不便。支所で良いので窓口を開いてほしい。
福祉に関するサービスの提供などは、行政と専門の方々との客観的な支援と具体的に活動していく方々の専門知識、質的向上がなにより大事だと思う。
福祉を受ける立場と福祉にたずさわる立場の双方で相談・対策が必要だと思う。

【地域コミュニティ・居場所づくり】

昔からある田舎の地域で私の親世代や祖父母世代は地域のつながりがあり、ある程度の近所付き合いや情報がありますが、自分の世代は、親世代のようにやっていけるのか不安がある。しかし解決策もない。
人と人がつながるためには共通体験が大切であり、顔を知り、話をする中で信用や信頼を築いていくものと思う。そうした共通体験として米づくりを推奨する。
地域の公民館の常時利用体制を整備すべきだと思う。夏の熱中症対策のためのクーラーの効いた休憩室の開放など。
自治会館や公共スペースを活用して、高齢者や社会参加に興味のある人たちの居場所づくりの仕組みを整備してほしい。
障がいをもつ家族を支えること、孤立しないことがとても大切。
互助関係を形成するコミュニティを築いていくうえで、世代間の考え方のギャップが大きいことが課題。
高齢者が多くなり、見守り活動等も高齢者が仕方なく引き受けている状態である。
駅前すぐならどこでも、どこの駅でも行きやすい場所で福祉系のイベントを開催してほしい。
子どもと高齢者が集えるところがあれば良いと思う。
高齢になると利用したくても、遠くに施設会場に行くのに大変不便だと思う。
気持ち良いあいさつを心がけ、近所づきあい健康状態もわかるのであいさつを重視したほうが良いと思う。
気軽に参加できる楽しいイベントがあちこちであれば良いのと思う。
住民同士（老若）いたわりの心で助け合いの心で過ごすことができるまちづくりが必要。
家から歩いて行ける距離に、高齢者や障がい者、子どもたちが集えて遊べるスペースをつくってほしい。
どんな人もふれあえる地域のコミュニティがあったら参加したい。

【ボランティア・担い手の課題】

各自治会が抱える課題を財政面からも支援する行政組織が必要である。
育児、介護の重要性がますます高まる中、行政と市民が連携して、また市民としては気軽に参加できる機会があると良いと思う。
先進的なモデル事業に参加する機会があれば京田辺市が参加したり、市でスタートアップやクラウドファンディングをすすめたり、明るい未来に向けた取り組みがあると元気な市になるのではないかな。
自治会組織の強化と民生委員との連携。
社会福祉協議会の皆さんの活動には頭が下がります。福祉活動するには「心のやさしさ」が必要。
京田辺市の希望する人がアプリやLINEなどに登録し、買い物代行やごみ捨て、子どもの預りなどができるようになれば良いと思う。
地域の公民館に常駐管理ボランティアを配置するなどして、公民館の常時利用体制を整備すべきだと思う。
無償のボランティアでは人材・人員の確保に限界を感じる。労働には適正な対価が必要で、ボランティアのように善意で労働力を求めるのは間違いである。
区・自治会単位の防災の取り組み（防災訓練等）の行政支援（啓発）をお願いしたい。
自治会の役も仕事、体力等と担い手が少ない。私自身も病気になって以降、地域の掃除、ごみ置き場の当番位で参加できない。

市内で活動をしているボランティア団体や各地域の自治会へ補助金を出して終わりではなく、しっかり並走して支援することが大切。また働いている世帯や子育て世帯の可処分時間を有効活用したいのであれば、それ相応の報酬がないと続かないし、担い手も見つからなくなる。ボランティア団体等も収益性を伴う事業にすることも可能であり、収入の部分でもきっちり保障できるような仕組みづくりが重要であると思う。
保育や福祉にたずさわる人が少ないので、担ってくれる人に手当て等があれば良いと思う。
元気な高齢者にもっと社会活動（ボランティア等）に参加していただき、自身も元気、社会も元気になっていただきたい。今のことも大事だが、今後ますます子どもが減っていくので、地域で安心して子育てができるように活躍していただきたい。
自治会の民生委員がもっと活動して、地域の高齢者や障がい者の家を訪問し状況を把握すると良いと思う。
誰かの支援をしたいという思いを友人知人は持っているが、どう活動してよいかわからないというところ。社会的弱者にのみ支援を送るのではなく、見えてくるニーズもあるかもしれない。

【インフラ・施設整備】

京田辺市は今も高齢者が多く、昔から住んでいる人々が多いように思うため、すべての生活に関わる「道」というものをまず広くし、すべての人が生活しやすくする考えを実行してもらいたい。
元気老人がいつでも自由に利用できるスポーツジムセンター（チョイ寄りできる場所）をつくってはどうか。
公的施設が駅の近くにあれば良い（中央公民館、社会福祉協議会、体育館、図書館など）。バスで行き来しやすいので。
高齢者のためにも近くにスーパーを増やしてほしい。
それよりもインフラ整備を整えて、これからの若者のためのまちづくりが必要ではないか。
夜真っ暗な道（三山木小学校付近）を明るくしてほしい。三山木小学校の人数も多いと聞いたので、冬暗くなると危ないのでよろしくお願ひしたい。
施設整備とそこで働く人々、ボランティア、長期に続く運営システム、絆ポイント等はげみとなる工夫。
民生委員をはじめとして気軽に相談できる窓口及び親身になって相談を聞いていただける様なカウンセラーがいてくださる事を願う。

【経済的支援・給付制度】

少ない年金なのに保険料が高過ぎです。

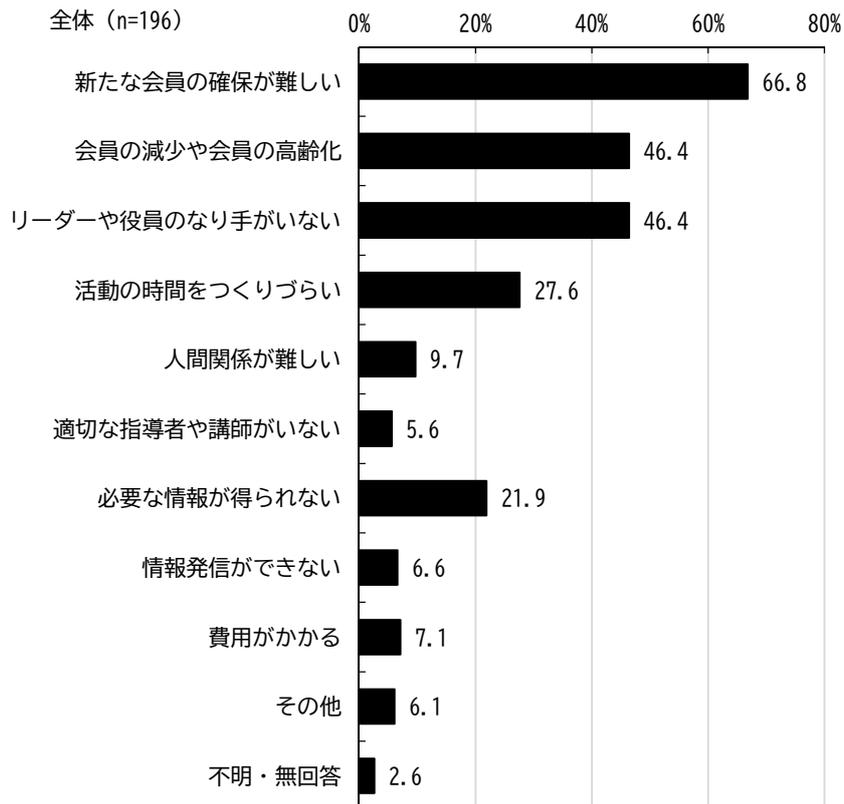
【その他・個別具体的課題】

外国人移住者の増加に伴い、日本人が十分なサービスを受けられることを阻害するようなことがないようにしてほしい。
今後、働き手が減少していく中で、外国人は大きな戦力ではありますが、ことばや文化の壁があることは否めません。本人への福祉の視点、経済活動を行うことによる社会活動への参加、人手不足の解消から、ひきこもりの方々をなんとか支援していくことができれば良い。

II-2. 関係団体、区・自治会長、民生委員・児童委員調査

問1 活動を行う上で、貴団体・所属する組織が課題だと感じていることや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

活動を行う上での課題や困りごとについてみると、「新たな会員の確保が難しい」が66.8%と最も高く、次いで「会員の減少や会員の高齢化」「リーダーや役員のなり手がいない」がそれぞれ46.4%となっています。

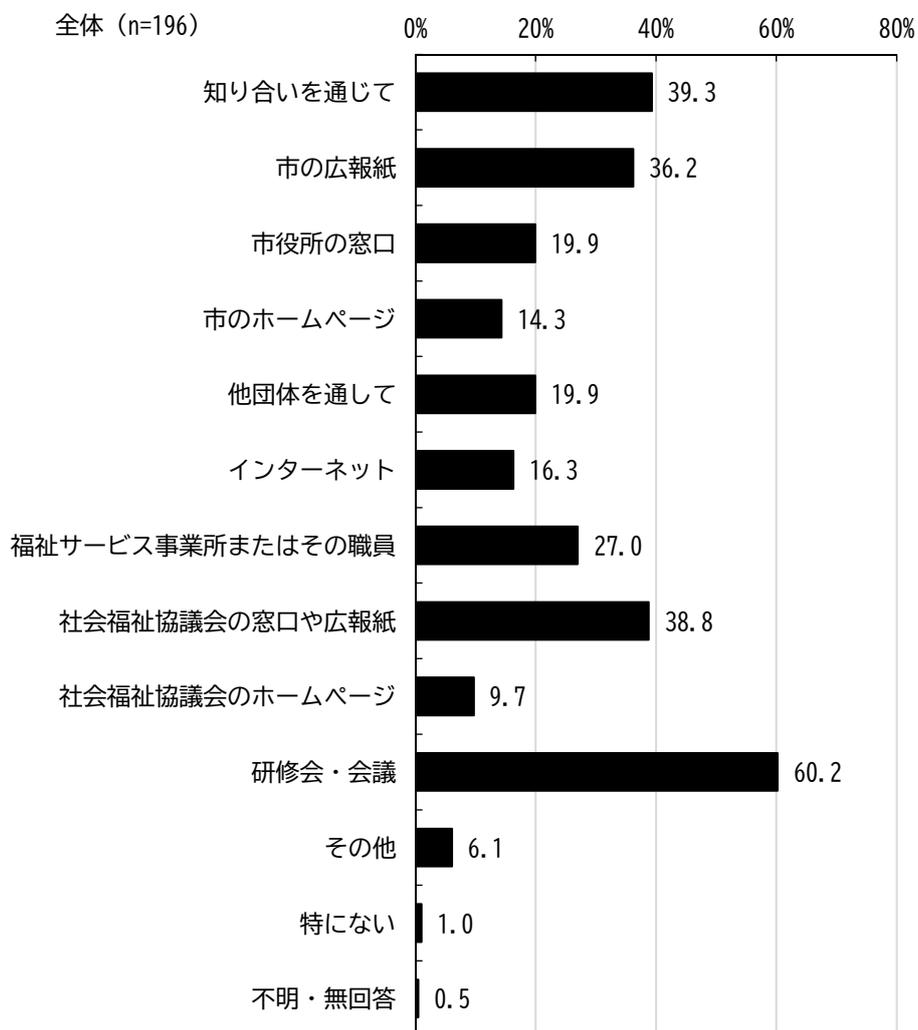


その他

自治会の役員に当たるのがいやで自治会に入らない
人材確保が難しい
市の会議など平日の昼間が多い
具中の回答がない
組織の存立目的が時代に合致していない
後任を前任者が探さなければならない。
高齢化が進み、担う事柄が増え、負担が大きくなっている
活動場所がない
施設の場所、広さ
高齢化がすすんでいる
ヒアリンググループ等の聴覚補助器機を社協に設置してほしい
提出書類、報告書類、定例会等が多い。

問2 活動を行う上で必要な情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

活動に必要な情報の入手先についてみると、「研修会・会議」が60.2%と最も高く、次いで「知り合いを通じて」が39.3%、「社会福祉協議会の窓口や広報紙」が38.8%となっています。

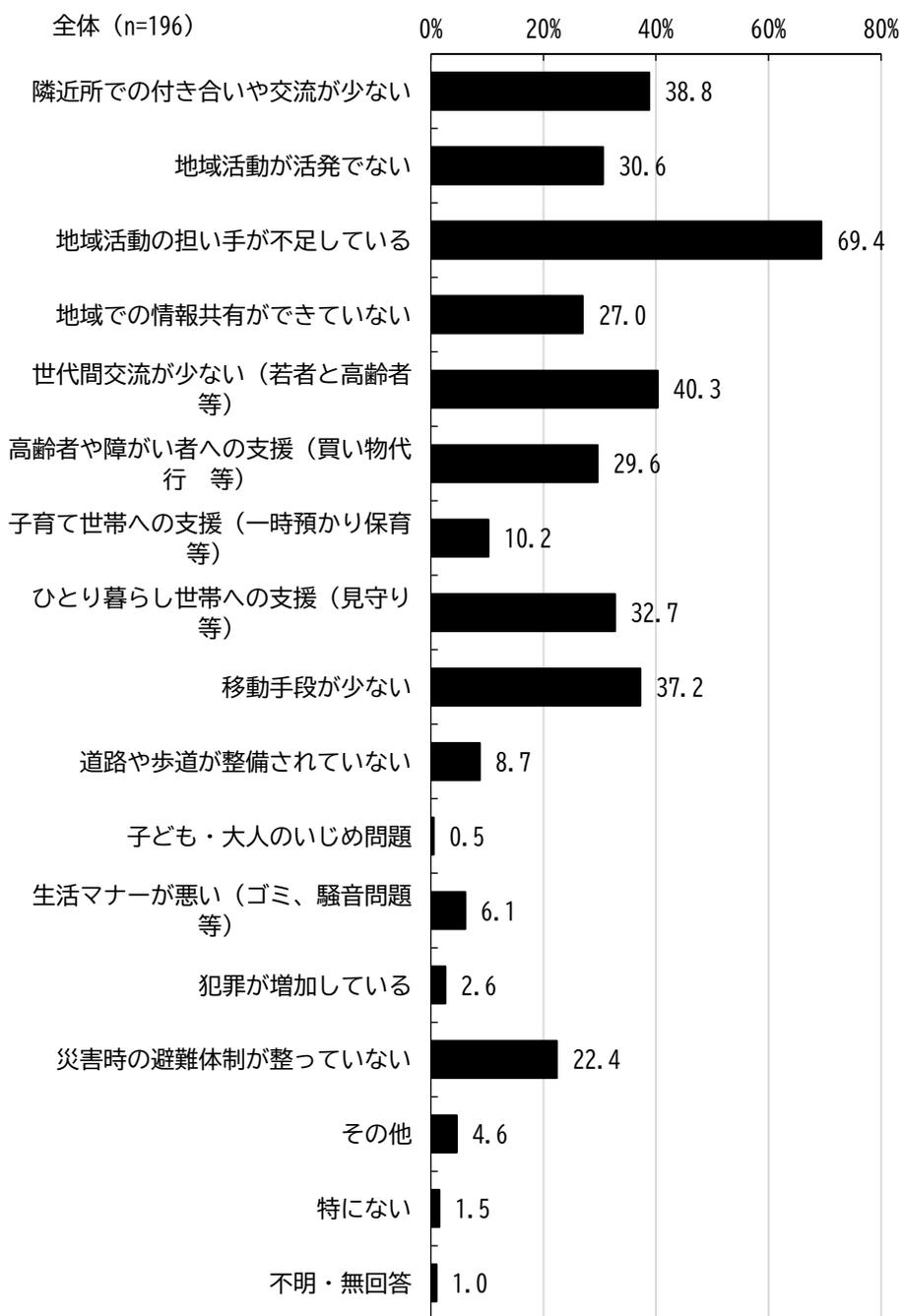


その他

市役所担当課
他市のホームページ
府聴協から情報
平常の生活を通じて
前任からの引継ぎ
委員
会員同士
地域の方からの情報
近隣住民
ボラ連
SNS

問3 活動を通じて、地域の中で課題に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

活動を通じて地域の中で感じる課題についてみると、「地域活動の担い手が不足している」が69.4%と最も高く、次いで「世代間交流が少ない(若者と高齢者等)」が40.3%、「隣近所での付き合いや交流が少ない」が38.8%となっています。

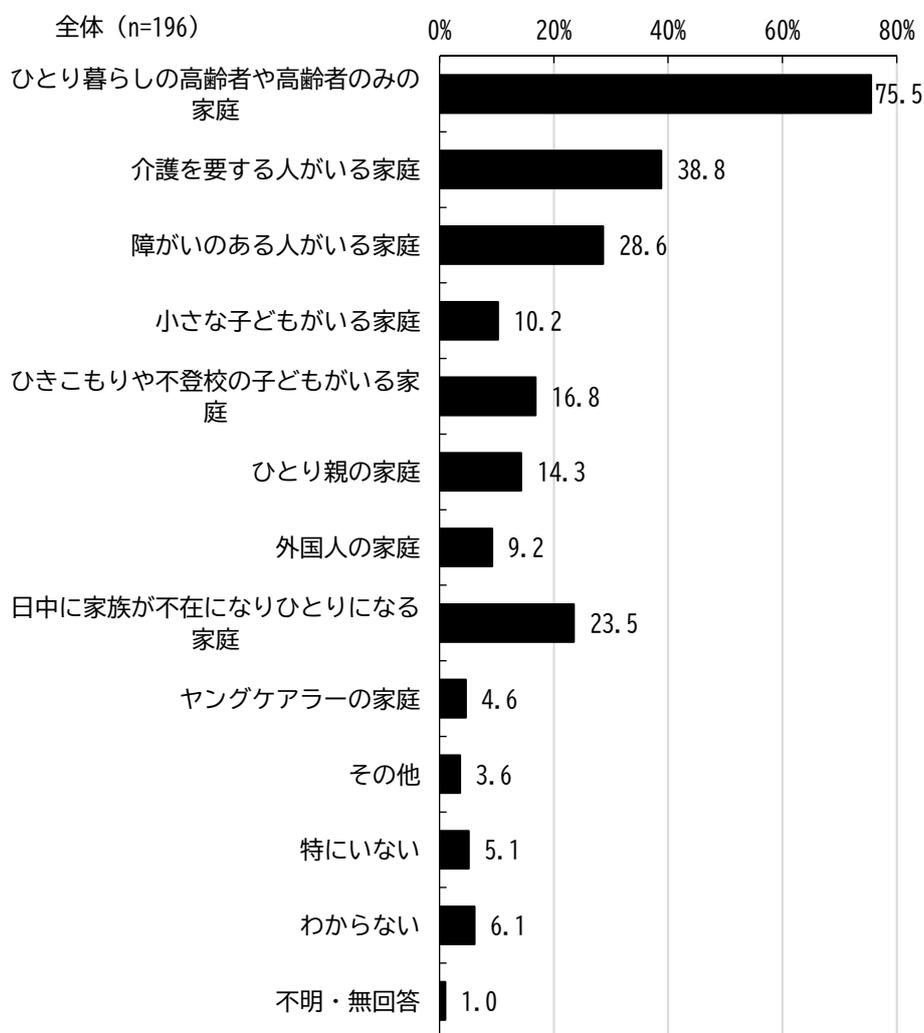


その他

高齢化に伴う避難体制になっていない
福祉避難所についての情報が不足している
新しく加入される方のコミュニティの関心が少ない。
市からの支援事業の内容の周知活動 PR 不足
スーパーがなくなりマンションに変わり、買い物難民の高齢者が居ると思う
高齢でもなく子育て世帯でもない方
自治会との連携
入区される方が少ない
個人情報等の障害

問4 活動を通じて、地域の中に次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人（何らかの課題を抱えている人）がいますか。（あてはまるものすべてに○）

地域の中で見守り等支援が必要な人や気にかかる人の有無についてみると、「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭」が75.5%と最も高く、次いで「介護を要する人がいる家庭」が38.8%、「障がいのある人がいる家庭」が28.6%となっています。

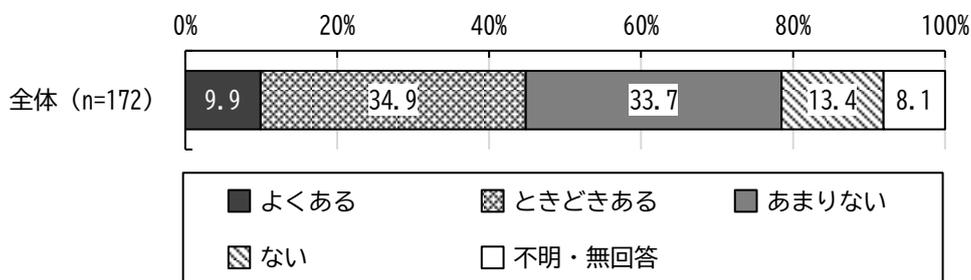


その他

各家庭の状況がわからない
空家の増加
生活費不足の若年独居（未婚）
日中、ひとりの高齢者
把握できていない
生活保護家庭
子どもがスマホや iPad 等を使い AI に相談している。親にも先生方にも言えないでいる。その様な児童が話しやすい大人がいることを知る為には、どのような場が必要なのか。

問5 問4の1～9の項目の世帯で複数の課題を同時に抱えているケースはありますか。(1つに○)

複数の課題を同時に抱えているケースの有無についてみると、「ときどきある」が34.9%と最も高く、次いで「あまりない」が33.7%、「ない」が13.4%となっています。



具体的内容

①独居高齢者世帯

中間独居も一人暮らしの同じなので見守りを重ねているが認知がある人がデイサービスを利用していないので色々と家に来てもらうサービスを利用すると安心。生活にはリズムが出来てきた
奥様が入院や施設に入所しておられて男性の方が一人おられる。そんな方が多くいられて今のところお元気そうですが数年後は支援していかなければならなくなるのは確実です。
団地の場合、高齢者の一人暮らしの方が入居されます。みよりなく、生活保護も受けていない方は、「あんあん」で支援以外に何を出来るのか、わかりません。シルバーや生協も活用していますが、通院への交通費も負担になっています。緊急連絡先は、遠くにすまれるめいごさんなので、入院や救急の連絡先に、民生委員の私になっているが、11月で定年なので、じたいします。
歩行困難でひとり暮らし、食料や日用品の購入で苦慮している高齢者が多い。
家族がいないし、近くの親せきも非協力的で、入院等になった時、誰もいない
ひとり暮らしの高齢者で子どもがなく、頼れる親族も高齢であったり、遠方であったりする場合、どの様な支援をしていくべきか考え中である。
85才以上の高齢一人ぐらしの男性、人と生活をする機会が無い。いつもテレビの前で見ているだけ。→地域で一人ぐらしの人の交流の場を作ってほしい。
ひとり暮らしで少し耳が遠いので、見守り時でなかなか通じない時がある。
見守りの高齢者。何かとすぐ筆記用具を出されます(92歳)。頭はしっかりおしゃべりもはっきりですが、大声で言わないといけなくて大変です(近所迷惑)。筆談でこちらの問いかけにはしっかり答えてくれます。
高齢者ひとり暮らしで足が悪く、耳はほとんど聞こえず意思疎通がはかれず困り事なども把握できない。
ひとり暮らしの方はずっとひとりなので、人が来るとおしゃべりしたくなる。電話がかかると詐欺にあいやすかったり心配。
ひとり暮らしの認知症の方

②高齢者のみ世帯（夫婦・きょうだい等）

老々介護
両方の親の介護が必要でどちらかが入院になった場合の手続き等困っている方が多い。
高齢者夫婦の世帯が多くなりつつあります。いっしょにいらしていても昼間はひとりになる世帯が多くなっています。今現在は、まだまだ元気な方々が昼間家におられますが、何年か先どんどん増えると思います。

③親子世帯（8050 問題等）

高齢者とひきこもりの家庭がある、又、外国人の家庭も増加。適切な窓口が市にない
8050 問題で、親の年金生活が長期化し、経済的問題と親が要介護状態で共倒れが懸念される。
介護を要する人と同居する障がいのある方やひきこもりの方の支援
介護を要する高齢者（親）とひきこもりの障がい者（子）。精神疾患等のある親と療育が必要な子。

④ひとり親世帯

ひとり親でひきこもり不登校の子どもがいる。
姉妹で自閉症の障害を持つお子様を父親が一人で育てているケース。
現在の「はいはい」の活動外でのケースですが、ひとり親で、子どもが不登校になり、家にいるが、仕事との両立が大変だという話や、離職される事もあると聞いています。

⑤多世代同居世帯

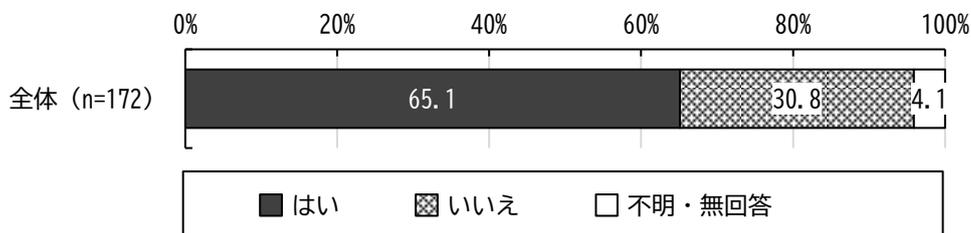
こちらの方は心配しているが（娘さんと同居で昼間は高齢のお母さんおひとりで生活。出歩くこともできない）同居の娘さんはさほど心配されていない。余計なお世話かも知れないがこちらとしては、出向く時は「何かあれば、連絡下さい」と声かけはしている。
障害のある子供を育てながら親の介護を担うケース。
ひとり親家庭で小学生の子どもが、親の夜勤のため一人で過ごす。同時に同居の祖母が要介護状態で見守り対応等が必要になったケース。
介護や障がいを持つ親や家族がいる状況下では、子どもの年にかかわらず、ヤングケアラーにならざるを得ない傾向にあると思います。子どもは助けるのが当たり前だと思っていたりもするので、助けてもらえる術があることを教えてあげたい。

⑥その他

食料支援は2ヶ月に1回実施している。利用者100人前後、実施場所に行けない、介護、パートのためどうしても仕事を休めず都合がつけられない人がいます。個別配達で対応しています。
年1回「災害時点呼カード」を作成していますが、個人情報保護を重視することから、現在は氏（ひらがな）と世帯数しか聞いていません。本人が介護が必要と申し出ない限り不明です。
ひきこもりの方が一人で生活されている
介護を要する方のご家族、親せきが遠方に居住され適当な回数のお世話が出来ていない家庭がある
昼間独居で障がいがある方
高齢者の多い地区である。
高齢者の人は病気等が発生しやすい
強迫性障害の息子さんに主に母親が携わっているケース。
息子さん重度障害、母が高齢、障害もあり（ヘルパー有り）高齢夫婦宅が多く、高齢者同士の介護（子供さんの支援者）見る人がいない場合、施設へ入れられる
介護者自身が障がいを持っている。
連絡先が余り解らない
各家庭の内部事情は、なかなかわからない。

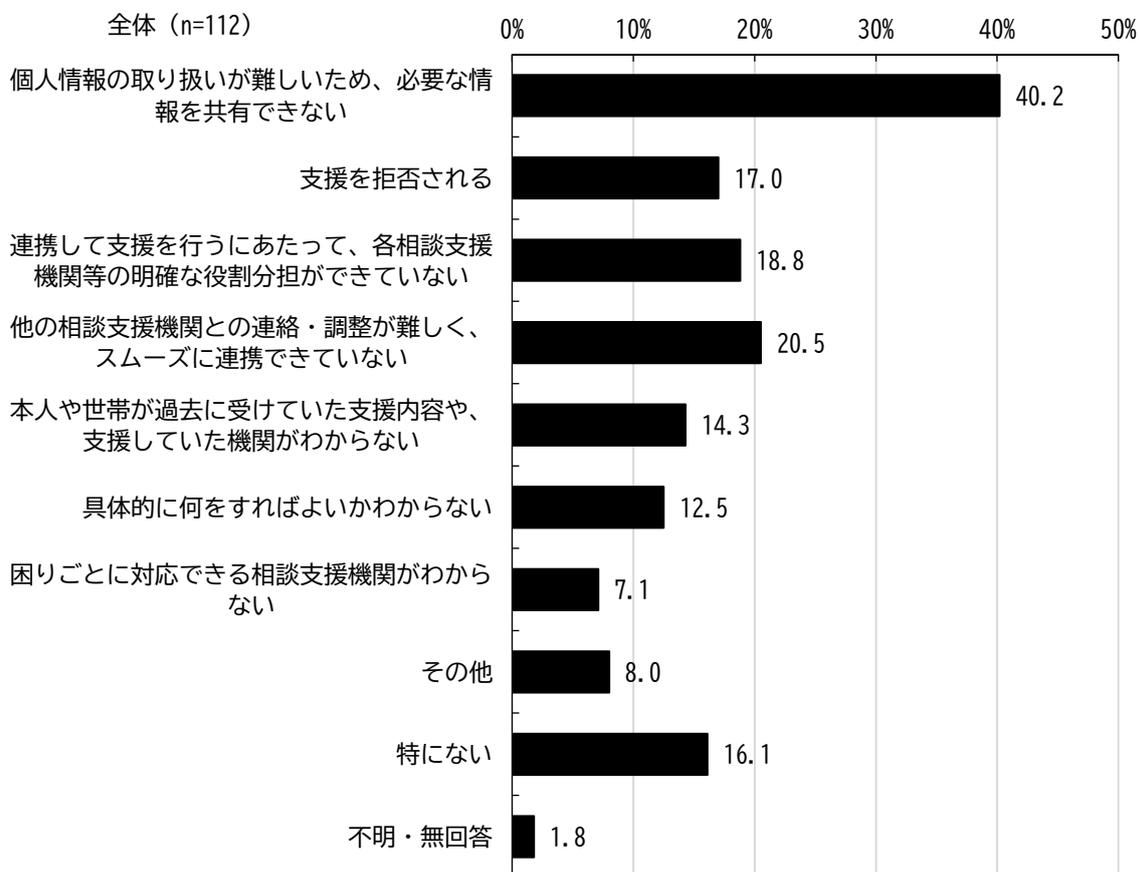
問6 問4の1～9の項目の世帯を支援したことがありますか。（1つに○）

問4の世帯を支援した経験の有無についてみると、「はい」が65.1%と最も高く、次いで「いいえ」が30.8%となっています。



問7 「はい」と回答された方はどのような困りごとがありましたか。(あてはまるものはすべて○)

支援における困りごとについてみると、「個人情報の取り扱いが難しいため、必要な情報を共有できない」が40.2%と最も高く、次いで「他の相談支援機関との連絡・調整が難しく、スムーズに連携できていない」が20.5%、「連携して支援を行うにあたって、各相談支援機関等の明確な役割分担ができていない」が18.8%となっています。

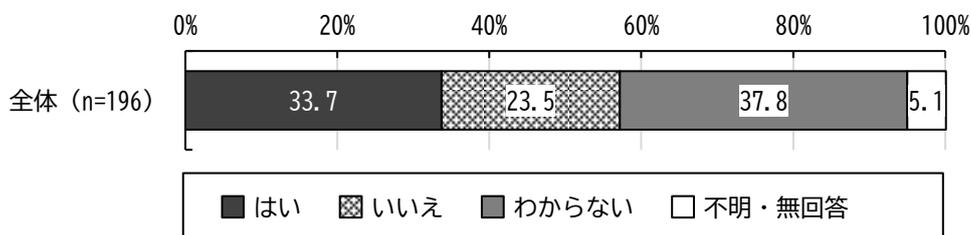


その他

外国人（中国人）が、居住証明のために印を押して欲しいという件が2件ありました。日本語が通じず、通訳の女性を介して。（同じ人、同じ家）しかし、その家に居住しているとは考えられない状況でした。
通院などの交通手段が、高額になる。
支援対象ではないが、日常の生活で問題を起こす人が居る。
多数の支援機関等（市・福祉課含む）の支援を受け入れない。
市も支援機関もすべからく個人情報の提供を拒み、連携するための情報共有ができない。
学校が対応されている。児童相談所、行政との連携されていて我々は近くで家のあかりや子どもが家のまわりで遊んでいるかなど時々気にしているが、邪魔にならないようしている。
機関に相談するまでもなく、家の電話は留守電にするように対処した（詐欺の電話の相談でしたので）。
市社会福祉協議会のリフトカー事業を支援、運転ボランティアを行なっている。
高齢の難聴者の行事参加には交通機関の利用もできない。複数障害をもつ方がいて送迎に苦勞している。

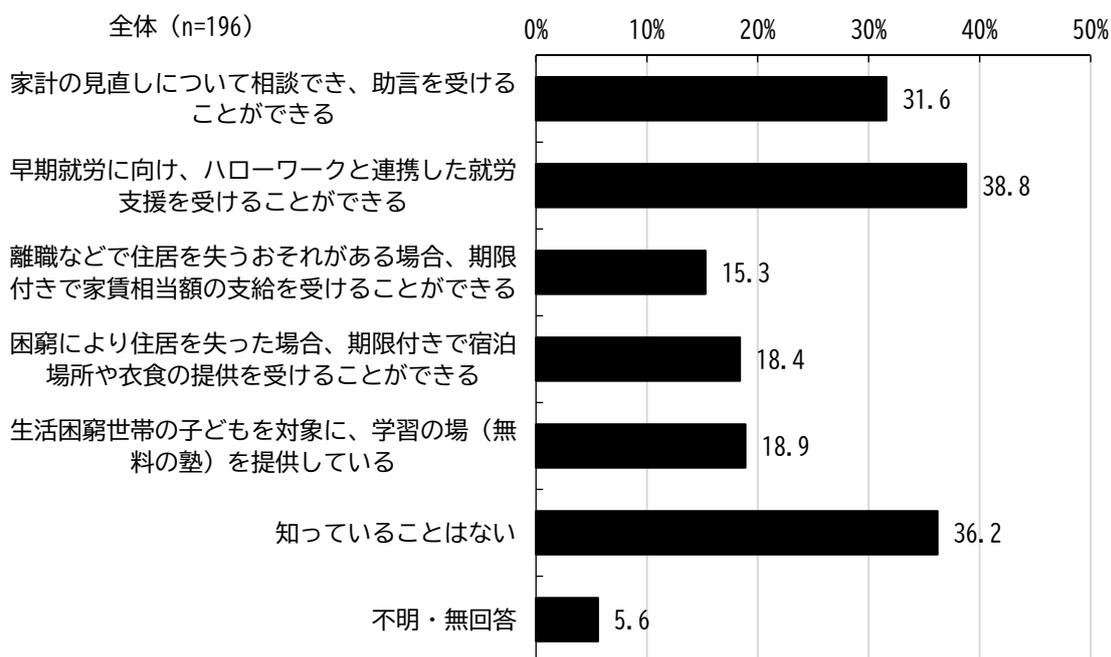
問8 活動を行うなかで、孤立していると感じるもしくは孤立する可能性のある家庭はありますか。
(1つに○)

孤立していると感じる家庭の有無についてみると、「わからない」が37.8%と最も高く、次いで「はい」が33.7%、「いいえ」が23.5%となっています。



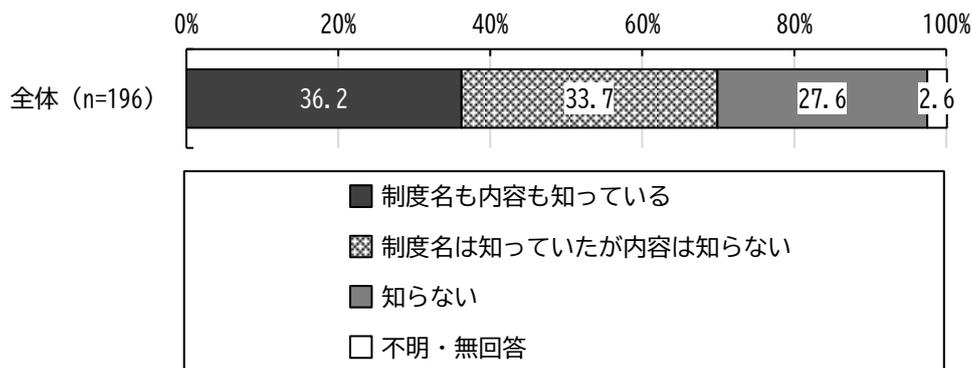
問9 生活に困窮している方、または困窮するおそれのある方を支援するための「生活困窮者自立支援制度」についておたずねします。市の生活困窮者自立支援事業について次のようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

生活困窮者自立支援制度の認知状況についてみると、「早期就労に向け、ハローワークと連携した就労支援を受けることができる」が38.8%と最も高く、次いで「知っていることはない」が36.2%、「家計の見直しについて相談でき、助言を受けることができる」が31.6%となっています。



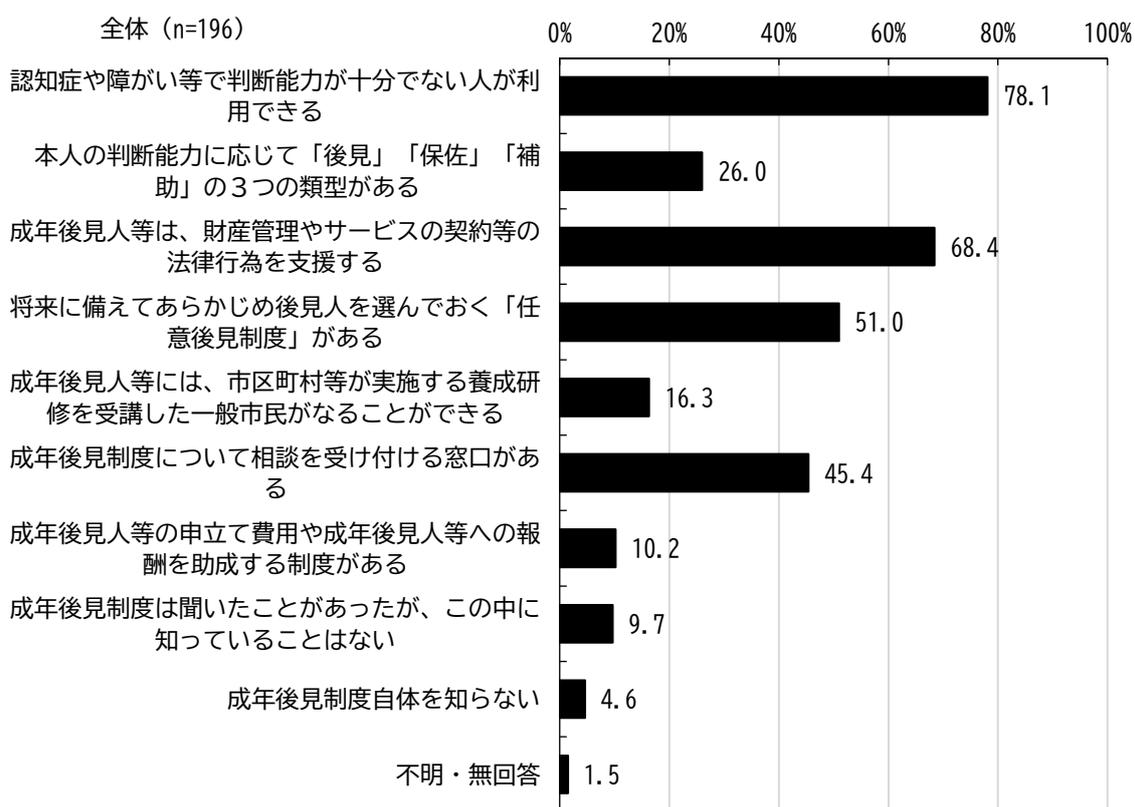
問 10 ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など、災害時の避難に支援が必要な方が登録することにより、大規模災害時には、地域の皆さんで避難を支援する取り組み「避難行動要支援者登録制度」についておたずねします。「避難行動要支援者登録制度」について知っていますか。
(1つに○)

避難行動要支援者登録制度の認知状況についてみると、「制度名も内容も知っている」が36.2%と最も高く、次いで「制度名は知っていたが内容は知らない」が33.7%、「知らない」が27.6%となっています。



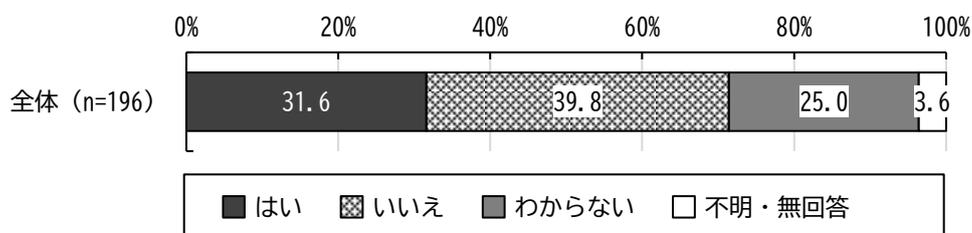
問 11 判断能力が不十分な高齢者や障がいのある人の権利を保護する「成年後見制度」についておたずねします。成年後見制度について次のようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

成年後見制度の認知状況についてみると、「認知症や障がい等で判断能力が十分でない人が利用できる」が78.1%と最も高く、次いで「成年後見人等は、財産管理やサービスの契約等の法律行為を支援する」が68.4%、「将来に備えてあらかじめ後見人を選んでおく「任意後見制度」がある」が51.0%となっています。



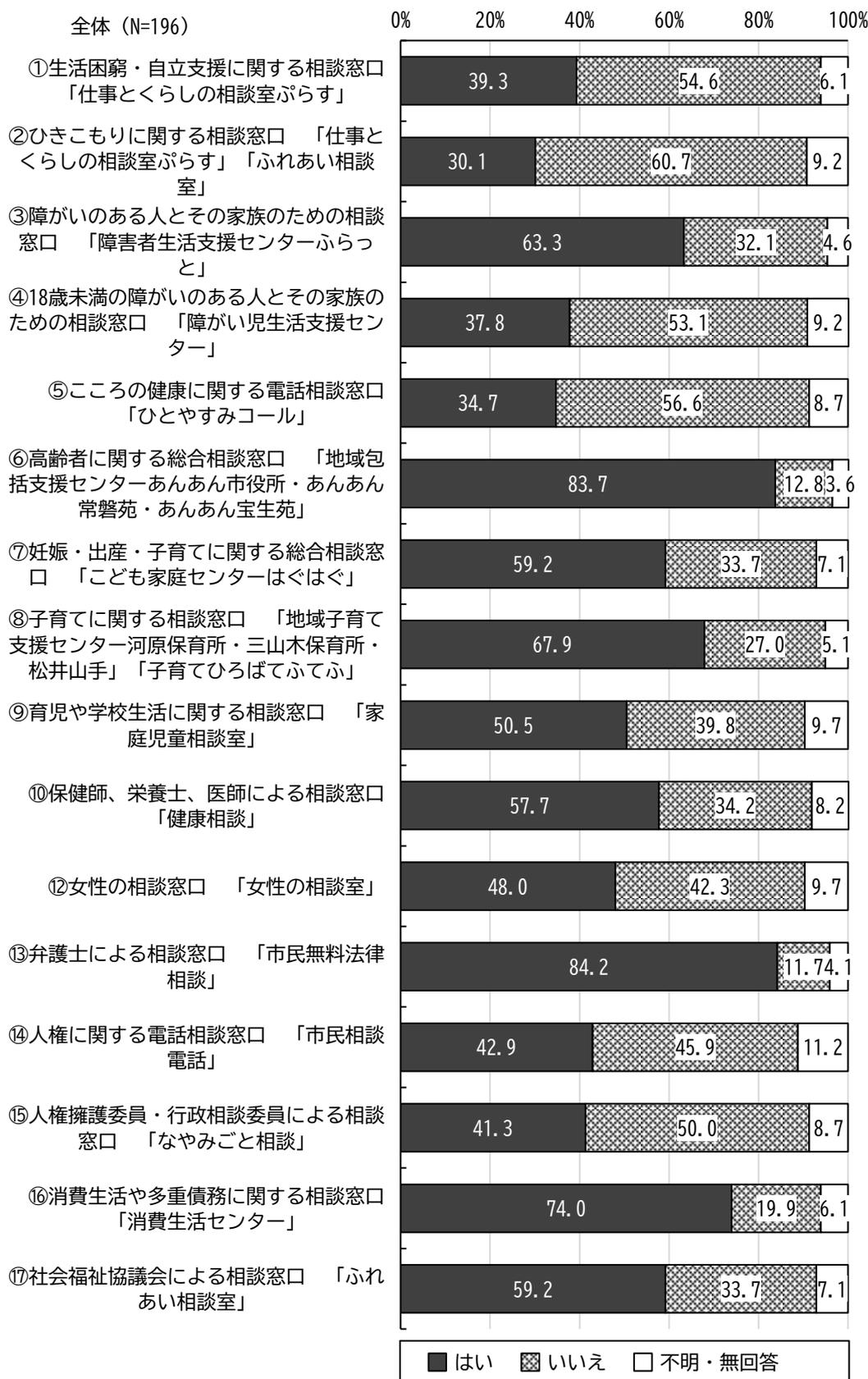
問 12 活動のなかで、成年後見制度の利用が必要もしくは将来的に必要なと感じた場面はありましたか。(1つに○)

成年後見制度の利用が必要と感じた場面の有無についてみると、「いいえ」が39.8%と最も高く、次いで「はい」が31.6%、「わからない」が25.0%となっています。



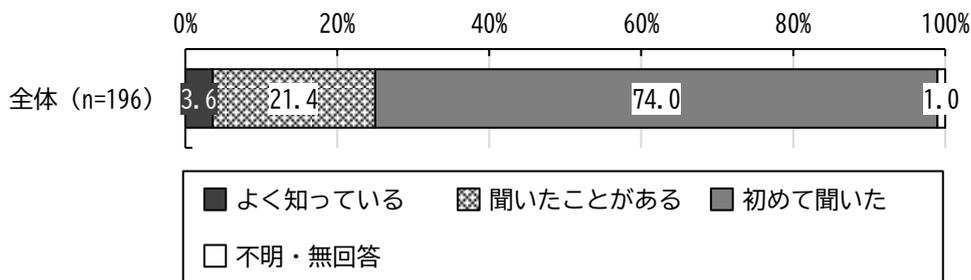
問 13 相談窓口について、知っていますか。(それぞれ1つに○)

[⑥高齢者に関する総合相談窓口 「地域包括支援センターあんあん市役所・あんあん常磐苑・あんあん宝生苑」][⑬弁護士による相談窓口 「市民無料法律相談」]では、「はい」が8割以上と認知度が高くなっています。



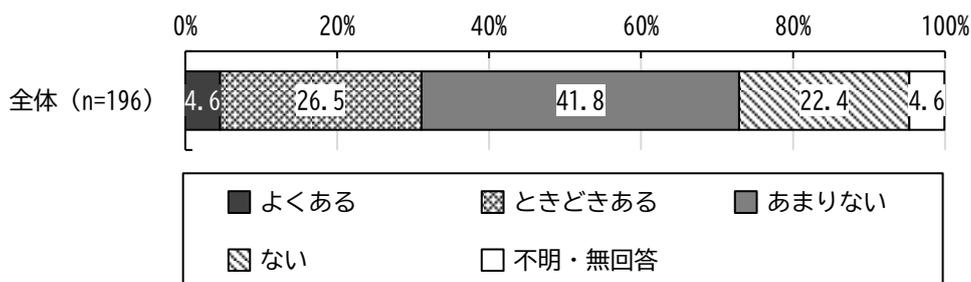
問 14 「重層的支援体制整備事業」という事業名をご存じですか。(1つに○)

重層的支援体制整備事業の認知状況についてみると、「初めて聞いた」が74.0%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が21.4%、「よく知っている」が3.6%となっています。



問 15 地域で困りごとの相談を受けた際に、適切な制度や支援につながらないと感じることがありますか？(1つに○)

適切な制度や支援につながらないと感じることの有無についてみると、「あまりない」が41.8%と最も高く、次いで「ときどきある」が26.5%、「ない」が22.4%となっています。



【自由記述】どのような理由でつながらないと感じますか。

①支援者側の知識・スキル不足

介護保険制度についての詳細な研修をしてほしい。民生委員として、知らないことが多すぎて、実際相談をうけても困ることばかり。いくら、民生委員は行政との「つなぎ」の役割だといっても、自分からかなり積極的に資料をみて、勉強しないと「つなぎ」にすらなれない。しっかりと民生委員の任務を遂行したいのに、いいかげんな働きをしている自分がいやになる。「介護保険制度」「認知症」「傾聴」についての研修を、しかも一回やったらおしまいではなく、継続性のあるとりくみで対応してほしい。
相談を受けたことがない。
支援課がわからない
制度や支援の内容を十分に把握できていない。
各種制度や支援内容についての詳細を把握していないため、次のステップに繋ぐことができない。

②制度の課題・制度間の谷間

本人は支援を受けたいと思っけていても、支援対象に達していないので何も行動を起せない。一人暮らしで元気があっても内面的にとても心配と不安があるが支援は受けられない。本人はうけたい。
介護保険利用者が障害者制度を利用したい時に、「介護保険優先とされている」と基本的な理由だけで断られ、複雑な状況であることを理解してもらえない。
交通手段不便になった。回数が少なすぎる。
交通手段のボランティアに申し込んだが募集してないと言われた。まだ介護認定されてないので、ケアマネがないから、民生委員がやっているがむりである。
母子家庭支援は多くみられるが、家庭の事情（母親の入院）で父子家庭という状態になっているのに近隣の方々の援助にたよる形をとっている例がある。急な状況変化に対応してほしい。
福祉サービスや各種制度、事業ではすくいきれないはさまの困り事があり、場合によっては当センターの一般相談の枠で相談員が生活支援を行っている状況がある。
聴覚障害のあるひとり暮らしの高齢者などの補聴器の故障などはどこですみやかに対応してもらえるのか。
野良猫に関してはまだ何もなし。

③本人の意思・受援力の課題

家庭内の事は本人が拒絶すれば、誰も家庭に入るこむことはできないので力のなさを感じる。
困りごとでつないでいこうとしても、御本人が望まれなければ、こちらの一方的にはつなげていけない。
ご本人が少しでも心を閉じているように思う。
将来の不安を相談される。
制度としてはあっても利用したいという気持ちが定まらない。
アドバイスはできても、窓口に行くのは本人・家族である。

④行政・窓口の対応課題

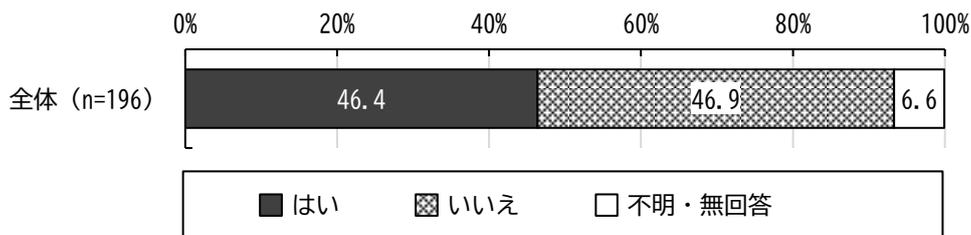
適切な窓口がわかりづらい
介護保険について理解してもらえない市職員に「介護度を上げたらどうですか」と言われた。
相談しても一歩つっこんだ詳しいことを教えてもらえない
市の事務的処理
窓口からどこかにつながるまでは良いかもしれないが、その後はフォローしていくことはなく、ケースが押しつけられると感ずることがある。
市が個人情報を教えてくれないので（個人情報が必要な時）何もできない
適切な窓口と分らない。

⑤地域・連携体制の課題

日常的に接触の機会が少なく人間関係ができていないとむづかしい。
防犯灯の維持管理を自治会負担としているが、他都市では自治会負担所有の所も多くあり、京田辺市では、できることも拒否している。あきす事犯が、増えてきているので、防犯カメラの設置を要望しても、自治会で設置すれば一部補助するとの回答で、毎年人が代わる自治会では、管理、運営は難しい。その他、公園の管理、公民館の管理他、自治会への負担が多い。
聴力が不自由な（耳がほとんど聴こえない）人がいます。その方に何かあった時、市、消防署、警察、病院などに連絡や連携がうまくいけるかが心配
民生委員の時はしばしばありましたが、区・社協の協力等によって解決している。 現在は通学路の見守隊として、区→市へ支援を依頼している。
地域の方から自治会に連絡してもその先の担当者まで連ならず、そのままになってしまうか担当者が動いてくれない

問 16 他の団体（所属以外の機関）と連携・協働で行っていることはありますか？（1つに○）

他の団体との連携・協働の有無についてみると、「いいえ」が46.9%と最も高く、次いで「はい」が46.4%となっています。



【自由記述】具体的な連携事例や協働の内容をお答えください。

①高齢者支援活動

地域の見守りやパトロール
常磐苑のケアマネジャー、レンタルの介護用品について
自治会の福祉部と連携している
地域の老人会のスタッフと一緒に健康体操等を毎週行っている
高齢者支援課の居場所づくりを公民館で毎週実施しています
社協のおべんとう配り
「あんあん」高齢者の見守り、おねがいしています。
地域の方と JB サロンを
市の「高齢者の居場所づくり」の一環として、毎週土曜日約 30 分民生委員と老人会で京田辺市のいきいき体操を 9 年以上行っている
配食活動
三山木地域まちづくり協議会（健康サロン）
自治会との協同運営（ふれあいサロン）
毎週月曜日午後からふれあい広場を開催して交流をはかっている。
老人会との活動参加で情報収集
社協との連携、おしゃべり会、バザー等
地区のサロン活動の運営、見守りが必要な方についての情報交換
市、地域包括支援センター（認知症コミュニケーションカフェ）
市、高齢者支援課（オレンジルームでの活動）
社会福祉協議会（市内地域の高齢者の居場所（サロン）での活動
自治会との「避難行動要支援者」への連携や、フリースペースの共催事業（年間 9 回開催）
地域包括支援センターあんあんに相談、情報を交換、共有して見守り訪問活動することは心強かった。
京都府老人クラブ連合会などとの連携など
地域の協議会と共催しての高齢者の集での健康やお楽しみ会等の活動

②子育て・子ども支援活動

こども放課後スポーツ教室（社会教育課と）
教育委員会の放課後子ども教室のお手伝い。
地域子育て支援センター　：当団体の活動支援
児童相談所や子育て支援と虐待案件で対応確認
京田辺市子育て支援課→年に一度の支援を受ける会員募集のお知らせ配布
ボランティア連合会でいっしょの団体に、活動の際おもちゃを借りる
研修、サロン活動への職員や講師の派遣（保健師、保育士）

③地域交流・イベント活動

自治会・防災防犯会・子ども会
夏祭り、ボーリング大会、防災訓練
同志社大学学生団体との連携
自治体、夏祭りボランティア
障害者団体、全体でのスポーツフェスタ等
夏まつり
らくらく子育てネットワークや京田辺市起業女子の会と一緒にイベント。
社協との連携、おしゃべり会、バザー等
ボランティア連絡協議会との協働
区と民生委員との連携協働による地域のイベント活動
自治会との「避難行動要支援者」への連携や、フリースペースの共催事業（年間9回開催）
他のボランティア団体と協働することは、あまりないのですが、社会福祉協議会を通して、ボランティアの依頼を受けたら、地域の催しや自治会のサロン、特養ホームやデイサービスの施設等で演奏する事が多いです。

④研修・学習活動

研修として活動する
研修を通して
小学校での社協の体験型授業のお手伝い。
2ヶ月に一度、団地内の集会所で主に高齢者の方（誰でも参加できる年齢に関係無く）が集って互楽会を催し、社会福祉協議会の職員の方にご協力頂いてゲームや講演、勉強会、講習会等を行っている。

⑤相談・ケース対応・情報共有

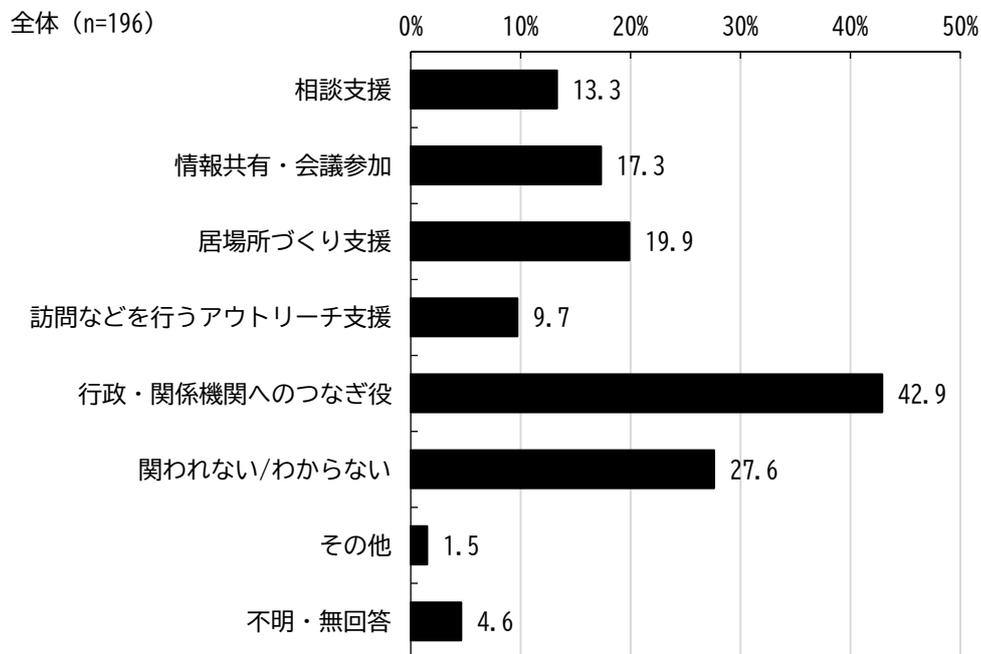
社協、市役所内の関係の課
社協さん
年1回山手地区民生児童委員の方々に自治会班長会に出席いただき、活動報告をお聞かせいただいている。
個人情報のとりあつかいについて、包括支援センターさんの対応でがっかりしたことがある。こちらが困ったケースで相談している時は、よりそう姿勢で対応してほしい。・高齢者支援課さんには、きっちりとよりそって対応していただき、感謝しています。
ひきこもりや精神疾患のある家族の対応時に包括の関わってもらった。
五地区連絡会、田辺、興戸、薪、一休ヶ丘、河原地区でそれぞれの問題点など話し合う。
農家組合など
社会福祉センター（協議会）
高齢者の支援に関して、地域包括支援センターあんあんさんに相談している
あんあん、社協、高齢者支援課
社協とよく相談やヒントを教えてもらう
1人の支援者に複数の団体が係る時
民生児童委員との連絡
京田辺市地域自立支援協議会による地域生活支援部会や子ども部会の話し合いに参加している
社会福祉協議会といろいろ相談しながらしています。
大住地区、区長・自治会長会で他地域の連携を行っている。
包括支援センターと困難事例の共有
市主催のケア会議に参加し、民生委員や介護事業所（ケアマネ）との情報共有等を行っている。
あんあんにつないだことがある。
相談を受けたことに対して、関係のある部署に連絡をとったりする。
社会福祉課、障がい福祉課、高齢者支援課、介護保険課、健康推進課との連絡、相談。
ケースを通じて関係する機関との連絡調整を行っている（チーム支援役割分担など）。
地域（区）との連携。
包括支援センターと困難ケースへの対応。
民生児童委員協議会への情報提供
区への働きかけ
社協の給食サービス、福祉教育への協力、又サロン活動する上でも相談したり協力してもらっている。
自治会と協力

⑥障がい者支援・その他専門的支援

食料支援「ぬくもりの絆」
障害者団体、全体でのスポーツフェスタ等
京田辺市難聴者の活動のサポート、他市の要約筆記サークルとの交流
フードバンク京田辺→食品支援を受けています。さくら会とはつながっています。
聴障協の方々とは、同じ聴覚に障害を持つ者として、市への要望を共に考え、提案していく活動を山城ネット地域で行っている。

問 17 重層的支援事業が進められた場合、団体または所属の組織として関われそうなことはありますか。(1つに○)

重層的支援事業への関わりの可能性についてみると、「行政・関係機関へのつなぎ役」が42.9%と最も高く、次いで「関われない/わからない」が27.6%、「居場所づくり支援」が19.9%となっています。

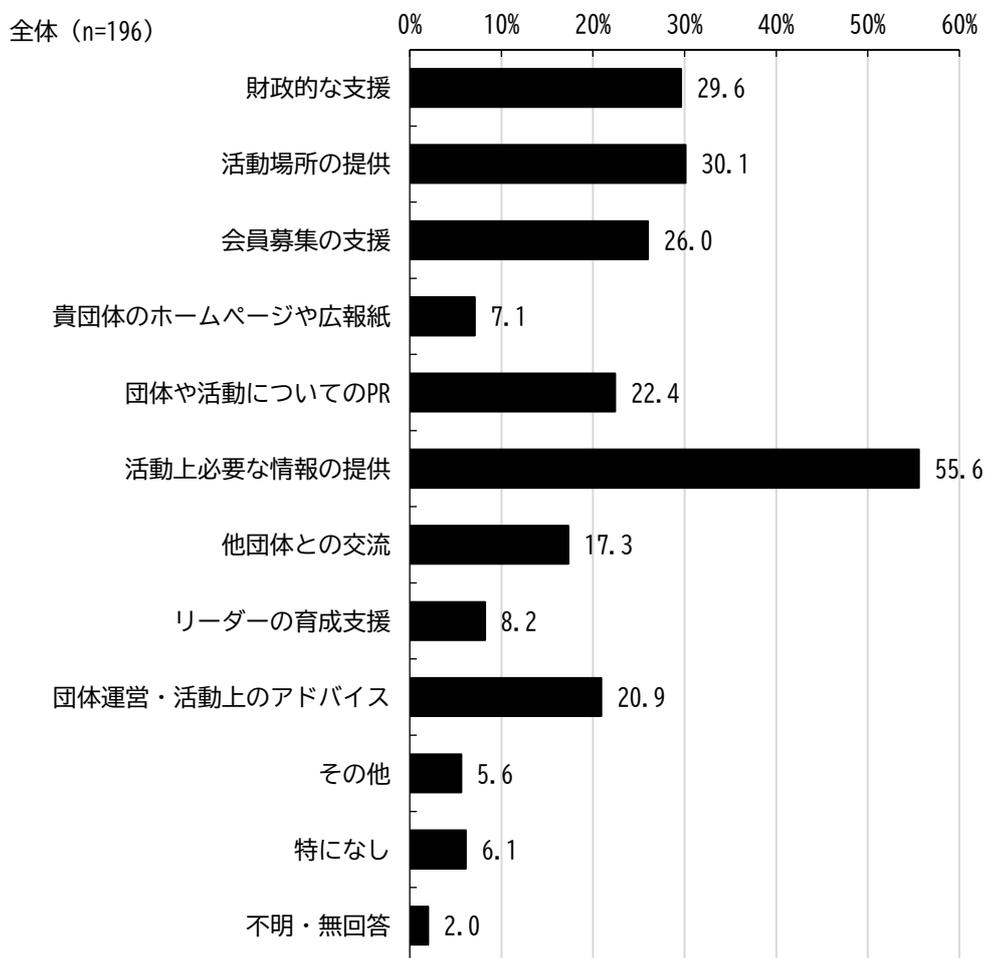


その他

サークル活動で支援
要約筆記での障がい者や高齢者への支援
日常生活の悩み事、相談のうえ仕事として実施

問 18 活動をしていく上で、貴団体は、市や社会福祉協議会にどのような支援を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

市や社会福祉協議会への支援の希望についてみると、「活動上必要な情報の提供」が55.6%と最も高く、次いで「活動場所の提供」が30.1%、「財政的な支援」が29.6%となっています。

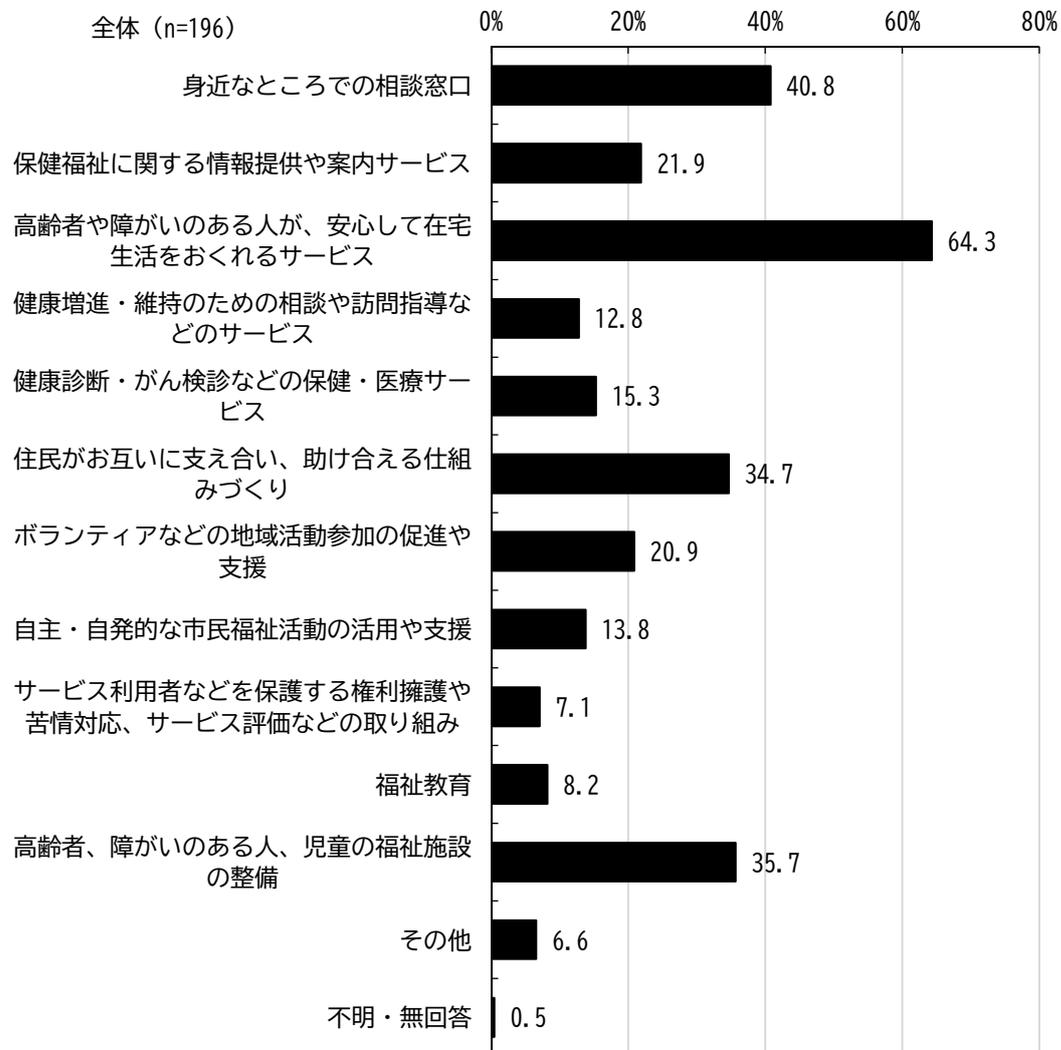


その他

社会福祉協議は、福祉に対する責任回避となるだけで、全く活動が見えない
委員募集の支援
区民の人数が少ないため。どれだけできるのか心配。
分会活動活性化支援
社協との連携強化
早めの事業活動の案内
3.5：社会福祉協議会の支援を得て実施中であるが、新規会員の加入が現状、ほとんどない

問 19 今後、京田辺市が健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策として、優先して充実すべきだと思うものは何ですか。（3つまでに○）

優先して充実すべき施策についてみると、「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活をおくれるサービス」が64.3%と最も高く、次いで「身近なところでの相談窓口」が40.8%、「高齢者、障がいのある人、児童の福祉施設の整備」が35.7%となっています。



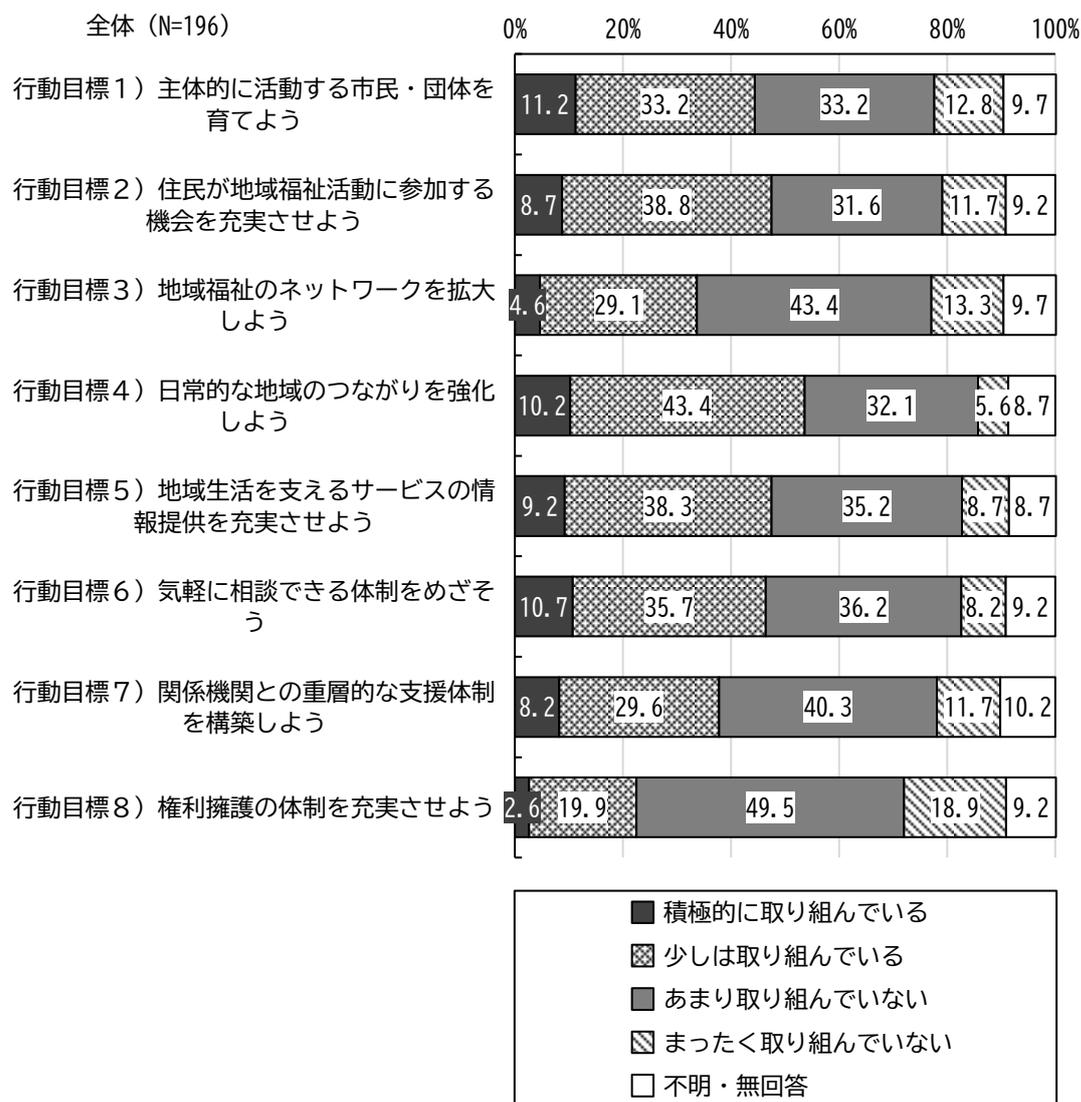
その他

以前、国が各地に保養所を建設し、大失敗をした轍をふまないよう、市の体勢作りを望む
高齢者や乳幼児をかかえる親の手軽な移動手段。公共交通の充実
ワンストップ的な窓口、場所の設置
市からのさらなる情報発信を希望します
福祉行政が多岐に分かれ、専門化している昨今、ボランティアに応援を求めるのは無理。「何でも相談室」の様なものを設け、専門分野に割り振る部署が必要である。
地域における自主活動（サークル etc）の推進、支援
移動の手段の確保、巡回バス等、車でなくても行ける様に考慮してほしい。サービスする機会を持っても社協や市役所へ行くのが困難で参加できない
区での取りまとめを依頼するのではなく、本当に困っている人をきちんと支援できる体制をつくってほしい。わが区では必要な人ほどくに入っていない。
個人の相談窓口の一本化、集約化
個人の相談窓口の一本化、集約化
ネットでの相談窓口から顔を合わせた支援につなぐ…ひきこもり、子育てなど、若い人向けに
障がいのある人→それでも働きたい人に働ける場所を、もっと賃金を上げて/児童の福祉施設の整備→ネグレクトや虐待から逃れられる子どもの居場所づくり
災害時に種々の障害を持つ者に対する、個々の対応を当事者の意見を聞き取って災害時のマップを作ってもらいたい。

問 20 行動目標の取組状況

行動目標の取組状況について、[行動目標4) 日常的な地域のつながりを強化しよう]では「取り組んでいる」（「積極的に取り組んでいる」「少しは取り組んでいる」の合計）が5割以上となっています。

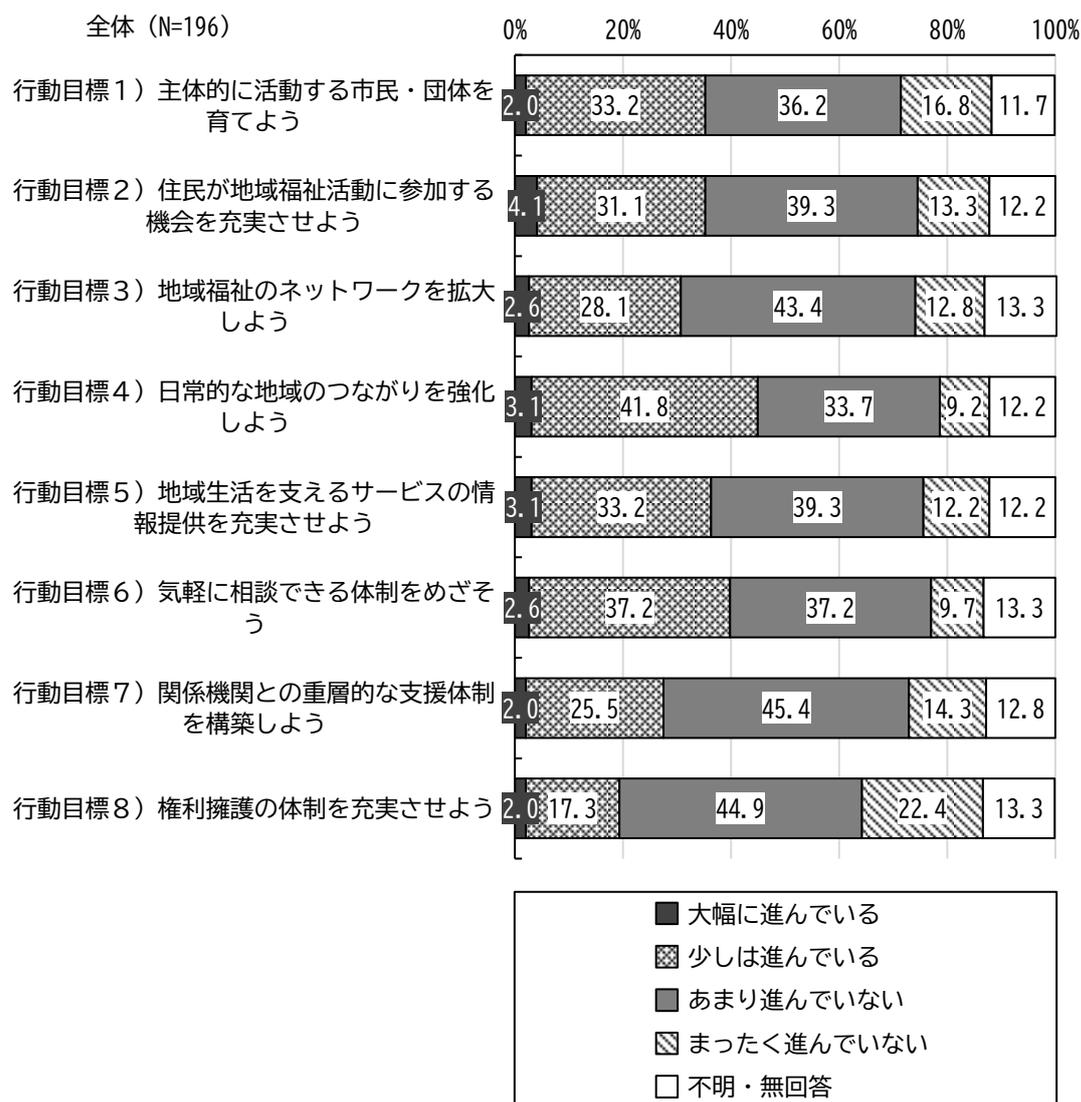
一方、[行動目標3) 地域福祉のネットワークを拡大しよう][行動目標7) 関係機関との重層的な支援体制を構築しよう][行動目標8) 権利擁護の体制を充実させよう]では、「取り組んでいない」（「あまり取り組んでいない」「まったく取り組んでいない」の合計）が5割以上となっています。



問 20 行動目標の進捗状況

行動目標の進捗目標について、[行動目標4) 日常的な地域のつながりを強化しよう]では、「進んでいる」（「大幅に進んでいる」「少しは進んでいる」の合計）が4割となっています。

一方、[行動目標1) 主体的に活動する市民・団体を育てよう][行動目標2) 住民が地域福祉活動に参加する機会を充実させよう][行動目標3) 地域福祉のネットワークを拡大しよう][行動目標5) 地域生活を支えるサービスの情報提供を充実させよう][行動目標7) 関係機関との重層的な支援体制を構築しよう][行動目標8) 権利擁護の体制を充実させよう]では、「進んでいない」（「あまり進んでいない」「まったく進んでいない」の合計）が5割以上となっています。



問 21 地域福祉の推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。

高齢者支援・孤立対策

市北部（特に松井、大住、苑住坂地区 etc）は高齢化が進み、独居老人が増え、引きこもりが多い状況である。亡くなっても分からないような状況もある。
山手東地区も高齢者が多くなり、なかなか出歩けない方が多くなっている。
独居老人対策として、時々様子を見に行けば良いと思うが、呼びリンを押しても出るのに時間がかかり、留守と思われたり、呼びリンを止めたり、押さないで下さいと張紙を貼ったりする人もいる。
区の住人に高齢者が多く、生活するために苦勞している。
高齢世帯が増え独居老人宅も近年増加している。社会福祉協議会が実施している給食弁当の制度は独居老人にとって月2回ではあるが、大変喜ばれて活用されている。
アカデミア一号館マンションは築34年で非常に高齢世帯や一人暮らし世帯が増えている。
高齢で独居（親族がいない）判断能力が不十分の方の見守りに不安を感じている。
私の住んでいる地域は小さな旧村で、農作業の関わる家同士は日常的につながっているが、高齢化が進んでいる。今70代の世帯が10年後、どのようになっているのか不安である。
高齢者施設の入所が全くできない。また、施設への入所は高額すぎる。
地域福祉活動等は足の悪い方も多く、参加したくてもできないと言う声を聞く。高齢になってくるほど参加できなくなる。
地域に90歳以上のひとり暮らしの方がおられるが、耳が悪く電話が使用できない。要支援1と聞いている。支援、介護認定等に少し疑問を感じる場所がある。日頃の生活をみても介護認定なのかと不思議に思う方もいる。
地域での私達の生活は安全に安心して過ごせることが第1である。民生児童委員としての活動を通じて、特に高齢者（独居）や障害、病気を抱えた方の支援が必要だと感じる。
一人暮らしの高齢者が当分の間は、増加傾向にあるので、支援体制を市、民生委員や関係団体で強化してほしい。

移動・生活インフラ

公共交通、特にバスの運行はこれ以上縮小させてはならない。公共交通バスの運行を守っていただきたい。運転免許返上の方に行政として支援すべきで、バス代の割引などが必要である。
公共交通の充実が必要である。移動の権利保障ととらえ、身近にバス停があり、公的施設、商業施設に手軽に行くことができるよう願う。
交通の便が悪く、公共施設に行けない。
移動の足がなく用事が済ませられない。危ないとわかりつつ車の運転をしている。
買物難民や、交通手段の（バスなど）不備など日常的に困っている人が多くいる。特にバスに関しては、便が少なく（田辺団地）ほとんど機能していない。常盤苑にも行けない方が多くいる。
駅から少し離れている為、車の利用は必要である。
住民が高齢化しているので移動できる交通を整備して欲しい。
高齢者の日々の通院や買物、自分で車の運転ができなければとても不便になる。ある程度以上の高齢者には、タクシーを使えるようにチケットなど配布して欲しい。
近くに商店がない（電車や歩いて行けない人が多くいる）。
近くに駅が無い。買物に出かけるのにも交通手段が余り無い。バスの有効利用をもう少し考えた方が良いと思う（本数とか台数等の見直しが必要かと思う）。
私が住んでいる新田辺東側の住宅街、団地やマンションも多い中、スーパーが失くなった事は本当にお年寄りや障害がなくてもあっても、皆が困っている。アルプラザや山田屋へ歩いて行くのが困難な方を沢山見ている。軽トラでとくし丸が来たり、コープの宅配も利用できるが、外に出られない不自由な高齢者は多い地域である。何とかありませんかという声をよく聴く。市役所へ行くにもひと苦勞というお年寄りも多い。

地域コミュニティ・つながりの希薄化

<p>市北部では近所づきあいもなく、亡くなっても分からない様な状況がある。</p>
<p>地域住民が基礎単位である町内会・自治会機能を活性化させる必要がある。少子高齢化が進む中、自治会役員に成り手がなく、活動が年々縮小されている。</p>
<p>避難行動要支援者登録制度については、制度発足の時とくらべ自治会加入率がどんどん低下している現状がある。</p>
<p>自治会員の減少が進んでいる。</p>
<p>自治会からの脱退、若い人たちの自治会未加入により、自治会との連携が非常に難しくなっていることが問題である。</p>
<p>誰もが安心して生活できるように互いに支え合える仕組みを広げて行く事が大事だが、かかわりを持ちたくない人も増えていて、助け合うよりも自分の事しか考えていない人が増えている様に感じる。</p>
<p>ご近所の方々につながるの大切さを痛感している。</p>
<p>コロナ以降、区の行事が復活せず高齢者が集う機会がない。身近な地域活動が止まっている。</p>
<p>若い世帯は別の地域に住み、農作業の忙しい時だけ帰ってきている。どんどん米作りをしない家庭が増えている。数人の集まりはできるが、全世帯が集まるのは難しくなっている。今はどのように活動すれば良いのかわからない。</p>
<p>地域福祉の大事さ必要性は誰もが感じていると思われるが、地域に若者、子供が少ない。地域の伝統や文化も継承されなくなり、段々つぶれている（例：神社のまつり、地蔵盆、子供会等）。何事も便利になり、隣近所や地域の人々の助けがなくても、お金で解決できることが多くその事が地域福祉推進のさまたげになっている事も多くある。介護保険の導入も家族にとっては便利でいい事であるが、それが地域社会の絆、ボランティア育成、活動の妨げになっている事もあるように思う。</p>
<p>最近の風潮は、自分さえ良ければ他人の事はどうでも良いと言った傾向にあり、福祉活動をはじめ、自治会活動のお世話をする人がほんとうに少なくなっている。</p>
<p>様々な活動をするにあたって、一番は住民への周知だと感じる。行政、社協、ボランティアなどががんばっても、関心のない住民が多いのは驚く。災害等、住民同士のつながりが大切なのに。</p>
<p>私の区では全世帯の1/4くらいしか区に入っていないのに、区に入っているのは半分以上が高齢者で、ひとり暮らしの人も多く数少ない若い世帯は夫婦ともに働いている人がほとんどで、なかなか連絡も取れず区長や役に当たった者だけががんばり、なんとか現状を維持できているような状態である。本当に支援が必要であろう人は区で仕事をする事が大変だと区から抜けていかれる。今のままで地域福祉と言われても何もできない。大きくやり方を考えてほしい。</p>
<p>民生委員・児童委員の一期目がもうすぐ終わるが、この三年で家族に優しくない人が多いという事を感じた。私は個人主義ですからと言う人に何て返せばよいかと思った。人は誰も一人では生きて行けなくて、助け助けられして社会が成り立っているのに。利己主義ではなく利他主義の心を持つ人を育てる教育をしなければ、世の中悪い方へ悪い方へ傾く一方である。現代は人を甘やかすすぎていないか。自分の事で精一杯で他人に無関心な人が多い。</p>
<p>様々な生き方があり、多様性がもっと理解され認めてもらえる様な地域になればと思う。特に年配者の方に知識を持っていただきたいと感じている。</p>
<p>地域のつながりや行事が少なくなり、活気が失われつつある（以前にはあった、花火大会やイス1レース、盆踊り等々）。誰もが楽しめる行事だった。</p>
<p>コロナから、近所付き合いもうすれて来た。高齢者も、これから増えて来る。子どもと高齢者のふれ合いも、大切だと思う。時代が変わり、IT化して来ている中で、民生委員は、どの様に活動していくのが、課題になってくるのではと思っている。昔のよい所を残しつつ、今の時代に合わせるのは難しい事だなあと感じている。今後、京田辺で住んで行くのに、色々大変な事が多いと思うが、住みよい京田辺市になる様によりしくお願い致します。</p>

担い手不足・活動継承

自治会役員に成り手がなく、活動が年々縮小されている。
高齢化が進む状況の中で、福祉活動は更に重要な案件となってきているが、ボランティアでの活動を期待するのは困難な時代になってきている。
民生委員になる人が、全くないので困っている。
計画の内容もよく素晴らしいのですが、役割分担しながら協働して進めていくにも、人材が少なく、取組みにさく時間があまりない。
私も 71 才で高齢者で、もう支援される方になる。家族も息子と二人暮らしで主人は施設に入所している。それでも民生児童委員の仕事をさせて頂いていることに幸せを感じている。微力ながら頑張る。
駅から少し離れている為、車の利用は必要である。
当団体もそうだが、各団体とも新しい会員が少なく高齢化でマンネリ化の問題を持っているように思う。地域デビュー（ボランティアデビュー）しやすい取り組みを進めて欲しい。
担う人の高齢化が思っているより早く進んでいる。特に子供が少ない。若い人に継承すべき事を教える機会もない。
民生委員の選出に苦労した。
民生委員など的高齢化で民生の方々の負担が大きい。書留も多く、やりづらい。
住民が福祉に関心を持っていない。高齢化が進んでいるので若い方の積極的参加が望まれる。
今年の 12 月（11 月末）で民生・児童委員の改選がされるが、街開きの時期で住民の年齢層に偏りもみられ、人選が難しくなっている（70 才まで就労機会もあり難しい）。準公務員である割りに副業とみなされていて、仕事をしながらでも担ってもらえるのが理想なのだが、高齢者等への情報提供や配布物等を適切な時間帯に提供できていない（迷惑な訪問等となっている）現実がある。
福祉活動が参加してくれる人が少なく、また、リーダーや指導者がいない。民生児童委員は、年金制限のある中、新しく引き受けてくれる人が居らず、人さがしに苦労している。
今まで中心となって活動していた方々が高齢化して、次に引き継ぐ担い手が不足している。若い力を増やす取り組みに期待している。
区に入っているのは半分以上が高齢者で、ひとり暮らしの人も多く数少ない若い世帯は夫婦ともに働いている人がほとんどで、なかなか連絡も取れず区長や役に当たった者だけががんばり、なんとか現状を維持できているような状態である。
福祉とひと言でいっても、高齢者、子ども、障がい者など、その範囲は広いにも関わらず、民生委員は福祉に関する知識、経験のある方ばかりではない。地域住民で構成されていて、一人ひとりの負担が大きい様に感じる。しかも、その仕事の内容、役割が一期 3 年ではわかりにくく、何期も継続することが前提とされるのでは、担い手不足は益々深刻になるのでは。
主任児童民生委員をさせてもらった。コロナ後、働かれる方が多くなり、早い時期から保育所に入れられる方が多く、未就園児さんが少なくなって来た。でもその中で、育児にこまられたりされている方もいると思う。お母さんが、子どもの成長をしっかりと見られて 3 才児になり、保育園、幼稚園に入るといいう、昔の様な事がなくなり、ほとんどのお母さんが仕事復帰している。田辺でも、3 才児以下の保育園も増えた。お母さんの愛情の中で、育てて行ってほしいと感じている。物価が高くなり、働かなければ生きて行けない社会になって来ている気がする。働くことで子どもの数も少なくなって、多く産まない様になって来ている。

民生委員活動の課題

<p>福祉とは範囲が広すぎてわからない。民生委員の仕事と自治会の関わりも良くわかりません。</p>
<p>民生委員として個々に立場、意見が皆違うので一人一人、訪問等で聞いてあげてほしい。</p>
<p>地域福祉の推進についての重要性は十分認識しているが、いざ具体的な事象にぶつかった時どう対応し かれるか自信が無い。まだまだ突っ込んでいく面が多々あると思われるのでこれからも努力していきたい。</p>
<p>民生児童委員の立場として見守り世帯のデータについて、引き継ぎが出来ない。福祉票はあくまでご本人 や家族の承諾が必要で承諾された件数のごく限られたものとなる。任期が3年で次の方へというパターン も多く、その期間での福祉票作成は難しい。福祉票以外の情報は引き継げない為、新任の方はまた一か らのスタートとなり大変で、また3年任期で終わられたり新任の方を募る場合も民生委員は大変だから引 き受けないという悪循環。福祉票の集計を求められる意味がわからない。見守り世帯は福祉票で分かるも のでは無い。</p>
<p>準公務員である割りに副業とみなされていて、仕事をしながらでも担ってもらえるのが理想なのだが、 高齢者等への情報提供や配布物等を適切な時間帯に提供できていない現実がある。人選には充分な配慮を お願いしたい。</p>
<p>個人情報を取得することができないため、ふみこんだ支援を行うことがむずかしく、なかなかうまくい かない。できるかぎりの情報がほしい。</p>
<p>民生委員が公務員であるにもかかわらず、その活動のニーズに対するカバレッジも計測せず、単に任命 することで満足している市の姿勢は見るに堪えない。</p>
<p>任期途中で民生委員になったので、まだよくわかっていないことが多い。</p>
<p>市との情報共有のもとで活動ができることなので、市に個人情報を教えてほしいと思う。</p>
<p>民生委員の仕事の内容、役割が一期3年ではわかりにくく、何期も継続することが前提とされるのでは、 担い手不足は益々深刻になるのではないか。もっと仕事内容をスリム化したり、専門性を持った方が、地 域毎に居てスーパーバイザーとしてアドバイスを下さるなど3年の任期だけでも充分な役目を果たせる様 な仕組みがあれば良いと思う。</p>
<p>遅くなってすみません。大事なアンケート。私は高齢になり、眼は見えずらく、体調も以前より弱くな り、体調も日替わり状態です。3年前に民生・児童委になり、色々勉強しました。やっと皆さんに付い ていけそうかなと…。12月に退委です。この9～10月いろいろあってアンケート遅れてしまいました。す みません！</p>

情報共有・連携体制

<p>生活協同組合が食事とか生活用品の配達サービスを行なっているが、採算が合わないと思うが、市は補助しているのでしょうか？</p>
<p>個人情報だからと教えてもらえない事が多すぎて、こちらも情報を届けるにあたり一方通行であれば、ボランティア活動なのでやっていけない。地域の民生委員と情報を共有してほしい。</p>
<p>友愛訪問で一人暮らしの老人にお弁当持参してのつながりがとても強く、会話もあり楽しまれて待っていただいている。社協さんの取り組みは本当に有難い。</p>
<p>見える地域福祉サービスの拠点が不足している。老朽化した施設に変わるワンストップな窓口、施設を急ぎ設置して頂きたい。</p>
<p>行政がプラットフォームを作り、そのプラットフォームに色々なプラットフォームがつながっている。色々なプラットフォームの情報から市民が楽しい町づくりをする。</p>
<p>見守りを任せられた後、転居であったり、見守りからはずれた時など連絡がなかったりする。見守りの方の連絡先を教えてもらえず、連絡とれないまま、面会もできない場合がある。</p>
<p>地域での活動内容をあまり知ってもらっていない。区の役員との交流は個別。関係福祉機関からの情報については、聞けば教えてもらえるが、介護保険の利用状況などは情報を入れて欲しい。</p>
<p>体制的には少しは向上したと思う。福祉、手助けを要する人への把握度がまだまだ低い。</p>
<p>福祉サービスを利用することばかりではなく、同じ境遇や経験をした者が共有でき、支え合える場がある事を知ってもらいたい。その上で行政が行う公的支援などにつなげていく役割を担うのが父母会の役割だと思っている。</p>
<p>心配な高齢者を包括支援センターにつないだ後の結果の報告があまりない。介護施設に入れられても連絡がないため、毎日のように訪問し在宅の確認をしなくてはならない。もう少し、密にして欲しい。</p>
<p>見守り世帯のデータについて引き継ぎができない問題がある。福祉票の集計を求められる意味がわからない。たとえば、生活保護世帯の方がデータを残して良いと承諾してくださるわけが無いのにその項目もあるし、なぜ提出をして意味のないデータをとるのか理解できない。</p>
<p>個人情報を取得することができないため、ふみこんだ支援を行うことがむずかしい。</p>
<p>支援、介護認定等に少し疑問を感じるころがある。利用者から発信できない方は後回しになるのでしょうか。</p>
<p>福祉サービスを受ける立場の人の事を考えると何でも相談出来る窓口を明確にする必要を強く感じる。</p>
<p>福祉サービスを受ける立場の人を考えると何でも相談出来る窓口を明確にする必要を強く感じる。</p>
<p>個人情報がうるさく言われる最近の状況では色々わからないことも聞くのがむずかしく、市も個人情報に敏感になりすぎて教えてもらえないと感じている。</p>
<p>市は情報を教えてくれないが、市との情報共有のもとで活動ができることなので、市に個人情報を教えてほしいと思う。</p>
<p>行政の窓口につなぐ。支援者団体との顔合わせ。</p>
<p>公的な支援サービスにつなげるのは勿論だが、接していて心の支え、内面の支えもとても必要で大事だと感じている。</p>

施設・拠点・活動場所

誰でもが気軽に出かけおしゃべりができる場所が（歩いて行ける範囲）欲しい。宝生苑は来年度工事に入り使用できなくなるため、ますます引きこもりが増えると思う。子育てステーションは沢山できたが、老人のためのサロンも便利な処に欲しい。
公民館等に出向いて少しの時間、共に過ごす時間が多くなればと願っているが、公民館までがなかなか歩いていこうという気持ちにならない方が多いのが難しい問題である。
無料で使える施設も大切だと考える。今年度から公的施設で登録団体も有料（50%）になった。
病院（大型総合）、老朽化した施設に変わるワンストップな窓口、施設を急ぎ設置して頂きたい。
自主防犯防災活動をしなが、月2回に花みす会（お茶会）を開き、また月2回に京たなべいきいき体操をしてその後お茶会をして高齢者や住民の居場所作りをしている。
住宅地でのサロン開催のイベントに対して、ボランティアの紹介は本当に助かる。もう少し多くの催しのグループ、アイデアがあれば有難い。
宝生苑について、高齢者の使用できる設備は充実していると思うが、児童館としての役割は不十分。日、祝日休館になっているし児童が放課後安心して利用できる場にしてほしい。
子育てサークルが活動する場所が少ない。地域の公民館も断られた。活動資金の確保が難しい。
地域によっては公民館も人数制限をしなければならず、公民館の近い方が参加することが多い。高齢者の集まりの課題である。
近隣で集まる場所がない。
子育てサロンや広場を計画したいと思っている団体である。メンバーはボランティアなので、事業計画するために助成金を申請しやすく、会場も交通の便のよい所を使わせてもらえるようになると回数が増えて、多くの子育て世帯によるこんでもらえると思っている。

制度の認知・周知・利用促進

障がい者、高齢者が安心して行ける施設が北部には全くなくなった。女性のための政策が不十分。外国人のための総合的相談窓口が早急に必要。
問20の内容を把握できていないため、記入できなかった。
地域福祉計画の理念を行政担当者が、如何に市民に語り掛けられるかが推進の要と考える。
なぜ、国勢調査と同じ時期にぶつけてくるのでしょうか？読み書きに不自由のあるものに対する理解はありますか？
様々な活動をするにあたって、一番は住民への周知だと感じる。行政、社協、ボランティアなどががんばっても、関心のない住民が多いのは驚く。
私たちの団体は音楽活動を通じて高齢者施設への慰問演奏や、青少年への音楽教室等による健全育成等を主な目的にしている。今回のアンケート調査が福祉関係に特化した設問もあったので、的確な回答になり得ていないものも多くあると思うが、ご寛容ください。
福祉サービスを受ける立場の人の事を考えると何でも相談出来る窓口を明確にする必要を強く感じる。
福祉サービスを受ける立場の人を考えると何でも相談出来る窓口を明確にする必要を強く感じる。
正直いって、直接関係しないと、中身がわからない。
答えにくい（わからない）所があり、返答に困った。答えやすい質問内容（具体的にする等）を希望する。

行政支援・体制整備

<p>市当局が人的にも支援することが必要である。市職員を地域担当に振り分けることが必要。</p>
<p>他の自治体では、学校や公的施設にトイレトペーパーのように生理用品設置が実現されつつあるが、京田辺市では未実施である。生理用品のトイレ設置の多くの声を聴いている。なかなか個人として声にあげづらい課題なので行政で取り組んで頂きたい。</p>
<p>予算の拡充を図り、活動に対して十分な対価を支払うことによる人員の確保、あるいは民間企業による参画など、ビジネスとして成り立つ方向へシフトチェンジすることを検討いただきたい。</p>
<p>避難行動要支援者登録制度については、自治会に丸なげせず、市として、しっかりと取り組んでほしい。自治体の業務を丸なげしているのではと思われてならない。</p>
<p>広報がかなり良い方向に展開しているので継続していただきたい。</p>
<p>行政のプラットフォームという考え方があり、市の会議では縦割りで話すから議事録をとらない会議で、話した内容を積み重ねて立案につなげる。</p>
<p>個性的な人生観を持つ人が増えている昨今、画一的な行政施策によって個人を支援するのには無理がある。行政に支援を求める人に対しては、多岐にわたり支援できる体制を備えておくだけで十分ではないか。最低限生活できる体制を行政が整えることが重要でそれ以上は個々人の生活信条ではないかと思う。</p>
<p>今後、行政が根本的な見直しを図ることによって地域福祉の充実につながるような取組を進めてほしい。</p>
<p>地域福祉計画の理念を行政担当者が、如何に市民に語り掛けられるかが推進の要と考える。また、市民一人ひとりが地域福祉に求める様々な、サービスや施策の実現には市民の参加・協力が不可欠であり、推進計画の市民の協力を、もっと大きく打ち出して頂きたい。</p>
<p>京田辺市のこのような体制や取組が市民全体の日々の生活に自然と結びついて欲しいと願う。</p>
<p>民生委員が公務員であるにもかかわらず、その活動のニーズに対するカバレッジも計測せず、単に任命することで満足している市の姿勢は見るに堪えない。また災害発生時に備え、各種団体の協議をする場がないことも大きな問題である。</p>
<p>人口減に向かう中で今までできていたことができなくなると、納得が得られるようにするにはどうすれば良いかだと思ふ。今の子どもたちが安心できる未来をどのように提供できるかを考えた時、公的な支援なく一人で生き抜く力を持ってもらうしかないと思ふ。生き抜く力を得るための教育に取り組むことを理念に置き、その中で要援護高齢者も含む大人たちが何をするかを考えていくことに地域福祉の未来があるように感じている。</p>
<p>災害時の避難所だが、地域で決められた場所が遠いので近くの間所に行ければと思ふ。</p>
<p>上村市長がおっしゃる京田辺市が住み続けたいと思える町になるには、未来の京田辺市民、今の子供達、京田辺っ子が心優しい人に育つ教育を考えて頂きたいと思ふ。学校週休二日制は要らない。親が子供を躱げないなら社会が躱げないでないと社会常識が身に付かない。</p>
<p>行政窓口の各担当者さんとの交流会（横のつながり）が必要。</p>

多様な対象者への支援

<p>障がい者、高齢者が安心して行ける施設が北部には全くなくなった。女性のための政策が不十分。外国人のための総合的相談窓口が早急に必要。</p>
<p>悩みの捌け口の場合、障害を持つ子供達の成長を見守る場としても利用していただけたらと思う。研修や勉強会に参加し、共に歩んでいける場所として続けていけたらと思っている。</p>
<p>子育てサークルが活動する場所が少ない。活動資金の確保が難しい。</p>
<p>合理的配慮の名目から申請による配慮が多くなったように思う。高齢者、障がい者等、自分から申請しなくても配慮されたら良いと思う。</p>
<p>人口減に向かう中で、今の子どもたちが安心できる未来をどのように提供できるかを考えた時、公的な支援なく一人で生き抜く力を持ってもらうしかないと思う。生き抜く力を得るための教育に取り組むことを理念に置くことに地域福祉の未来があるように感じている。</p>
<p>孤独に子育てしている、子育てに疲れている、同じ月齢の子どもと遊ばせたいなど解消するようなサロンや広場を計画したいと思っている。</p>
<p>コロナ後、働かれる方が多くなり、早い時期から保育所に入れられる方が多く、未就園児さんが少なくなって来た。でもその中で、育児にこまられたりされている方もいると思う。お母さんが子どもの成長をしっかりと見られて3才児になり、保育園、幼稚園に入るという昔の様な事がなくなり、ほとんどのお母さんが仕事復帰している。お母さんの愛情の中で育てて行ってほしいと感じている。物価が高くなり、働かなければ生きて行けない社会になって来ている。働くことで子どもの数も少なくなって、多く産まない様になって来ている。</p>
<p>成年後見制度の利用については、金額的な面で難しいこともあるので、利用しやすいように運用できないだろうか。</p>

**第5期京田辺市地域福祉計画策定のための
アンケート調査 結果報告書**

発行年月 令和7年12月

発行 京田辺市 健康福祉部社会福祉課

〒610-0393 京都府京田辺市田辺80番地

TEL : 0774-63-1127

FAX : 0774-63-5777